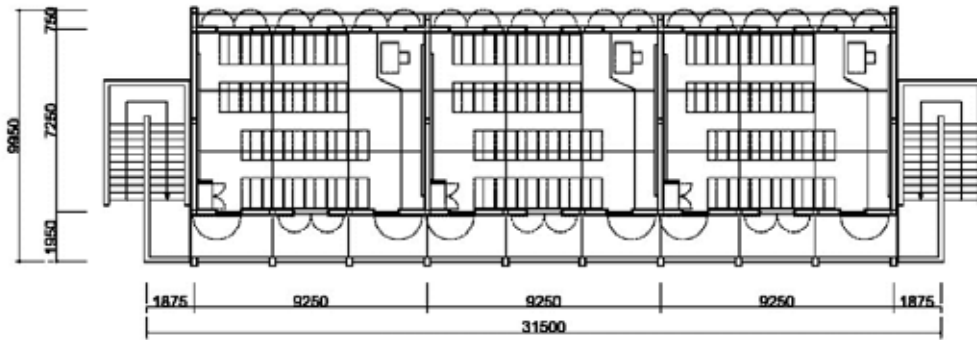
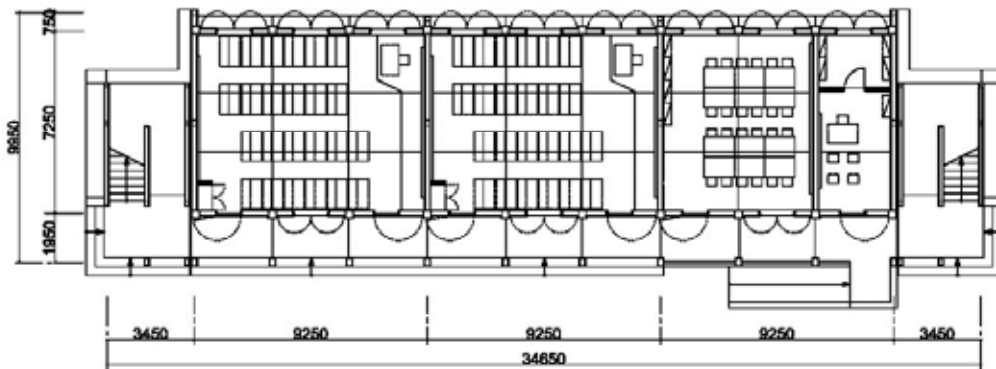


教室棟 Type 2-6SDC/P

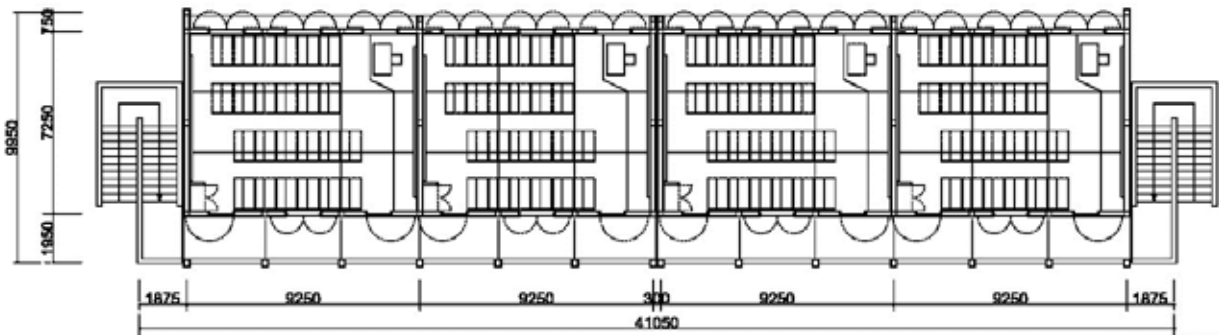


2階 平面図
1st Floor Plan

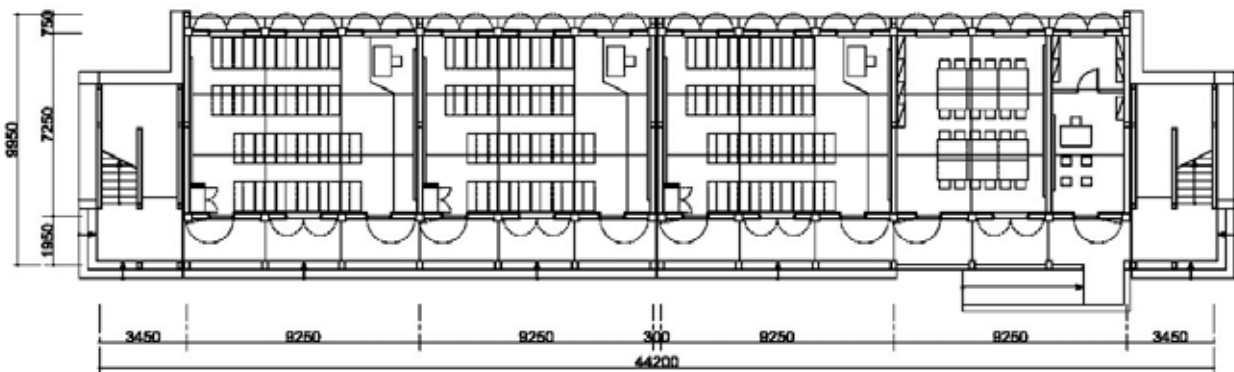


1階 平面図
Ground Floor Plan

教室棟 Type 2-8SDC/P



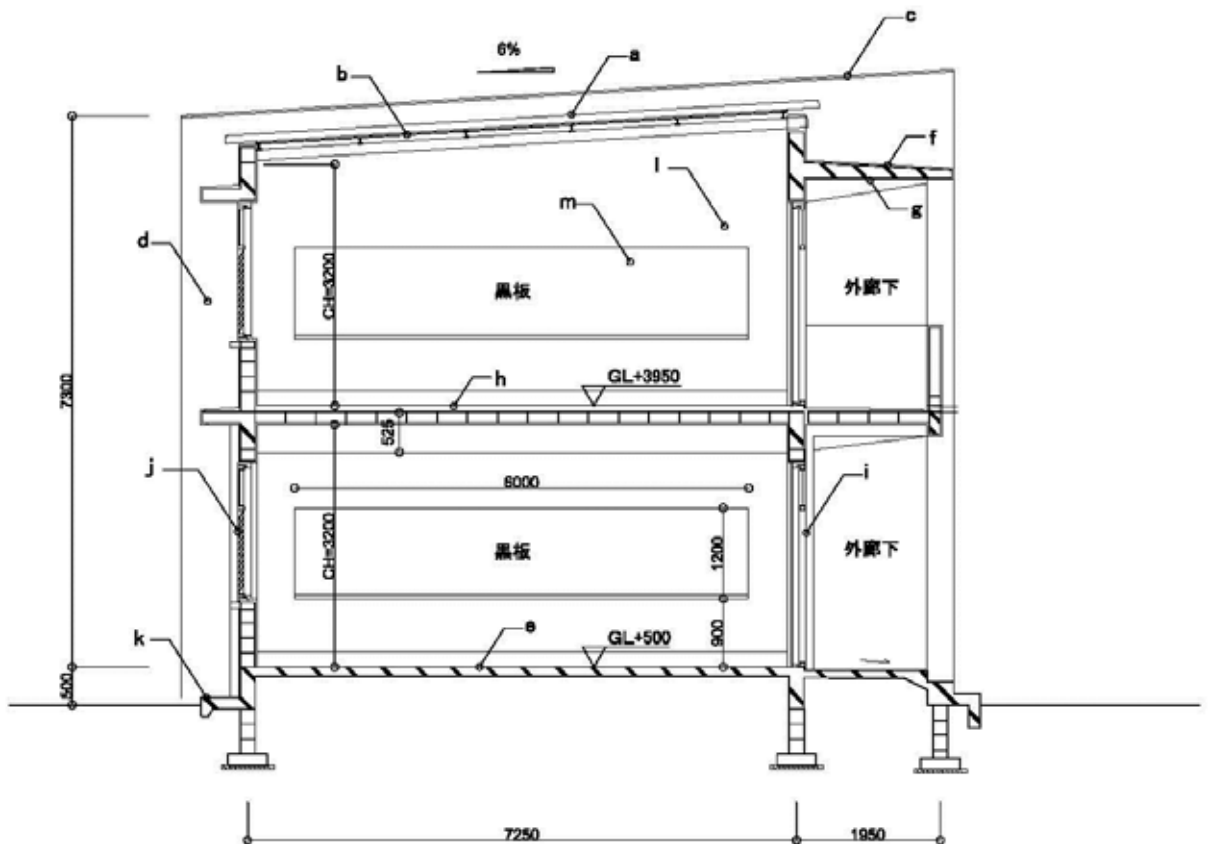
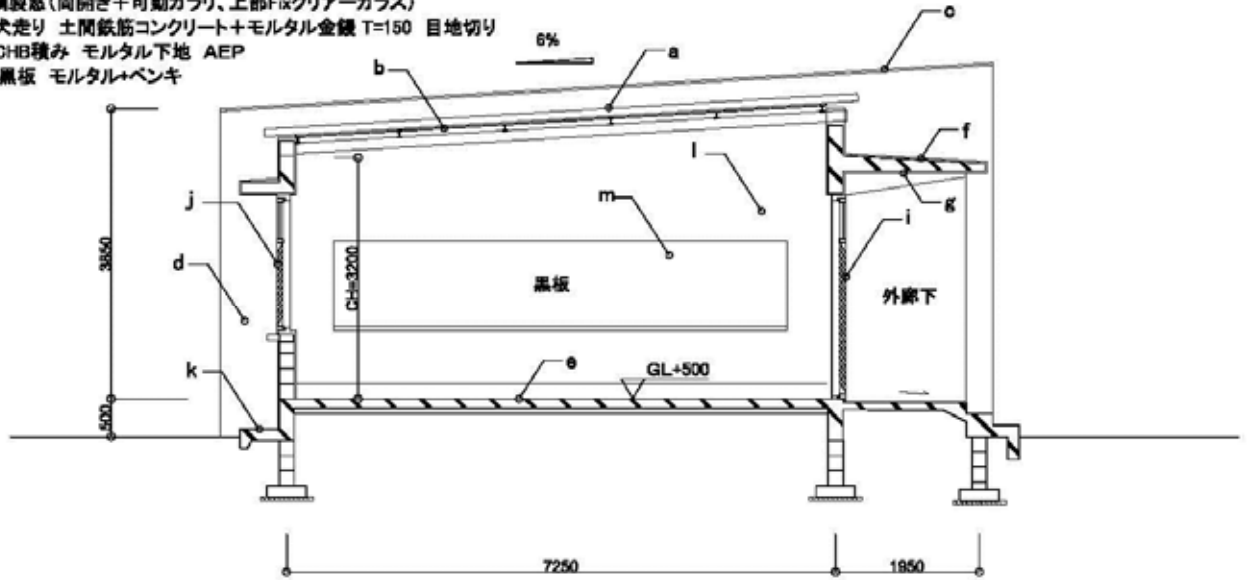
2階 平面図
1st Floor Plan



1階 平面図
Ground Floor Plan

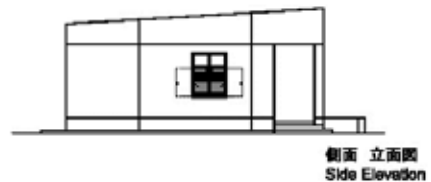
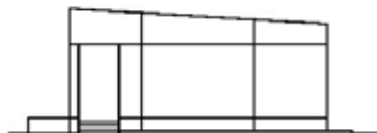
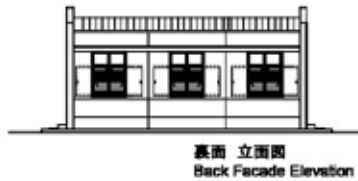
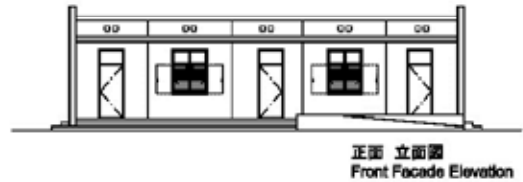
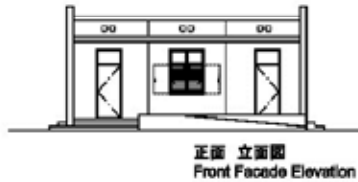
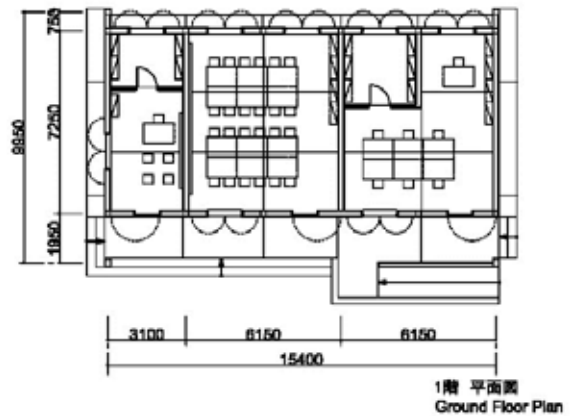
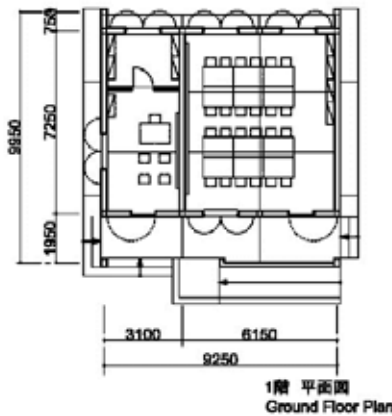
教室棟 仕上げ:

- a: 屋根 アスファルトルーフィングの上、亜鉛メッキ鋼板 T=0.45 折板葺
- b: 断熱材 (木毛セメント板葺T=10~12程度)
- c: 笠木 亜鉛メッキ鋼板
- d: RC/CHB(W400xD200xH200) モルタル下地の上、吹付塗装(チロリアン)
- e: 土間鉄筋コンクリートの上 モルタル金縁T=30 目地切り
- f: RCスラブ+防水モルタル
- g: コンクリート補修の上 AEP
- h: ウルディブロックスラブの上、鉄筋コンクリートT=70 モルタル金縁 T=30 目地切り
- i: 鋼製片開きフラッシュドア、上部Fixクリアーガラス
- j: 鋼製窓(両開き+可動ガラリ、上部Fixクリアーガラス)
- k: 犬走り 土間鉄筋コンクリート+モルタル金縁 T=150 目地切り
- l: CHB積み モルタル下地 AEP
- m: 黒板 モルタル+ペンキ

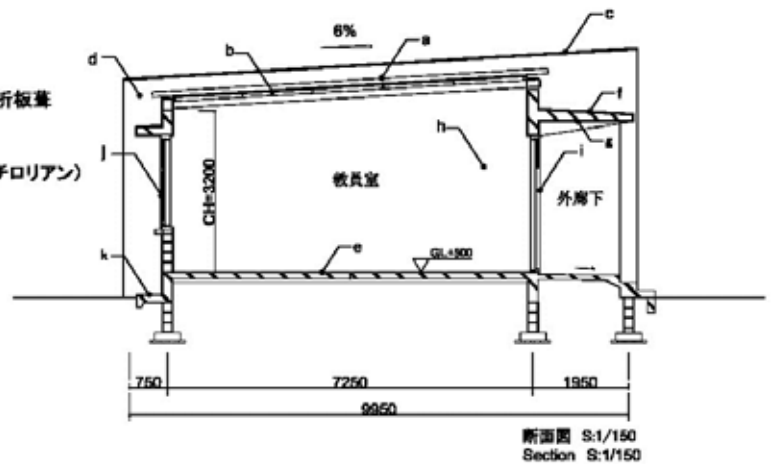


小学校管理棟 BA-E

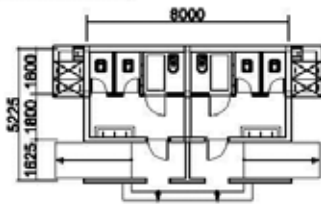
中学校管理棟 BA-C



- 管理棟 仕上げ:
- a: 屋根 アスファルトルーフィングの上、亜鉛メッキ鋼板T=0.45 折板葺
 - b: 断熱材 (木毛セメント板葺T=10~12程度)
 - c: 笠木 亜鉛メッキ鋼板
 - d: RC/CHB(W400xD200xH200) モルタル下地の上、吹付塗装(チロリアン)
 - e: 土間鉄筋コンクリートの上 モルタル金剛T=30 目地切り
 - f: RCスラブ+防水モルタル
 - g: コンクリート補修の上 AEP
 - h: モルタル下地 AEP
 - i: 鋼製片開きフラッシュドア、上部Fixクリアーガラス
 - j: 鋼製窓(両開き+可動ガラリ、上部Fixクリアーガラス)
 - k: 犬走り RCスラブ+モルタル金剛 T=150 目地切り

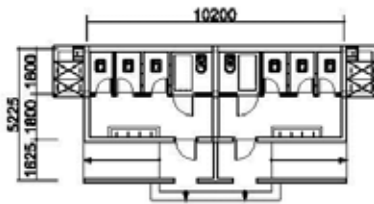


水洗式トイレ棟

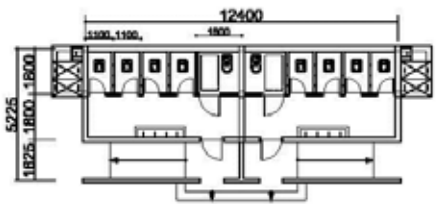


各タイプ 1階 平面図
Ground Floor Plan

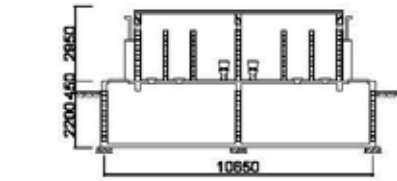
Type BH-6



Type BH-8

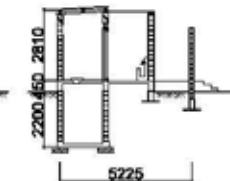


Type BH-10

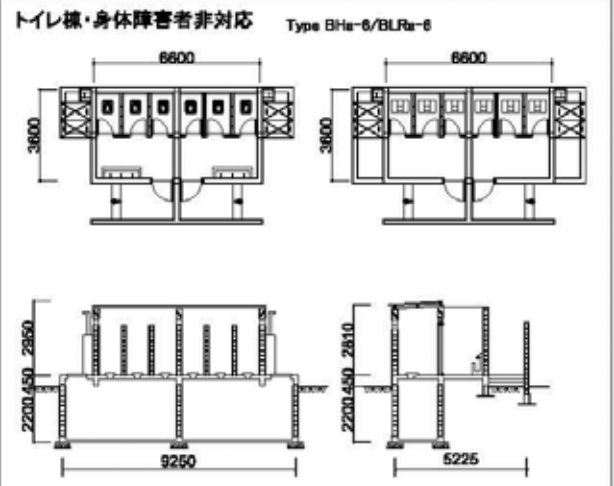


断面図
Section

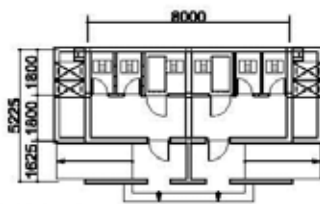
長手方向断面図 Type BH-6
Longitudinal Section Type BH-6



短手方向断面図 (各Type共通)
Cross Section (Common to all types)

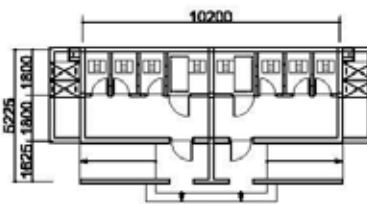


汲み取り式トイレ棟

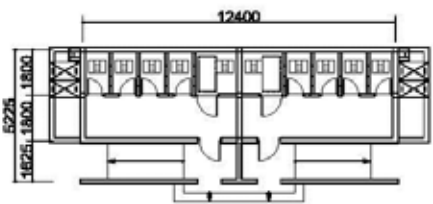


各タイプ 1階 平面図
Ground Floor Plan

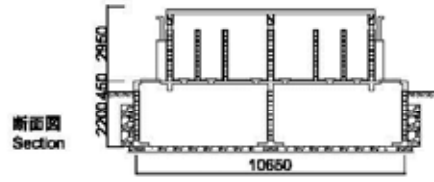
Type BLR-6



Type BLR-8

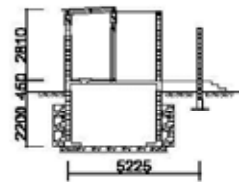


Type BLR-10



断面図
Section

長手方向断面図 Type BLR-6
Longitudinal Section Type BLR-6



短手方向断面図 (各Type共通)
Cross Section (Common to all types)

トイレ棟立面図(共通)



Type BH-6/BLR-6

Type BH-8/BLR-8

Type BH-10/BLR-10

3-2-4 施工計画／調達計画

3-2-4-1 施工方針／調達方針

(1) 調達代理方式による事業実施

本プロジェクトは、生産物や役務の調達監理、資金管理および施設建設を含む事業を調達代理方式により実施する。調達代理機関は、セネガル国政府の代理人として事業の実施を代行する実施代行機関として位置付けられ、資金管理、各種調達、実施監理を行う。本プロジェクトでは、日本唯一の調達専門機関である JICS が調達代理機関としてその業務を担う。

本プロジェクトの実施は、閣議決定の後、両国政府間の事業実施に関する交換公文 (E/N) および JICA との間の贈与契約 (G/A) が締結された後に実施に移行する。セネガル国政府は、E/N に添付される合意議事録 (A/M) に基づき、日本の調達代理機関と調達代理契約を締結する。

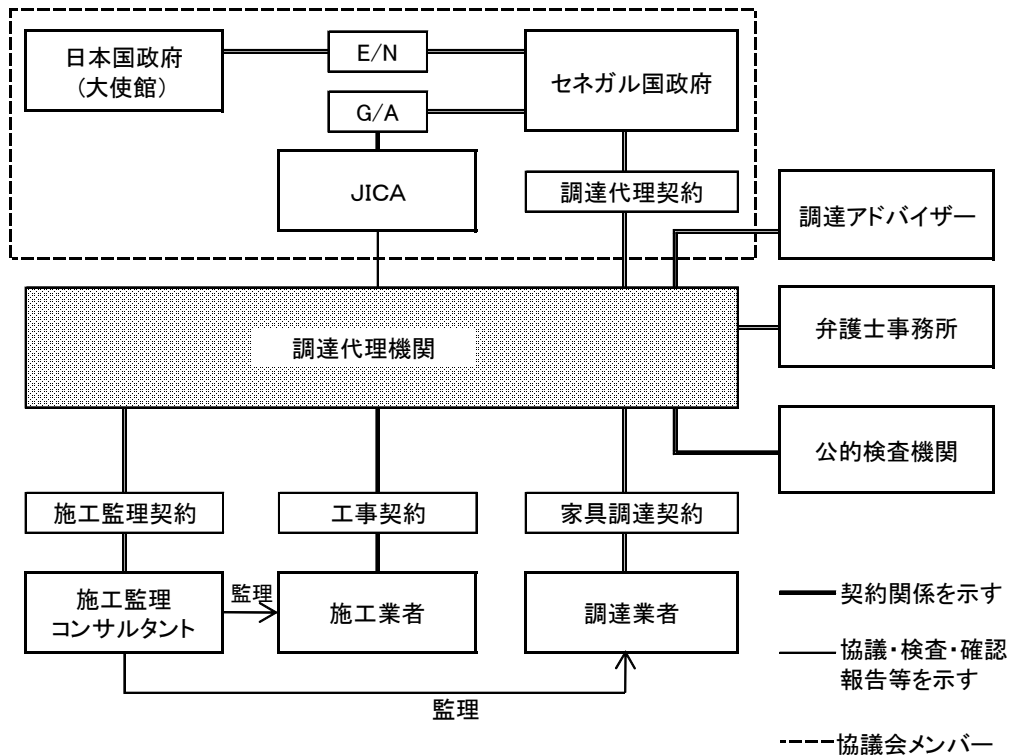


図3-2 事業実施体制図

(2) 協議会 (コミッティ)

E/N 締結後、協議会を設置する。協議会は、セネガル国政府および JICA から構成され、調達代理機関がアドバイザーとして参加する。協議会は、事業実施中に生じる諸問題について協議・調整を行う。

(3) 調達代理機関

調達代理機関は、教育省の代理人として資金管理、各種調達（弁護士、公的検査機関、調達アドバイザー、施工監理コンサルタント、建設業者、家具／銘板調達業者）および実施管理を行う。

調達代理機関の要員は以下のとおり。

表 3-15 調達代理機関の要員配置

要員		役割
日本人	統括者	調達代理機関の業務全体を統括管理し、入札時および事業完了時に現地に派遣される。
	常駐統括補佐	調達代理機関の現地責任者として、入札業務期間及び工事管理期間中常駐する。
	入札図書作成者	日本国内にて、施設建設、機材調達の入札図書を作成する。
	契約関連・資金管理者	日本国内にて、業者契約、支払および資金管理に係る業務を実施する。
現地傭人	事務員 1	事業の全期間に配置され、入札補助業務及び事務処理を行う。
	事務員 2	事業開始から竣工まで配置され、調達代理機関の事業資金の管理実務を行う。
	通訳	入札業務期間中の現場説明会、入札評価、価格・契約交渉時及び事業終了時に配置され、フランス語－英語（または日本語）の通訳を行う。

(4) 施工監理コンサルタント

本プロジェクトの入札補助および施工監理業務は、調達代理機関が施工監理コンサルタントを援助資金により契約・雇用する。施工監理コンサルタントは、JICA の推薦を受け協力準備調査を担当した本邦コンサルタントが担当する。

施工監理コンサルタントの役割は下記のとおり。

【入札段階】

- ・ 全校を対象にサイト調査を行い事業開始の可否を確認する。
- ・ 準備調査においてローカルコンサルタントへの再委託業務により作成された入札参考資料を基に、詳細設計図、仕様書および数量表を作成する。
- ・ 調達代理機関が作成する入札図書を技術的な側面から補助する。
- ・ 調達代理機関が実施する入札、入札評価、契約交渉を技術的な側面から補助する。

【施工監理段階】

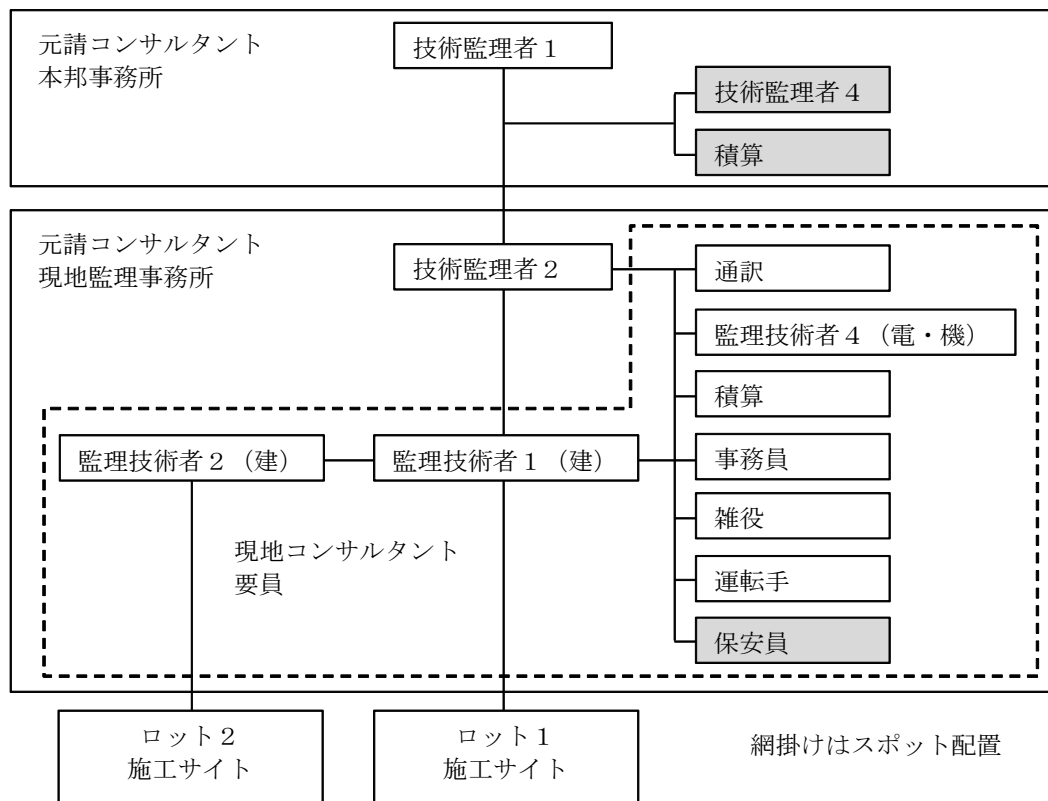
- ・ 現場を巡回し、発注仕様書に記される工事の品質確保、工程順守、安全管理に関する検査を行い、定期的に調達代理機関に報告する。
- ・ 施工業者が支払い請求を行った場合、施工進捗状況出来高検査を実施し、その結果を調達代理機関に報告する。
- ・ 竣工検査を実施し、結果を調達代理機関に報告する。
- ・ 1年後瑕疵検査を実施し、結果を調達代理機関に報告する。
- ・ ソフトコンポーネントを実施する。

施工監理コンサルタントは本邦コンサルタントが元請けとなり、セネガル国の現地コンサルタント会社を下請け（サブコン）として活用し業務を遂行する。ソフトコンポーネントについても

現地 NGO 及び現地コンサルタントを下請けとして活用し業務を遂行する。

施工監理体制は、ダカール州およびティエス州に施工監理事務所を設置し、各州の施工監理を管理する。各計画対象州には施工監理基地を設置し各サイトの施工監理を実施する。

施工監理コンサルタントの監理体制を図 3-3 に、コンサルタントの要員配置を表 3-16 に記す。



第 1 グループと第 2 グループの工事重複期間は、技術監理者 3、監理技術者 3、5、事務員、雑役が増員される。

図 3-3 施工監理体制

表 3-16 コンサルタントの要員配置

要員		役割
本邦	技術監理者 1 (入札業務)	設計監理コンサルタントの業務全体を統括管理するとともに、入札業務を担当する。
	技術監理者 2 (施工監理建築)	建設工事着工時から工事完了時まで現地に常駐し、施工監理を実施する。また、完工 1 年後に瑕疵検査を実施する。
	技術監理者 3 (施工監理建築)	業務は技術監理者 2 に同じ。第 1 グループと第 2 グループが重なる期間にのみ配置。
	技術監理者 4 (施工監理設備)	入札業務における質疑応答と入札評価 (設備分野) を担当する。
	積算	技術管理者 1 と協力し、入札業務における入札図書の作成及び入札評価を行う。
	ソフコン管理者	ソフコン業務全体を管理する。業務の立ち上げ時点と終了時点で現地に渡航し、活動内容の立ち上げと確認を行う。セネガル不在中は、現地備人から活動報告を受け、適宜、指導・指示を行う。

現地	監理技術者 1 (建築主任)	入札業務期間中は技術監理者 1 を補佐する。施工監理期間中は施工監理事務所に常駐し、監理技術者を指揮する。
	監理技術者 2 (建築)	施工監理事務所に常駐し、担当サイトを巡回し施工監理を行う。
	監理技術者 3 (建築)	業務は監理技術者 2 に同じ。第 1 グループと第 2 グループが重なる期間にのみ配置。
	監理技術者 4 (電気・機械設備)	設備工事期間中、施工監理事務所に常駐し、担当サイトを巡回し施工監理を行う。
	監理技術者 5 (電気・機械設備)	業務は監理技術者 4 に同じ。第 1 グループと第 2 グループが重なる期間にのみ配置。
	積算	入札期間は技術監理者 1 を補佐し、入札図書の作成、入札評価及び価格・契約交渉を実施する。施工監理期間中は施工監理事務所に常駐し、各ロットの出来高確認を行う。
	事務員 1, 2	施工監理期間中に各施工監理事務所に常駐し、事務処理を行う。
	ソフコン実施者 (啓発活動担当)	ソフコン活動のうち、啓発活動にかかる講義の実施や関係各所との連絡を担当する。また、ソフコン管理者（邦人）がセネガルに不在の間は技術部門担当者の活動内容を含めてソフコン管理者に報告を行う。
	ソフコン実施者 (技術部門担当)	ソフコン活動のうち、建設現場見学会における技術面の講義やガイドライン改訂の技術面を担当する。

(5) 施工業者

現地施工業者タイドによる競争入札により選定され、調達代理機関との契約図書にしたがって建設工事を行う。

(6) 調達業者（家具、銘板）

競争入札により選定され、調達代理機関との契約図書にしたがって家具、銘板を製作または納入する。

(7) 弁護士事務所

各種契約書の内容の確認、訴訟・紛争等の対処を目的とし顧問弁護士を採用する。他ドナーによる援助案件の経験のある現地弁護士事務所から選定する。

(8) 公的検査機関

セネガル国では、引渡し後 10 年間の品質保証の取得が義務付けられているため、公的検査機関による工事期間中及び完了時の検査が必要となる。公的検査機関は、セネガル国に数社しか存在しないため、その中から選定する。

(9) 調達アドバイザー

入札、契約等に関する補助業務、助言等を行う。セネガル国における公共入札の経験を有する人材と契約する。

3-2-4-2 施工上／調達上の留意事項

本プロジェクトは多数のサイトが広域に分散している。そのため、一定の品質を確保するために効率的な監理が必要とされる。対象地域はダカール州、ティエス州と明確に2分されているため、2グループに分けた施工計画とする。なお、ダカール州は2階建て中心、ティエス州では平屋建てが中心となる。施工業者の調達については、業務不履行、工期遅延の問題を回避するため、一定水準以上の業者を選定する必要がある。そのため、セネガル国における経験年数、類似案件の実績、財務状況等、業者選定基準（入札参加資格）には最大の留意が必要である。

3-2-4-3 施工区分／調達・据付区分

セネガル国側の負担工事の確実なる実施が本プロジェクトの円滑な実施には不可欠である。

工事着工に先立つ準備工事として、建設予定地内の既存施設および障害物の解体撤去がある。これらが工事開始までに確実に実施されない場合、工事工程に遅延が生じることから、計画建物の位置にある既存構造物の撤去は日本側で行い、その他工事着工に直接影響のないものはセネガル国側で行う。また、施設完工までにセネガル国側によりインフラの敷地内引き込みと計画建物への接続が実施されなければならない。

日本国とセネガル国のそれぞれの施工区分を以下に示す。

(1) 日本国側の負担工事

- ① 計画施設の建設工事
- ② 計画家具の調達
- ③ 建設予定位置にある既存構造物の撤去（工事の着工に影響するもの）

(2) セネガル国側の負担工事

- ① 敷地の確保
- ② 整地工事
- ③ 建設予定地内の地上及び地中埋設障害物の撤去工事（工事の着工に影響のないもの）
- ④ 工事用資材の校内一時保管場所の確保
- ⑤ 本設電力及び市水の引き込み工事
- ⑥ 最終排水枡から下水本管への接続工事
- ⑦ 囲い塀の設置
- ⑧ 計画家具以外の家具、備品の調達

3-2-4-4 施工監理計画／調達監理計画

本プロジェクトでは同時に多数のサイトにおける建設工事を限られた工期内に完了させる必要があるため、セネガル国の責任機関と実施機関および調達代理機関への綿密な報告と打ち合わせや施工業者への適切な指示、指導など、施工監理業務が適切に実行される必要がある。そこで本プロジェクトでは図3-3に示す体制により施工監理を行う。

施工監理の経験を有する技術監理者2がセネガルに駐在し、ローカル監理技術者とともに工程管理と3-2-4-5で述べる品質管理を実施する。また監理情報の収集、報告書の作成、本プロジェクトに関する定期的な報告をセネガル国側の責任機関と実施機関および調達代理機関に対

して行う。コンサルタントはダカール州の施工期間はダカールに、ティエス州の施工期間はティエスに監理事務所を設置する。

3-2-4-5 品質管理計画

品質管理では、設計図書および施工監理計画書に従い、施工計画書、施工図、見本品の確認、各種検査の実施、現場立会い検査等を行う。表3-17に躯体工事段階における主な品質管理項目を示す。

表3-17 躯体工事段階における主な品質管理項目案

工事	品質管理項目	検査方法	検査頻度
土工事	床付面確認	目視	根切完了時
鉄筋・型枠工事	鉄筋材料	ミルシートの照合又は引張り強度試験	ロット毎 サイズ毎
	配筋	配筋検査	コンクリート打設前
	型枠	型枠検査	コンクリート打設前
コンクリート工事	材料	セメント：品種 骨材：粒度	配合計画時
	試験練り	供試体による圧縮試験	各ロット毎に1回
	打設	供試体による圧縮試験	各学校毎に1回
鉄骨工事	鉄骨材料	材料検査	鉄骨加工前

3-2-4-6 資機材等調達計画

セネガル国では、コンクリート以外の主要な建設資材を輸入し加工しているが、品質、供給量ともに特別な問題はない。電気器具類、衛生機器類などは外国製品が多く使われており市場にて調達可能である。コンクリートに関しては、骨材、砂の品質規定が重要となる。

主要資機材の調達先及び原産国を表3-18に記す。

表3-18 主要資機材の調達先

資機材名	調達先			備考（原産国）
	現地	日本	第三国	
[資材]				
ポルトランドセメント	○			国産
コンクリート用骨材	○			国産、石灰岩、安山岩がある
異形鉄筋	○		○	国産、輸入品（フランス、ベルギー、南アフリカ、中国等）
型枠用材	○		○	輸入木材（コートジボワール、ベナン、モリタニア等）を現地で加工
合板	○		○	輸入木材（コートジボワール、ベナン、モリタニア等）を国内加工
コンクリートブロック	○			国産
木材	○		○	アフリカ近隣諸国（コートジボワール、ベナン、モリタニア等）から輸入
木製建具	○		○	輸入木材（コートジボワール、ベナン、モリタニア等）を用いて国内で製作
鋼製建具	○		○	輸入板材（フランス、ベルギー、中国等）を用いて国内で製作
アルミ製建具	○		○	フランスから輸入、国内で製作

ガラス類	○		○	フランスから輸入、国内で加工
塗装用材	○			国産
屋根用金属板	○		○	輸入板材（フランス、ベルギー、中国等）を用いて国内で製作
配電盤類	○		○	ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
電線・ケーブル	○		○	ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
コンジットパイプ	○			国産
照明器具	○		○	ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
管材	○			国産
バルブ、配管付属金物	○		○	ヨーロッパ（フランス、ベルギー）、アジア（中国、韓国）からの輸入品
[建設機械]				
ショベルドーザー	○		○	フランス、スペイン、ドイツ
バックホー	○		○	フランス、スペイン、ドイツ
ダンプトラック	○		○	フランス、スペイン、ドイツ
コンクリートミキサー	○		○	フランス、スペイン、ドイツ

3-2-4-7 ソフトコンポーネント計画

(1) ソフトコンポーネントの必要性にかかる検討

準備調査では、既存校の運営・維持管理体制および状況について調査を実施した。その結果、新設間もない学校以外は全校に学校運営委員会（CGE^e）が設置されており、CGEメンバーは選挙で民主的に選ばれ、年間計画の作成、実施、報告を行っていることが確認された。新設間もない学校では、CGEの設立に向けて取り組んでおり、校長の指導の下、資金管理や日常の清掃が実施されている。

セネガル国では学校の運営・維持管理は、地方分権政策に基づき地方自治体が責任を持っている（中学校では州、小学校では市町村）。運営・維持管理にかかる費用は①教育省からの予算、②地方自治体の援助、③生徒からの徴収金によって賄われている。そのうち主な資金は生徒からの徴収金であり、この資金は校長と会計担当が管理し、CGEが監査を行い、透明性が確保され適正に使用されている。

清掃についてはおおむね実施されており問題はなく、清掃用具等は少ない資金から捻出して購入されている。維持管理については、家具修理等少額のものを実施するが、多額の費用を要する建具や壁の塗り替え等については資金が足りないので放置されている状況が見られた。したがって、整備された施設が適切に運営・維持管理されるためには、(1) 維持管理の重要性への理解、(2) 必要な資金を確保するための具体的方法に対する知識が不足していると考えられる。

これら2点を補うため、ソフトコンポーネントを実施することが必要である。

^e 小学校ではComité de Gestion d'Ecole、中学校ではComité de Gestion d'établissementと呼ばれる。

① 維持管理の重要性を理解する。

日常的な清掃と壊れる前の予防（予防的維持管理）の重要性を理解することにより、施設を適切に維持管理するとともに維持管理にかかる費用を抑える。

② 必要な資金を確保する

中長期の維持管理計画に基づいて資金を積み立てる必要性を理解する。

また、運営・維持管理に責任をもつ地方自治体やコミュニティに、学校の施設を知ることによって学校を身近に感じて関心を持ってもらい、積極的な資金協力を促す。

（２）留意事項

セネガル国では、JICA の技術協力プロジェクト「教育環境改善プロジェクトフェーズ 2 (Projet d' Amélioration de l' Environnement Scolaire (PAES) Phase 2, PAES Phase 2)」(以下、「PAES2」とする。) を 2010 年 9 月より 4 年間の予定で実施中であり、ルーガ州を対象に実施されたフェーズ 1 を受けてセネガル国内における全国展開が計画されている。PAES2 では、校長、教員代表、保護者会 (APE^f) 代表など、関係者の代表で構成される CGE を主な対象とし、CGE を機能させることにより維持管理を含めた学校運営全般を改善するモデルとモニタリング体制を確立し、全州へ普及することを目的としているのに対し、本ソフトコンポーネント計画では、CGE のみならず、地域住民や、学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者を対象とし、整備された施設が適切に運営・維持管理されることを目的としている。本プロジェクトの対象地域であるダカール州及びティエス州も PAES2 の対象に入ることから、本格的な技術支援は PAES2 が実施することとなるが、本ソフトコンポーネント計画では、施設整備の機会に実施することによって、より効果が現れると考えられる活動を実施する。なお、実施にあたっては過去の無償資金協力案件のソフトコンポーネント（平成 13 年度「第 4 次小学校建設計画」及び平成 18 年度「小中学校教室建設計画」）において作成されたマニュアルに必要な改善を加えて活用する。

詳細は資料 5 ソフトコンポーネント計画書参照

3-2-4-8 実施工程

（１）ロット分け

本プロジェクトは、施設建設および機材調達に分けて業務を発注する。

施設建設は、施工時期によって 2 グループに分けるとともに、管理上の観点から各グループとも 2 ロットずつに分ける。施工業者は、現地施工業者タイドによる競争入札により選定する。

機材調達は、家具調達と銘板調達を別ロットに分け、ロット毎に競争入札を実施し調達業者を選定する。

^f Association des Parents d' Elèves

表3-19 ロット数

工事種別	第1グループ	第2グループ	計
	ダカール州	ティエス州	
建設工事	2	2	4
家具調達	1	1	2
銘板調達	1	1	2
計	4	4	8

表3-20 第1グループ 建設工事契約ロット

ロット	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース	電気 設備	プロトタイプ	延べ床面積合計 (教室棟+管理 棟+トイレ棟)
1	DK9	ゲダウェイ	カリ マディアカテ カラ/C	4			○	2-4SDC	268.25
	DK10	ゲダウェイ	ビキン 23/A	7	1	8	○	2-8SDC/P, BH-8	559.21
	DK1M	バルセル アセニ	タリボウ ダボ	4			○	2-4SDC	268.25
	DK4M	グラン ダカール	アリオン ディオップ	4			○	2-4SDC	268.25
	DK5M	ダカール プラトール	チエイク アワ バラ ンバケ	4		6	○	2-4SDC, BH-6	282.65
	DK7M	グラン ダカール	リベルテ 6/C	10		10	○	2-4SDC, 2-6SDC, BH-10	692.94
	DK14M	ゲダウェイ	ビキン エスト/A	6		6	○	2-6SDC, BH-6	416.77
	DK15M	ゲダウェイ	ビキン エスト/B	8		8	○	2-8SDC, BH-8	559.21
	DK18M	ビキン	マム イェリ パディアン	6		6	○	2-6SDC, BH-6	416.77
	DK30M	チャロイエ	マルティル C	12		12	○	2-4SDC, 2-8SDC, BH-6, BHa-6	835.38
10サイト				65	1	56	10		4,567.68

ロット	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース	電気 設備	プロトタイプ	延べ床面積合計 (教室棟+管理 棟+トイレ棟)
2	DK20M	ルフィスク市	キャン マルシャン	6	1	6	○	2-6SDC, BA-C, BH-6	528.42
	DK24M	ルフィスク県	ニアガ	13	1	14	○	3SDC, 5SDC, 5SDC, BA-C, BHa-6, BH-8	1,018.05
	DK25M	ルフィスク県	ダイヤモンドディオ	20	1	20	○	5SDC, 5SDC, 5SDC, 5SDC, BA-C, BLRa-6, BLRa-6, BLR-8	1,503.73
	DK26M	ルフィスク県	デニ ビラム ンダオ	8	1	8	○	2-8SDC, BA-C, BH-8	670.86
	DK27	クール マッサール	カストル ソトラック	5	1	6	○	2-6SDC/P, BH-6	416.77
	DK28M	クール マッサール	クール マッサール 2	12		12	○	2-6SDC, 2-6SDC, BH-6, BHa-6	831.02
	6サイト				64	5	66	5	

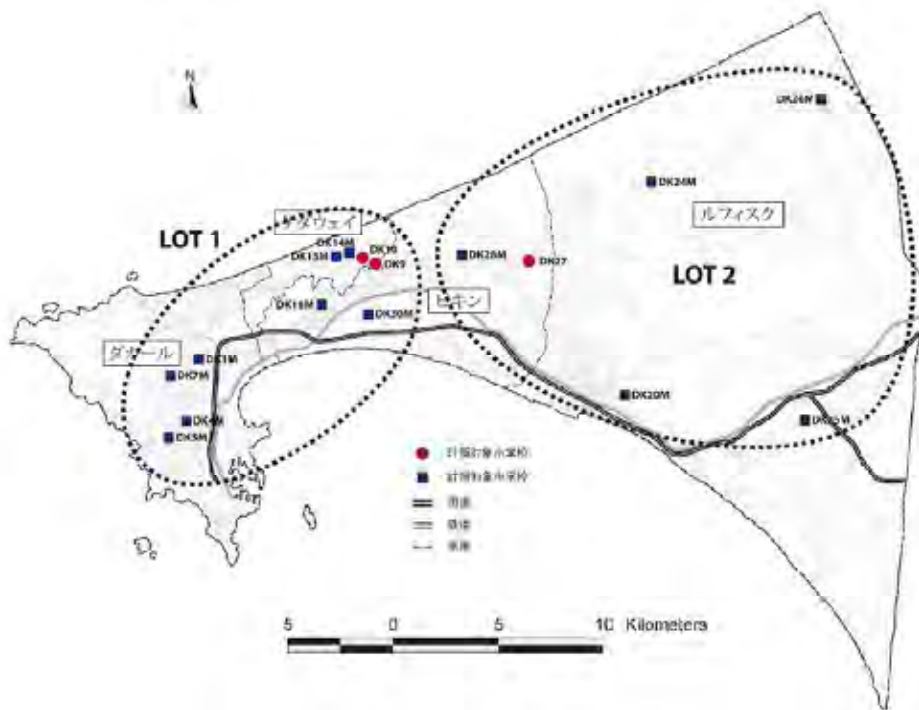


図3-4 第1グループ 建設工事契約ロット地図

表3-21 第2グループ 建設工事契約ロット

ロット	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース	電気 設備	プロトタイプ	延べ床面積合計 (教室棟+管理棟+ トイレ棟)
3	TH1	ティエス県	クール ヨロ サディオ	6	1	6		3SDC, 3SDC, BA-E, BLR-6	483.82
	TH3	ティエス県	アブドゥラエ セネ	8	1	8		4SDC, 4SDC, BA-E, BH-8	626.26
	TH5	ティエス県	EFA ティエナバ セック	9	1	10	○	3SDC, 3SDC, 3SDC, BA-E, BH-10	692.92
	TH9M	ティエス県	ディアック ボドカン	19	1	20		4SDC, 5SDC, 5SDC, 5SDC, BA-C, BHa-6, BHa-6, BH-8	1,436.66
	TH10M	ティエス県	バクミ	14	1	14		4SDC, 5SDC, 5SDC, BA-C, BLRa-6, BLR-8	1,087.29
	TH11M	ティエス県	ンディアイエシラ	13	1	14	○	3SDC, 5SDC, 5SDC, BA-C, BHa-6, BH-8	1,018.05
6サイト				69	6	72	2		5,345.00

ロット	コード	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース	電気 設備	プロトタイプ	延べ床面積合計 (教室棟+管理棟+ トイレ棟)
4	TH14	ティエス市	ルート ドゥ ダカール 2	2	1	6	○	2SDC, BA-E, BH-6	215.58
	TH15	ティエス市	スッド スタッド	6	1	6	○	3SDC, 3SDC, BA-E, BH-6	483.82
	TH16M	ティエス市	ダロー サラム	10	1	12	○	2-4SDC, 2-6SDC, BA-C, BH-6, BHa-6	808.55
	TH2	ティエス県	ブート 5	10	1	10		5SDC, 5SDC, BA-E, BLR-10	764.36
	TH19	ティバウアン	ティバウアン 13	7	1	8	○	3SDC, 4SDC, BA-E, BH-8	557.02
	TH20	ティバウアン	ティバウアン 16	8	1	8	○	4SDC, 4SDC, BA-E, BH-8	626.26
	TH26	ティバウアン	メリナ ギエ	6	1	6		3SDC, 3SDC, BA-E, BLR-6	483.82
	TH27M	ティバウアン	ンボロ 2	13	1	14	○	3SDC, 3SDC, 3SDC, 4SDC, BA-C, BHa-6, BH-8	1,015.85
	TH29M	ティバウアン	ノット	9	1	10		3SDC, 3SDC, 3SDC, BA-C, BLR-10	737.51
9サイト				71	9	80	6		5,692.77

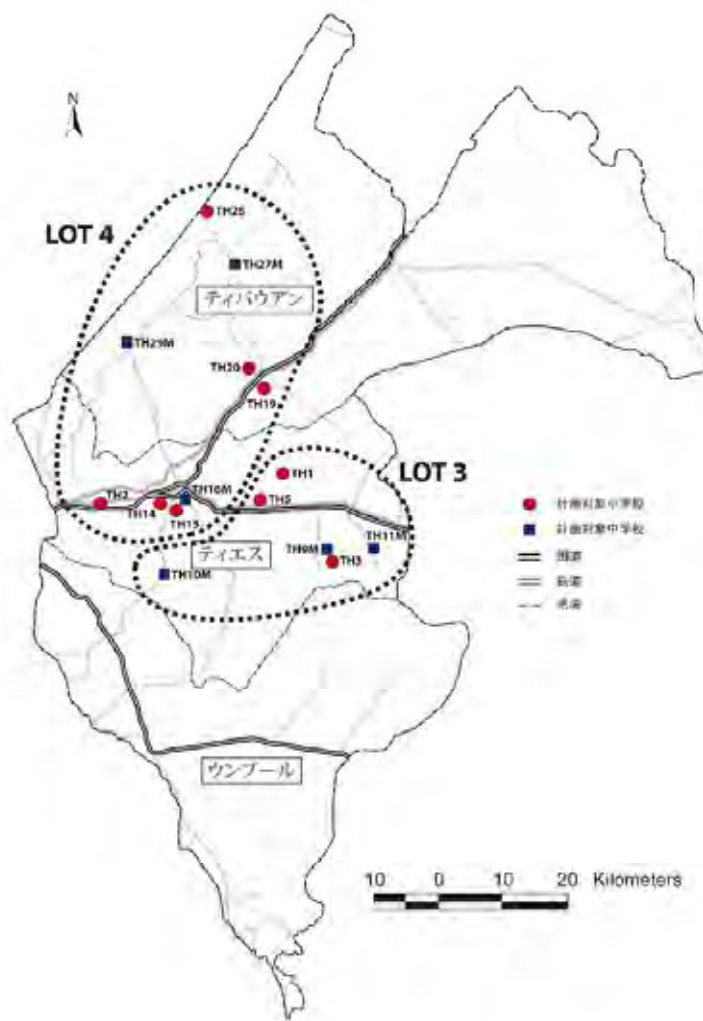


図3-5 第2グループ 建設工事契約ロット地図

(2) 事業実施工程

調達代理契約および入札・施工監理コンサルタントの契約の後、施工業者選定のための入札図書を作成し、入札、評価、契約交渉、関係機関の承認の過程を経て、施工業者と工事契約を締結する。これに要する作業期間は5.0ヶ月と想定される。

建設工期は、先行案件の工事実績を基に、支払条件の改善やモデル工事サイトによる手戻りや手直し工事の削減によって望める工期短縮を考慮し、建設工事は平屋建て校舎の工期を10カ月、2階建校舎を12ヶ月と設定する。これに、準備工事1ヶ月、モデル工事2ヶ月、検査1ヶ月、家具搬入・引渡し1ヶ月を加える。

建築工事は2グループ分けとし、重複期間を設けたずらし型の工程とする。

また、セネガルは6月から10月が雨季となり、その間は効率や品質面に影響を与えるため、2グループを雨期明けの着工として全体工程を計画する。

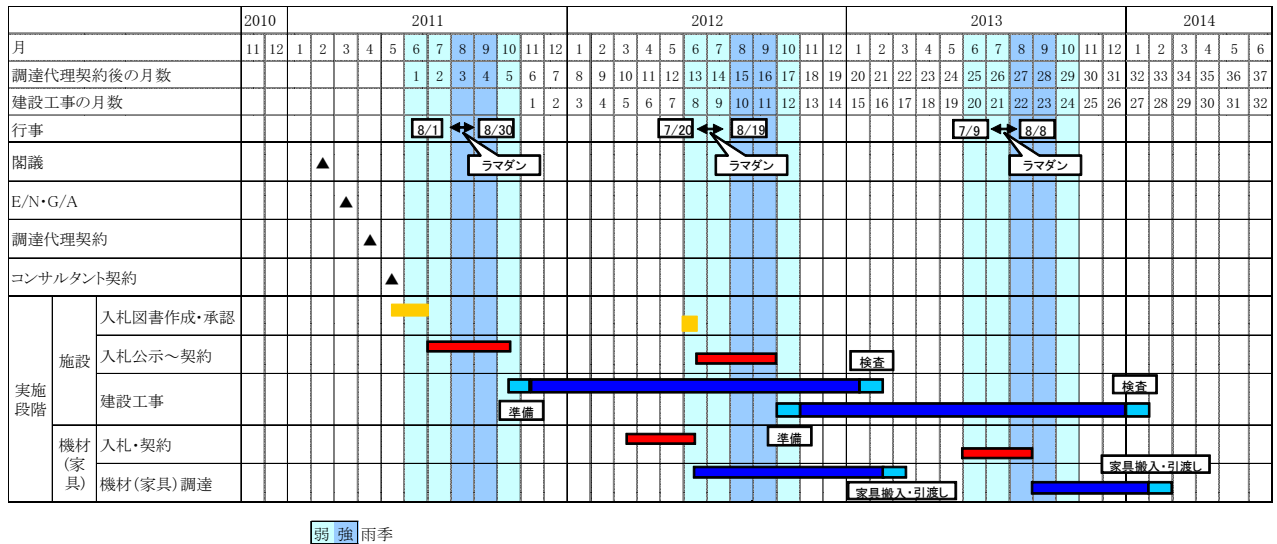


図3-6 事業実施工程表

3-3 相手国側分担事業の概要

本計画を日本国のコミュニティ開発支援無償資金協力で実施する上で、セネガル国政府が負担すべき項目は下記の通りである。

- 1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育省が建物を建設する権利を確保すること
- 2) 本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地を行うこと（ただし、本プロジェクトの施設の建設位置にある障害物の解体撤去工事については、工事を遅滞なく実施するために日本側負担で実施する。表3-2参照）
- 3) 工事完成後に囲い塀の新設または補修、門扉の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- 4) 工事完了までに電力、上水道、下水道、電話の敷地内への引き込みと接続工事を行うこと
- 5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書にかかる通知手数料、および支払手数料を負担すること
- 6) プロジェクトに使用される資機材の輸入、通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- 7) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、セネガル国への入国ならびに滞在に必要な便宜を供与すること
- 8) 本プロジェクトに携わる法人または個人に対し、セネガル国内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- 9) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品および役務の提供に関し、セネガル国内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- 10) セネガル国側負担事業の未実施によって生じる損害賠償を負担すること
- 11) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること
- 12) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること

表 3-22 計画対象校別先方負担工事リスト

第1グループ

	コード	IDEN	学校名	既存施設撤去	樹木伐採、抜根、整地	開い塀の整備/新設	電気・給水・下水 接続工事	その他	備考
ロ>ロ>ロ	DK9	ゲダウェイ	カリ マディアカテ カラ/C	守衛住居、手洗い場撤去	樹木1本除去		電気・給水		守衛住居、手洗い場の撤去は日本側工事で実施
	DK10	ゲダウェイ	ビキン 23/A		樹木2本除去		電気・給水		
	DK1M	バルセル アセニ	タリボウ ダボ	2教室撤去、塀撤去(6m)		24.5m	電気・給水	仮設教室設置	2教室、塀の撤去は日本側工事で実施
	DK4M	グラン ダカール	アリオン ディオップ	コンクリートベンチ撤去	樹木2本除去		電気・給水	学校正門新設	コンクリートベンチ撤去については日本側工事で実施
	DK5M	ダカール プラトー	チェイク アワ バラ ンバケ				電気・給水・下水		
	DK7M	グラン ダカール	リベルテ 6/C		樹木5本除去		電気・給水・下水		
	DK14M	ゲダウェイ	ビキン エスト/A				電気・給水	島小屋移設	島小屋の移設は日本側工事で実施
	DK15M	ゲダウェイ	ビキン エスト/B	トイレ撤去	樹木1本除去		電気・給水	仮設トイレ設置	トイレ撤去は日本側工事で実施
	DK18M	ビキン	マム イェリ バディアン				電気・給水		
	DK30M	チャロイエ	マルティル C			97.8m	電気・給水	学校正門新設	
ロ>ロ>ロ	DK20M	ルフィスク市	キャン マルシヤン			67m	電気・給水	学校正門新設	
	DK24M	ルフィスク県	ニアガ			479m	電気・給水	学校正門新設	
	DK25M	ルフィスク県	ディアムニャディオ			804m		学校正門新設	
	DK26M	ルフィスク県	デニ ビラム ンダオ	建物(屋根なし)		204m	電気・給水	学校正門新設	
	DK27	クール マッサール	カストル ソトラック				電気・給水		
	DK28M	クール マッサール	クール マッサール 2				電気・給水		

第2グループ

	コード	IDEN	学校名	既存施設撤去	樹木伐採、抜根、整地	開い塀の整備/新設	電気・給水接続工 事	その他	備考
ロ>ロ>ロ	TH1	ティエス県	クール ヨロ サディオ		樹木1本除去	384m		学校正門新設	
	TH3	ティエス県	アブドゥラエ セネ			412m	給水	学校正門新設	
	TH5	ティエス県	EFA ティエナバ セック			381m	電気・給水	学校正門新設	
	TH9M	ティエス県	ディアック ボドカン			806m	給水	学校正門新設	
	TH10M	ティエス県	バクミ		樹木3本除去	704m		学校正門新設	
	TH11M	ティエス県	ンディアイエシラ		樹木2本除去		電気・給水		
ロ>ロ>ロ	TH14	ティエス市	ルート ドゥ ダカール 2				電気・給水		
	TH15	ティエス市	スッド スタッド		樹木1本除去		電気・給水		
	TH16M	ティエス市	ダロー サラム	トイレ棟、管理棟撤去	樹木4本除去		電気・給水	学校正門移設 仮設トイレ設置	トイレ棟、管理棟の撤去は日本側工事で実施
	TH2	ティエス県	ブート 5			600m		仮設教室移設 学校正門新設	
	TH19	ティバウアン	ティバウアン 13	塀撤去(75m)		148m	電気・給水	学校正門新設	塀撤去は日本側工事で実施
	TH20	ティバウアン	ティバウアン 16			496m	電気・給水	学校正門新設	
	TH26	ティバウアン	メリナ ゲイエ			496m		学校正門新設	
	TH27M	ティバウアン	ンボロ 2			380m	電気・給水	学校正門新設	
	TH29M	ティバウアン	ノット		樹木1本除去	600m		学校正門新設	

3-4 プロジェクトの運営・維持管理計画

3-4-1 運営計画

本プロジェクトにおいて教室が整備されることにより、教職員の増員、教材の配布、運営費の確保が必要となる。

(1) 教職員

1) 既存校

本プロジェクトで増員が必要となる教員数は、小学校では担任制が採用されているため増加するクラス数（整備後の教室数－既存クラス数）と同数、中学校では増加するクラス数（整備後の教室数－既存クラス数）の1.55倍^gと考えられる。また、小学校には原則として1校に1名のサプレヤント（代用教員）が配置されるが、既存校では既に配置されていると考えられるので、教室数の増加による増員の必要はない。中学校では3～5クラスに1名のサーベイヤントが配置されるため、教室数の増加に伴い増員が必要となる。4教室の増設に1名の増員として算出する。^h

表3-23 計画対象校（既存校）の増員が必要となる教職員数

	小学校		中学校		
	増加クラス数	教員	増加クラス数	教員	サーベイヤント
ダカール州	12	12	18	28	5
ティエス州	36	36	29	45	8
合計	48	48	47	73	13

2) 新設校

計画対象校には3校の新設校（小学校1校、中学校2校）が含まれる。セネガル国側は同3校への教職員の配置が必要となる。ⁱ

表3-24 計画対象校（新設校）の増員が必要となる教職員数

学校名 (ID)	リベルテ 6/C 中学校 CEM Liberté 6/C (DK7M)	デニ ビラム ン ダオ中学校 CEM Déni Biram Ndao (DK26M)	ティバウアン 16 小学校 Tivaouane 16 (TH20)
新設教室数	10	8	8
校長	1	1	1
教員	16	13	8
サプレヤント	—	—	1
サーベイヤント	3	2	—
合計	20	16	10

^g 計画対象中学校（既存校）の1クラス数あたりの教員数の平均値1.55を採用

^h ただし、敷地の制限により計画教室数が必要教室数より少なくなっている学校では、2部制や移動教室の採用によって、より多くのクラス数を確保することができるため、その場合には必要な教職員数は増加する。表の数値は最低限必要な人数である。

ⁱ 脚注4に同じ。

3) 合計

既存校と新設校をあわせて、以下の教職員の増員が必要となる。

ダカール州及びティエス州では、それぞれ、1年間に平均約600名の小学校教員、約200～300名の中・高校教員が採用されていることから、教職員の確保に問題はない。^j

表3-25 増員が必要となる教職員数合計

	内訳	増員が必要となる人数
小学校	教員（校長含む）	57名
	職員（サプレヤント）	1名
中学校	教員（校長含む）	104名
	職員（サーベイヤント）	18名

(2) 教材

教育省より各学校に教材セット（天秤、おもり、定規、三角定規、分度器、コンパス、温度計、地球儀、地図、チャート等）が支給される。既存校には既に支給されていると考えられるため、新設校3校について新たな支給が必要となる。

(3) 運営費

学校の運営・維持管理は、①教育省からの予算、②地方自治体からの援助、③生徒からの徴収金によって賄われている。

- ①小学校に対しては IDEN 単位で予算を与え、中学校に対しては学校単位で予算を与えているが、実際には現物支給であり学校に現金が支給されず、IDEN または教育省が管理している。また、生徒数やクラス数等によって予算が決まるのではなく、従来から配布されている定額が割り当てられている。
- ②地方分権政策により小学校は市町村 (collectivite local)、中学校は州 (conseil regional) が運営・維持管理に責任を持っている。市町村には税金がある一方、州には国から配布される予算しかないことや、小さい自治体では予算が少ないため、自治体によって差がある。
- ③上記①及び②では資金が足りないため、小学校では 2,000～5,000 Fcfa、中学校では 10,000 Fcfa 程度（生徒 1 人あたり、年間）を生徒から徴収し、運営・維持管理に充てている。この資金は、校長と経理担当職員が管理しており、各学校に設置されている学校運営委員会 (CGE) ^kが監査を行っている。

3-4-2 維持管理計画

セネガル国では、上記の通り学校の運営・維持管理は地方自治体が責任を負うこととなっているが、自治体によって、学校が受けられる援助額に差がある。比較的小額な修理については生徒

^j 職員は、教員が異動することによって確保が可能である。教員養成計画については第1章参照。

^k 小学校では Comité de Gestion d'Ecole、中学校では Conseil de Gestion d'établissement と呼ばれる。

からの徴収金で賄われているが、高額な修理については自治体に申請してもなかなか承認が下りず放置されている例がある。

本プロジェクトで建設する施設は、清掃や修繕等の維持管理作業が容易で、引渡し後数年間は維持管理が不要なものを基本とし、施設の維持管理費用の低減を図ることとするが、各学校では中長期維持管理計画を立案し、生徒からの徴収金を小額ずつ積み立てていく必要がある。また、維持管理計画立案時には自治体関係者の参加を促し、資金の確保に積極的な関与を得る必要がある。

本プロジェクトでは、計画対象校の関係者に対して（１）維持管理に必要な資金を確保するための啓発活動と資金調達計画の立案と実施のための指導、（２）維持管理の重要性を理解するための指導を内容とするソフトコンポーネントを実施し、整備された施設の維持管理に対する意識が向上することを目指す。

3-5 プロジェクトの概略事業費

3-5-1 協力対象事業の概略事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は 13.68 億円となり、先に述べた日本とセネガル国との負担区分に基づく双方の経費内訳は下記（3）に示す積算条件によれば、次のとおりと見積られる。ただし、この額は交換公文上の供与限度額を示すものではない。

（1）日本側負担経費 概略総事業費約 1,319.7 百万円

表 3-26 日本側負担経費内訳

費目		概算事業費（百万円）	
施設	施設建設費	904.9	956.8
	家具費	51.6	
	銘板・ステッカー費	0.3	
調達代理機関費		139.9	
設計監理費		202.0	
ソフトコンポーネント費		10.6	
その他	弁護士費用	1.2	10.4
	公的検査機関費	8.4	
	調達アドバイザー費	0.8	
合計		1,319.7	

（2）セネガル国側負担経費 258.2 百万 FCFA（約 48.3 百万円）

表 3-27 セネガル国側負担経費内訳

費目	金額（FCFA）	日本円換算（円）
敷地整備（樹木除却等）	3,416,000	639,168
正門、囲い塀整備	219,501,000	41,070,832
仮設教室・仮設トイレ設置	18,896,000	3,535,631
電気設備接続工事	2,300,000	430,353
給水設備接続工事	2,500,000	467,775
ソフコン実施費用 ¹	1,100,000	205,821
施設建設にかかる実施費用 ^m	3,545,000	663,305
銀行手数料	6,916,000	1,294,000
合計	258,174,000	48,306,884

なお、この額は 2010 年 6 月の現地調査時に得た情報を元に日本側が試算した概算額である。

¹ ワークショップ等にかかる交通費として積算

^m コミッティ、毎月のサイト訪問への同行、竣工検査への同行にかかる交通費（州をまたぐ移動の場合は旅費）を積算

表 3-29 教職員の平均給与額（年額）

	カテゴリー	平均給与（年額）	採用給与額（年額）
小学校	公務員正規教員 (Instituteur)	3,795,000	2,336,000
	公務員準正規教員 (Instituteur adjoint)	2,700,000	
	契約教員 (Contractuel)	1,769,000	
	ボランティア教員 (VEN)	1,080,000	
	職員 (サプレヤント)	小学校教員と同額	2,336,000
中学校	公務員教員 (Professeur)	4,871,000	2,929,000
	契約教員 (Contractuel)	2,862,000	
	臨時教員 (VAC)	1,053,000	
	職員 (サーベイヤント)	小学校教員と同額	2,336,000

(出典：DAGE から入手した情報より作成)

3-5-2-2 維持管理費

本プロジェクトで建設する施設は、引渡し後数年間は維持管理を必要としないと考えられるが、その後に予想される維持管理項目、頻度、経費を表 3-30 に挙げる。

表 3-30 維持管理費試算（31 校分）

項目		頻度	1 年間に換算した経費 (千 FCFA)	備考
再塗装	外壁	8 年に 1 回	15,837	各学校、自治体負担
	内壁	5 年に 1 回	14,970	
	黒板	1 年に 1 回	26,900	
	建具	2 年に 1 回	16,235	
	鉄骨	2 年に 1 回	8,326	
水洗トイレ汚水槽清掃		1 年に 1 回	600	
汲み取り式トイレ沈積物除去		1 年に 4 回	1,600	
電球交換		3 年に 1 回	3,665	
合計			88,133	

(約 16.5 百万円)

3-4-1 (3) に記載のとおり、各学校では生徒から運営・維持管理等の費用として、小学校では 2,000~5,000 FCFA、中学校では 10,000 FCFA 程度（生徒 1 人あたり、年間）が徴収されており、計画対象校では年間約 251,700 千 FCFA が徴収されることになる。^s

表 3-30 の額は、生徒からの徴収金の約 35.0%にあたることから、十分負担可能な額であり、残りの 65%を学校運営に活用することができる。

^s 計画対象小学校 12 校の予測生徒数 6,200 人×3,500FCFA=21,700,000 FCFA、計画対象中学校 19 校の予測生徒数 23,000 人×10,000 FCFA=230,000,000 FCFA

3-6 協力対象事業実施に当たっての留意事項

本プロジェクトによって整備される施設が継続的かつ有効に使用されるために、教育省及び地方自治体が取り組む必要があると考えられる課題は以下のとおり。

- ① 本プロジェクトによって整備される学校に対して、必要な教職員を配置する。
- ② 本プロジェクトによって整備される学校に対して、必要な運営・維持管理費を割り当てる。

第4章 プロジェクトの評価

第4章 プロジェクトの評価

4-1 プロジェクトの前提条件

4-1-1 事業実施のための前提条件

本プロジェクトを開始するために前提となる条件は以下のとおり。

- (1) 施設建設のために必要な土地が確保されること
- (2) 免税措置が取られること
- (3) 既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地が行われること（ただし、本プロジェクトの施設の建設位置にある障害物の解体撤去工事については、工事を遅滞なく実施するために日本側負担で実施する）

4-1-2 プロジェクト全体計画達成のための前提条件・外部条件

本プロジェクトの効果を発現・持続するための前提条件、外部条件（プロジェクトではコントロールできない条件）は以下のとおり。

- (1) PRSP、PDEF 実施の方針に変更がないこと
- (2) 教育行政の地方分権化の方針に変更がないこと

また、プロジェクトの全体計画の達成に向けて、技術協力プロジェクト（PAES 2）により補完・強化される事項は以下のとおり。

- (1) 各学校において、CGE を中心として学校活動計画を策定する能力
- (2) 各学校において、校長及び CGE 代表が学校活動計画策定及び CGE をモニタリングする能力

4-2 プロジェクトの評価

4-2-1 妥当性

本プロジェクトは、以下の理由により我が国の無償資金協力による協力対象事業の実施が妥当であると判断される。

- (1) 本プロジェクトの裨益対象は、ダカール州及びティエス州の生徒（約 30,000 名）や教職員（約 500 名）など一般国民である。
- (2) 本プロジェクトのプロジェクト目標は、ダカール州及びティエス州の教育環境を改善することであり、我が国の無償資金協力の目的であるベーシックヒューマンニーズ（BHN）、教育および人造りに合致する。
- (3) 本プロジェクト計画対象校は、セネガル国側独自の資金と人材、技術で運営・維持管理を行うことができ、高度な技術を必要としない。

- (4) 本プロジェクトの内容は、セネガル国の貧困削減戦略文書（PRSP）及び長期教育計画である「教育・訓練 10 年計画（PDEF）」の目標達成に資する計画である。
- (5) 本プロジェクトは小学校及び中学校を整備するプロジェクトであり、実施によって収益を伴わない。
- (6) プロジェクト実施に伴い大規模な造成や住民移転等が発生しないことから、環境社会面での負の影響がほとんど無い。
- (7) 我が国の無償資金協力（コミュニティ開発支援無償）の制度によりプロジェクトの実施が可能である。ただし、施工業者の調達には留意すべきである（3-2-4-2、3-35 ページ参照）。
- (8) 我が国は、1990 年代から無償資金協力によって学校建設を支援していることに加え、教育地方行政や学校運営に関して開発計画調査型技術協力プロジェクト、技術協力プロジェクト、青年海外協力隊の派遣等を通じて恒常的に支援を行っており、教育分野において優位性がある。

4-2-2 有効性

本プロジェクトの実施により期待される効果は以下のとおり。

(1) 定量的効果

指標名	現状の数値 (2009/10 年度)	計画値 (2012/13 年度)
1 教室あたりの収容人数（小学校）平均	76.7 人	47.8 人
1 教室あたりの収容人数（中学校）平均	161.7 人	80.2 人
計画対象小学校における教室数 ¹	51	129
計画対象中学校における教室数 ²	96	287

※対象範囲は対象サイト

※セネガル国教育省の定める 1 教室あたりの望ましい収容人数は、小学校 48 人、中学校 45 人

(2) 定性的効果

- ・ 男女別トイレを整備することにより生徒の衛生に対する意識が向上する。
- ・ 男女別トイレを整備することにより女子生徒の通学意欲が向上する。
- ・ 学校環境の改善により、協力対象校の就学率、留年率や中途退学率の改善に寄与する。
- ・ 計画対象校において、整備された施設の維持管理に対する学校関係者の意識が向上する。

以上の内容により、本プロジェクト実施の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

¹ 調査時点における継続使用可能な教室数

² 上記 1 に同じ。

資料

1. 調査団員氏名、所属

(1) 現地調査Ⅰ（平成22年6月12日～7月20日）

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 課長
青木 協太	調達監理計画	JICS 業務第一部 施設第三課 課長補佐
村川 太志郎	計画管理	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
毛利 信弘	建築設計Ⅰ	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	建築設計Ⅱ	株式会社 毛利建築設計事務所
糸川 伸司	施工計画／調達計画／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 真紀	教育計画	株式会社 毛利建築設計事務所
岡田 有希子	教育計画Ⅱ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
榎本 久美子	建築設計Ⅲ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
芹沢 紀青	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(2) 現地調査Ⅱ 概要説明（平成22年12月4日～12月13日）

氏名	業務内容	所属
丹原 一広	団長	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 課長
甲田 小百合	計画管理	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
糸川 伸司	施工計画／調達計画／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	建築設計Ⅱ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
芹沢 紀青	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

(3) 現地調査Ⅲ 入札図書作成参考資料（案）説明（平成23年3月5日～3月14日）

氏名	業務内容	所属
吉澤 博幸	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
毛利 信弘	建築設計Ⅰ	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	建築設計Ⅱ（自主補強）	株式会社 毛利建築設計事務所
芹沢 紀青	通訳	株式会社 毛利建築設計事務所

2. 調査行程

(1) 現地調査 I (平成 22 年 6 月 12 日～7 月 20 日)

日時	官団員			a	b	c	d	e	f	g	h	
	団長 JICA	計画管理 JICA	調達監理計画 JICS	業務主任/施設計画	建築設計I	建築設計II	施工計画/調達計画 /積算	教育計画	通訳	教育計画II (自主補強)	建築設計III (自主補強)	
	丹原一広 10日間	村川太志郎 10日間	青木協太 10日間	吉澤博幸 39日間	毛利信弘 30日間	横堀淳一 39日間	桑川伸司 29日間	田中真紀 32日間	芥沢紀青 36日間	岡田有希子 29日間	榎本久美子 30日間	
1	6/12	土	成田発→パリ			成田発→	成田発→パリ					
2	6/13	日	パリ→ダカール着			→パリ→ダカール着	パリ→ダカール着					
3	6/14	月	JICA事務所・日本大使館表敬、教育省表敬・協議			dに同行	積算関連調査	aに同行	aに同行	aに同行		
4	6/15	火	ティエスIA協議、ダカールIA協議	経済財務省、教育省事業契約書	ティエスIA協議、ダカールIA協議		同上	経済財務省、教育省事業契約書	同上	同上		
5	6/16	水	教育省協議、経済財務省表敬、過去無償案件視察(ダカール州、5次、3次)			同上	同上	積算関連調査	同上	同上		
6	6/17	木	ミニッツ協議			同上	同上	同上	同上	同上		
7	6/18	金	ミニッツ署名、JICA事務所報告、大使館報告		成田発→パリ	同上	同上	同上	ミニッツ署名、JICA事務所報告	ミニッツ署名	ミニッツ署名、教育関連調査	成田発→パリ
8	6/19	土	ダカール発→	施設計画関連調査	パリ→ダカール着	同上	同上	同上	教育関連調査	eに同行	eに同行	パリ→ダカール着
9	6/20	日	→パリ	資料整理、団内打合せ								
10	6/21	月	一成田着	ダカールIA打合せ、建築関連調査	サイト調査準備	積算関連調査	ダカールIA打合せ、DAGE打合せ	aに同行	aに同行	eに同行	dに同行	
11	6/22	火		ティエスIA打合せ	同上	同上	ティエスIA打合せ	同上	同上	同上	同上	
12	6/23	水		サイト調査(ダカール) 合同調査 DK4M, DK5M								
13	6/24	木		bに同行	DK1M, DK3M	bに同行	DK12M, DK13M	NGO(ACA)調査、IDEN(Grand Dakar 1)	eに同行	同上	dに同行	
14	6/25	金		dに同行	DK2M, DK11M	同上	DK7M, DK6	dに同行	同上	同上	同上	
15	6/26	土		bに同行	DK14M, DK15M	同上	DK10, DK8	NGO(ANFA)調査、DK8	同上	同上	同上	
16	6/27	日		資料整理、サイト調査準備、団内打合せ								
17	6/28	月		中等教育局、企画改革局協議	DK18M, DK19M	bに同行	DK16, DK17	中等教育局、企画改革局協議	aに同行	eに同行	dに同行	
18	6/29	火		学校建設局協議	aに同行	DK30M, DK9	DK28M, DK27	DK28M, AFD支援校調査	同上	同上	同上	
19	6/30	水		無償(4次)校調査、IDEN(Pikine), DPPE協議	DK24M, DK26M	bに同行	DK29M, DK22	aに同行	同上	同上	同上	
20	7/1	木		bに同行	DK21, DK25M	同上	DK23, DK20M	無償(5次)校調査、IDEN(Rufisque 1)	eに同行	同上	同上	
21	7/2	金		ダカール→ティエス、IAティエス、IDEN(Thies Department)	ダカール→ティエス、TH12, TH13	同上	ダカール→ティエス、TH14, TH18M	aに同行	aに同行	同上	同上	
22	7/3	土		IDEN(Tivaouane)、無償(2次)視察	TH16M, TH17M	同上	TH15, TH10M	同上	同上	同上	同上	
23	7/4	日		資料整理、団内打合せ								
24	7/5	月		IDEN(Thies Ville)→ダカール	TH8M, TH2, TH7	bに同行	TH6, TH11M	aに同行	aに同行	eに同行	dに同行	
25	7/6	火		中間報告(TV会議)、安全対策連絡協議会→ティエス	TH1, TH5	同上	TH3, TH4, TH9M	中間報告(TV会議) NGO(Aide et Action)調査	eに同行	同上	同上	
26	7/7	水		TH21, TH22	TH19, TH20	同上	→ダカール	IDEN(Rufisque2, Tivaouane, Thies Ville, Thies Department)	同上	同上	aに同行	
27	7/8	木		TH24, TH23	TH26, TH27M, TH29M	同上	積算関連調査、ダカール発→	IDEN(Thiaroye, Grand Dakar 2, Dakar Banlieue)	同上	eに同行、ダカール発→	同上	
28	7/9	金		TH28M→ダカール	TH25, TH30M→ダカール	同上	→パリ	教育省(DPRE, DAGE)	同上	→パリ	同上	
29	7/10	土		テクニカルノート作成、資料整理	aに同行	aに同行	→ジブチ(他案件調査へ)	テクニカルノート作成、資料整理	テクニカルノート作成、資料整理	→成田着	aに同行	
30	7/11	日		資料整理、団内打合せ				資料整理、団内打合せ、ダカール発22:50	資料整理、団内打合せ		資料整理、団内打合せ	
31	7/12	月		DCS協議	DCS協議	建築設計調査		→0605/パリ1925→	aに同行		建築・積算関連調査	
32	7/13	火		DPRE, DAGE協議	DPRE, DAGE協議	同上		→1415成田着	同上		同上	
33	7/14	水		DPRE, DAGE協議	建築関連調査	同上			同上		同上	
34	7/15	木		テクニカルノート署名、JICA報告	aに同行、ダカール発→	同上			同上、ダカール発→		同上、ダカール発→	
35	7/16	金		大使館報告、建築関連調査	→パリ	同上			→パリ		→パリ	
36	7/17	土		建築関連調査	→成田着	同上			→成田着		→成田着	
37	7/18	日		補足調査、ダカール発→		補足調査、ダカール発→	ジブチ→パリ					
38	7/19	月		→パリ		→パリ	→成田着					
39	7/20	火		→成田着		→成田着						

(2) 現地調査Ⅱ 概要説明 (平成 22 年 12 月 4 日～12 月 13 日)

日時	官団員		a	b	c	d
	総括	計画管理	業務主任/施設計画	施工計画/調達計画/積算	通訳	建築設計II (補強)
	丹原一広 8日間	甲田小百合 8日間	吉澤博幸 10日間	糸川伸司 10日間	芹沢紀青 10日間	横堀淳一
	11/27	土				成田発→パリ
	11/28	日	パリ案件調査			パリ→ダカール着
	11/29	月	↓			地盤調査再委託関連調査
	11/30	火	↓			同上
	12/1	水	↓			同上
	12/2	木	↓			入札図書作成業務再委託関連調査
	12/3	金	↓			同上
1	12/4	土	↓	成田発→パリ		同上
2	12/5	日	↓	パリ→ダカール着		資料整理
3	12/6	月	↓	ローカルコンサルタント打合せ	積算関連調査	a に同行 b に同行
4	12/7	火	パマコ→	再委託契約締結	積算関連調査	同上
5	12/8	水	ダカール着、JICA事務所打合せ、教育省概略設計概要説明	JICA事務所打合せ、教育省概略設計概要説明	同上	同上
6	12/9	木	JICA事務所打合せ、KfW、CIDA、WBへプロジェクトの概要説明、ミニッツ協議、レセプション	同上	同上	同上
7	12/10	金	ミニッツ署名、大使館・JICA事務所報告、ダカール発	ミニッツ署名、大使館・JICA事務所報告	同上	同上
8	12/11	土	パリ→	補足調査、ダカール発→		
9	12/12	日	羽田着	→パリ→		
10	12/13	月		→成田着		

(3) 現地調査Ⅲ 入札図書作成参考資料 (案) 説明 (平成 23 年 3 月 5 日～3 月 14 日)

日時	a	b	c	d
	業務主任/施設計画	建築設計 I	通訳	建築設計II (補強)
	吉澤博幸 10日間	毛利信弘 10日間	芹沢紀青 10日間	横堀淳一 17日間
	2/26	土		成田発→パリ
	2/27	日		パリ→ダカール着
	2/28	月		入札参考資料まとめ
	3/1	火		同上
	3/2	水		同上
	3/3	木		印刷製本
	3/4	金		同上
1	3/5	土	成田発→パリ	資料整理
2	3/6	日	パリ→ダカール着	同上
3	3/7	月	DAGE (入札参考資料説明)	a に同行、入札制度変更調査
4	3/8	火	DPRE (入札参考資料説明)	同上
5	3/9	水	ダカールIA、IDEN (入札参考資料説明)	同上
6	3/10	木	ティエスIA、IDEN (入札参考資料説明)、テクニカルノート署名	同上
7	3/11	金	JICA報告	同上
8	3/12	土	ダカール発→	
9	3/13	日	→パリ→	
10	3/14	月	→成田 (羽田) 着	

3. 関係者（面会者）リスト

(1) 現地調査 I

就学前・初等・中等教育・国語省 (Ministère de l' Enseignement Préscolaire, de l' Élémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales)

氏名	所属	役職
M. Mafakha TOURE	—	事務次官
M. Djibril Ndiaye DIOUF	教育企画改革局 (DPRE)	局長
M. Idrissa BALDE	DPRE	プログラミング室 室長
M. Ibrahima CISS	DPRE	建設プログラムモニタリング課 課長
M. Amadou Gueye SEYE	DPRE	学校地図課 課長
M. Ousmane SECK	DPRE	学校統計室 室長
M. Elhadji NDIAYE	モニタリング室	室長
M. Ndoye Mame MOUSSE	総務機材局 (DAGE)	局長
M. Assane DIENG	DAGE	予算財政課 課長
M. Momoyah Mohamed Lamine SYLLA	DAGE	
M. Daouda GUEYE	事業契約室	公共事業契約コーディネーター
M. Moussa NDIAYE	初等教育局	パートナー（ドナー）課 課長
M. Alioune Badara DIOP	初等教育局	
M. Ibrahima NDOUR	中等教育局	局長
M. Papa SENE	中等教育局	副局長
M. Daouda THIAO	中等教育局	学校生活施設課 課長
M. Abdoulaye SOUMARE	中等教育局	

州視学官事務所 (Inspections d' Académie, IA)

M. Baba Ousseynou LY	ダカール IA	総視学官
M. Seyni WADE	ダカール IA	副総視学官
M. Medoune DIENG	ダカール IA	計画担当者
Mme. Absatou Diop DIALLO	ティエス IA	総視学官
M. Mamadou FALL	ティエス IA	州テクニカルコーディネーター
M. Mamadou DIEYE	ティエス IA	モニタリング課 課長
M. Makhtar NDOUR	ティエス IA	試験課 課長

県視学官事務所 (Inspections Départementales de l' Education Nationale, IDEN)

M. Papa Ibrahima HANE	チャロイエ	計画担当者
M. Ibrahima SAKHO	ルフィスク 1	県視学官

M. Oumar DIAGNE	ルフィスク 1	計画担当者
M. Moustapha GUEYE	ルフィスク 2	計画担当者
M. Papa M. TALL	ルフィスク 2	人材管理担当
M. Ibrahima SYLLA	ゲダウェイ	計画担当者
Mme. Anta Diop NDIAYE	グランダカール 1	県視学官
M. Ibrahima Amadou LY	グランダカール 1	計画担当者
Mme. Khady Diop MBODJI	グランダカール 2	県視学官
M. Mor Diabel MBAYE	グランダカール 2	計画担当者
M. Abdoulaye SALL	ピキン	県視学官
M. Souleyman NDIAYE	ピキン	計画担当者
M. Cheikh SENE	ダカール バンリュエ	計画担当者
M. Jerome FAYE	ティエス県	視学官補佐
M. Alioune NIDAYE	ティエス県	計画担当者
M. Modou FALL	ティバウアン	県視学官
M. El Hadji Ibrahima NDIAYE	ティバウアン	計画担当者
M. Talla FAYE	ティエス市	県視学官

経済財務省 (Ministère de l' Economie et des Finances)

M. Massar WAGUE	経済財政協力局	局長
Commandant DOUCOURE	関税総局	司令官
M. Georges DIENE	関税総局	免税・投資事務所長
Mme. Yama Kougaté DIABY	租税財産総局	租税制度・承認事務所

都市住宅建設省 (Ministère de l' Urbanisme, de l' Habitat, de la Construction et de l' Hydraulique)

M. Ousmane DIOP	学校施設建設局 (DCS)	局長
M. Moussa SOW	DCS	建設課 課長

NGO

M. Ousmane SECK	ACA	プログラムマネージャー
M. Hamidou SOUKOUNA	Aide et Action	国内事務所コーディネーター
M. Valdiodio NDIAYE	ANAFI	管理・財政／プロジェクトモニタリング担当

在セネガル日本国大使館

淡川 貴夫	二等書記官
-------	-------

JICA セネガル事務所

大久保 久俊	所長
--------	----

梅本 真司	次長
丸山 隆央	所員
琴浦 容子	所員
桑畑 美津子	企画調査員 (広域・教育)
西原 鉄馬	企画調査員 (資金)
M. Macaty Fall	

(2) 現地調査Ⅱ

就学前、初等、中等前期、中等後期、国語担当教育省 (Ministère de l' Education chargé du Pré-scolaire, de l' Elémentaire, du Moyen, du Secondaire et des Langues Nationales)

氏名	所属	役職
M. Mafakha TOURE	—	事務次官
M. Idrissa BALDE	教育企画改革局 (DPRE)	プログラミング室 室長
M. Ndoye Mame MOUSSE	総務機材局 (DAGE)	局長
M. Elhadji NDIAYE	モニタリング室	室長
M. Moussa SOW	学校施設建設局 (DCS)	建設課 課長

州視学官事務所 (Inspections d' Académie, IA)

M. Ibrahima BAR	ティエス IA	副視学官
M. Mamadou FALL	ティエス IA	州テクニカルコーディネーター

県視学官事務所 (Inspections Départementales de l' Education Nationale, IDEN)

M. Modou FALL	ティバウアン	県視学官
M. Mamadou Abdul Sow	ティバウアン	
M. Malick Ndiaye	ティエス市	
M. Fatou Diop Ndiaye	ティエス県	
Mme. Khady Diop MBODJI	グランダカール	県視学官
M. Abdou Fall	ルフィスク市	
M. Magatte SAMB	ルフィスク県	
M. Cellé NDIAYE	チャロイエ	
M. Dioaley ka Ndiaye SY	クールマッサール	
M. Fatou Binetau DIOP	ダカールプラトー	
M. Cheikh SENE	パルセル・アセニ	計画担当者
M. Ibrahima SYLLA	ゲダウェイ	計画担当者
M. Abdoulaye SALL	ピキン	県視学官

経済財務省 (Ministère de l' Economie et des Finances)

M. Massar WAGUE	経済財政協力局	局長
-----------------	---------	----

カナダ国際開発庁 (Bureau d' Appui à la coopération Canadienne, BACDI)

M. Diaba SEYE	コーディネーター
M. Ibrahima DIOME	教育アドバイザー

世界銀行 (Banque Mondiale)

M. Atou Seck	シニア教育エコノミスト
--------------	-------------

ドイツ復興金融公庫 (KfW)

M. Marième Kane	プログラムアシスタント
-----------------	-------------

在セネガル日本国大使館

深田 博史	特命全権大使
二石 昌人	公使参事官
番浦 剛正	二等書記官

(3) 現地調査Ⅲ

就学前、初等、中等前期、中等後期、国語担当教育省 (Ministère de l' Education chargé du Pré-scolaire, de l' Elémentaire, du Moyen, du Secondaire et des Langues Nationales)

氏名	所属	役職
M. Alassane Faye	モニタリング室	
M. Ousmane DIOP	学校施設建設局 (DCS)	局長
M. Moussa SOW	DCS	建設課 課長
M. Alblamane Ndiaye	DCS	調査課 課長
M. Mamadu Moustapha Ndiaye	DCS	プロジェクト長

州視学官事務所 (Inspections d' Académie, IA)

M. Ibrahima BAR	ティエス IA	副視学官
-----------------	---------	------

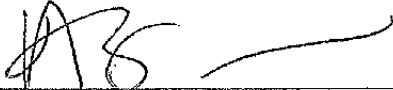
**PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS RELATIVES A
L'ETUDE PREPARATOIRE SUR
LE PROJET DE RENFORCEMENT DES CAPACITÉS D'ACCUEIL ET
D'AMÉLIORATION DE L'ENVIRONNEMENT SCOLAIRE DANS
L'ENSEIGNEMENT ÉLÉMENTAIRE ET MOYEN DANS LES RÉGIONS DE
DAKAR ET THIÈS
EN RÉPUBLIQUE DU SÉNÉGAL**

En réponse à la requête déposée par le gouvernement de la République du Sénégal (ci-après désignée par « le Sénégal »), le gouvernement du Japon a décidé de mettre en œuvre une étude préparatoire sur le « Projet de renforcement des capacités d'accueil et d'amélioration de l'environnement scolaire dans l'enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Dakar et Thiès en République du Sénégal » (ci-après désigné par « le Projet ») et a confié la mise en œuvre de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée par « la JICA »).

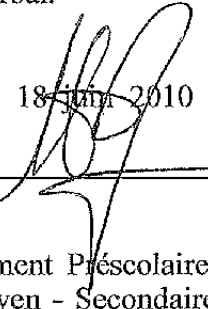
La JICA a envoyé au Sénégal une mission d'étude du concept de base dirigée par Monsieur Kazuhiro TAMBARA, Directeur de la 2^{ème} Section d'Enseignement de Base, Groupe d'Enseignement de Base, Département de Développement Humain, de la JICA (ci-après désignée par « la mission d'étude »), et cette mission au Sénégal est prévue du 13 juin au 15 juillet 2010.

Au terme des discussions et de l'étude sur le terrain, les deux parties ont confirmé les principaux éléments indiqués dans les documents annexés au présent procès-verbal.


Fait à Dakar, le 18 juin 2010



M. Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Etude préparatoire
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)
Japon



M. Mafakha TOURE
Secrétaire Général
Ministère de l'Enseignement Pré-scolaire,
de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire
et des Langues Nationales
République du Sénégal



M. Massar WAGUE
Directeur de la Coopération
Economique et Financière
Ministère de l'Economie et des
Finances
République du Sénégal

APPENDICE

1. Objectif du Projet

L'objectif du présent Projet est d'améliorer l'environnement scolaire de l'enseignement élémentaire et du moyen des régions de Dakar et Thiès à travers l'extension/remplacement des infrastructures scolaires et la fourniture de mobiliers.

2. Organisme responsable et organisme d'exécution du Projet du pays bénéficiaire

- 2.1. L'organisme responsable du présent Projet est la Direction de la Planification et de la Réforme de l'Education (DPRE) du Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales.
- 2.2. L'organisme d'exécution du présent Projet est la Direction de l'Administration Générale et de l'Equipement (DAGE) du Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales. Le Projet collaborera avec la Direction de la Construction Scolaire (DCS) du Ministère de l'Urbanisme, de l'Habitat, de la Construction et de l'Hydraulique lors de sa mise en oeuvre.

3. Sites faisant l'objet du Projet

- 3.1. Les sites faisant l'objet du présent Projet se situent dans les régions de Dakar et Thiès.
- 3.2. Les deux parties ont consenti que les écoles faisant l'objet de l'Aide devront être sélectionnées parmi les écoles de la liste de l'Annexe 1 ci-jointe sur la base du résultat de l'étude des sites sur le terrain. En ce qui concerne les critères de sélection des sites, la discussion sera continuée entre les membres consultants de la mission d'étude et le Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales.

4. Composantes du Projet

- 4.1. Les éléments suivants qui ont été présentés comme requête définitive à l'issue des discussions par la partie sénégalaise sont : salle de classe, bloc administratif, bloc d'hygiène et mobiliers scolaires.
- 4.2. Les deux parties ont confirmé de donner la priorité à la construction de salles de classe et à la fourniture de mobiliers scolaires (tableaux noirs, tables bancs). Quant aux autres composantes du Projet (les blocs d'hygiène ou les bureaux de directeur d'école) seront examinées sur la base du résultat de l'étude des sites des écoles faisant l'objet. Au cas où les écoles de nouvelle création feraient l'objet du Projet, le paquet complet (bloc d'hygiène et bloc administratif en plus de salle de classe et mobilier scolaire) sera à planifier.
- 4.3. La partie sénégalaise prendra en charge la construction des points d'eau et des murs de clôture des sites dont la nécessité est confirmée.

4.4. La possibilité des composantes soft sera examinée sur la base du résultat de l'étude.

5. Système de la coopération financière non remboursable du Japon

5.1. La partie sénégalaise a pris bonne connaissance du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire du Japon, mentionné dans les Annexes 2, 3 et 4.

5.2. La partie sénégalaise s'engage à prendre des mesures nécessaires mentionnées dans l'Annexe 5 pour un bon déroulement du Projet au cas où le présent Projet serait mis en œuvre dans le cadre de l'Aide financière non remboursable du Japon.

6. Cadre de la mise en œuvre du Projet

La mission d'étude a procédé à l'explication suivante sur le cadre de la mise en œuvre du Projet.

6.1. L'Echange de Notes (E/N) sera signé entre les gouvernements du Japon et du Sénégal après l'approbation de l'Aide financière non remboursable par le Conseil des ministres et ensuite l'Accord de Don (A/D) sera conclu entre la JICA et le gouvernement du Sénégal. L'Accord de Don (A/D) détermine les stipulations nécessaires à la mise en œuvre du Projet telles que les conditions de paiement, les obligations du pays bénéficiaires ou les conditions d'approvisionnement etc.

6.2. Après la signature de l'Echange de Notes (E/N) et de l'Accord de Don (A/D), le gouvernement du Sénégal conclura le contrat de prestation de service pour l'approvisionnement avec un agent japonais chargé de l'approvisionnement (désigné ci-après par « l'Agent »).

7. Commission de concertation

7.1. Les deux parties ont convenu de la mise en place d'une commission de concertation composée des représentants des organismes concernés de la partie sénégalaise et de la JICA en vue d'un bon déroulement du Projet. Les membres de cette commission sont les suivants.

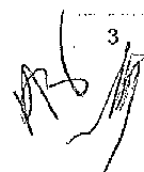
(1) Représentants du Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales.

(2) Représentants du Ministère de l'Economie et des Finances.

(3) Représentant du bureau de la JICA au Sénégal.

7.2. La commission de concertation devra être organisée périodiquement afin de vérifier l'état d'avancement et de discuter les points techniques à vérifier.



 3

8. Calendrier de l'étude

- 8.1. Les membres consultants poursuivront l'étude jusqu'au 15 juillet 2010.
- 8.2. La mission d'étude procédera à l'analyse au Japon jusqu'à vers le mois de septembre sur la base du résultat de l'étude sur le terrain au Sénégal. La JICA enverra au Sénégal une mission d'étude d'explication du contenu du rapport de l'étude du concept sommaire vers le mois d'octobre 2010.
- 8.3. Après la deuxième analyse au Japon, la mission d'étude devra effectuer une mission au Sénégal vers le mois de février 2011 afin d'expliquer le document de référence de l'appel d'offres.

9. Autres points discutés

- 9.1. La partie sénégalaise devra gérer et entretenir les infrastructures scolaires construites dans le cadre du présent Projet.
- 9.2. La partie sénégalaise s'engage à prendre des mesures de sécurités suffisantes des ressortissants japonais s'occupant du présent Projet.
- 9.3. La partie sénégalaise s'engage à fournir les données, les informations et les documents nécessaires à la présente étude.
- 9.4. La partie sénégalaise s'engage à fournir les pièces qui attestent de l'attribution légale de terrains des écoles concernées (plan cadastral, acte de délibération ou attestation de délibération de la collectivité locale).
- 9.5. Les perdiems et les frais de déplacement et d'hébergement de la partie sénégalaise pour la mise en œuvre de l'étude et du projet, devront être pris en charge par la partie sénégalaise

Annexe 1 : Liste des écoles de la requête

Annexe 2 : Aperçu du système de coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe 3 : Circuit du fonds relatif à l'exécution du projet sous le système de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe 4 : Schéma d'exécution de l'Aide financière non remboursable pour le développement communautaire

Annexe 5 : Principales dispositions à prendre par les gouvernements des deux pays



INSPECTION D'ACADEMIE DE DAKAR

LISTE DES SITES D'INTERVENTION RETENUS DANS LE CADRE DU PROJET JICA VI

CYCLE : ENSEIGNEMENT ELEMENTAIRE

N°	IDEN	Collectivité locale	ECOLE
1	Grand Dakar 2	CA. HLM	Ecole HLM 4/D
2	Pikine	CA. PIKINE OUEST	Serigne Moussa KA/A
3	Pikine	CA. PIKINE OUEST	Serigne Moussa KA/B
4	Guédiawaye	CA. NDIAREME LIMAMOULAYE	Pikine 18
5	Guédiawaye	CA. WAKHINANE NIMZATT	Khaly Madiakhaté Kala/C
6	Guédiawaye	CA. WAKHINANE NIMZATT	Pikine 23/A
7	Thiaroye	CA KEUR MASSAR	Castor Sotrac
8	Rufisque 2	COM DIAMNIADIO	Diamniadio 2
9	Rufisque 2	CR. SANGALKAM	Keur Ndiaye LO 2
10	Rufisque 2	CR. YENE	Toubab Dialaw

CYCLE : ENSEIGNEMENT MOYEN

N°	IDEN		ETABLISSEMENT
1	Grand Dakar 1	CA Grand Dakar	CEM Alioune DIOP
2	Grand Dakar 1	CA Fann-Point E- Amitié	CEM Cheikh Awa Balla Mbacké
3	Grand Dakar 2		CEM Liberté 6/C
4	Dakar Banlieue	CA Grand Yoff	CEM Talibou Dabo
5	Dakar Banlieue	CA Cambéréne	CEM Cambéréne
6	Dakar Banlieue	CA Parcelles assainies	CEM Unité 19
7	Rufisque 1	CA Rufisque Est	CEM Camp Marchand
8	Rufisque 2	Com rurale de Sangalcam	CEM Niaga
9	Rufisque 2	Commune Diamniadio	CEM Diameniadio
10	Rufisque 2	Com rurale de Sangalcam	CEM Déni Biram Ndao
11	Pikine	CA Pikine Nord	CEM Mame Yelli Badiane
12	Pikine	CA Pikine Est	CEM Fadilou Diop
13	Thiaroye	CA Keur Massar	CEM Keur Massar 2
14	Thiaroye	CA Mbao	CEM Mbao Kamb
15	Thiaroye	CA Thiaroye Gare	CEM Martyr C
16	Guédiawaye	CA Golf Sud	CEM Ndiarga DIAGNE
17	Guédiawaye	CA Golf Sud	CEM Banque Islamique
18	Guédiawaye	CA Sam Notaire	CEM Joseph Coréa/B
19	Guédiawaye	CA Wakhinane Nimzatt	CEM Pikine Est/A
20	Guédiawaye	CA Wakhinane Nimzatt	CEM Pikine Est/B

INSPECTION D'ACADEMIE DE THIES

LISTE DES SITES D'INTERVENTION RETENUS DANS LE CADRE DU PROJET JICA VI

CYCLE : ENSEIGNEMENT ELEMENTAIRE

N°	IDEN	Collectivité locale	Ecole
1	TIVAOUANE	Com Tivaouane	Tivaouane 13
2	TIVAOUANE	Com Tivaouane	Tivaouane 16
3	TIVAOUANE	CR Cherif LO	Keur Malamine
4	TIVAOUANE	CR Cherif LO	Bitive SEYE
5	TIVAOUANE	CR Méouane	Keur Ndiaga Mbaye
6	TIVAOUANE	CR Pire Goureye	EFA NDIFFIF
7	TIVAOUANE	Com Méckhé	Mékhé 8
8	TIVAOUANE	Com MBoro	Mérina GUEYE
9	THIES DEPARTEMENT	CR Thienaba	Keur Yoro SADIO
10	THIES DEPARTEMENT	Com Pout	Pout 5
11	THIES DEPARTEMENT	CR Ngoudiane	Abdoulaye SENE
12	THIES DEPARTEMENT	CR Ngoudiane	Darou DIACK
13	THIES DEPARTEMENT	CR Thienaba	EFA Thiénaba SECK
14	THIES DEPARTEMENT	CR Touba Toul	EFA Touba Toul
15	THIES DEPARTEMENT	CR Keur Moussa	Daral Peulh
16	THIES VILLE	Com Thiès	Makan Diabaté
17	THIES VILLE	Com Thiès	Médina FALL 3
18	THIES VILLE	Com Thiès	Route de Dakar 2
19	THIES VILLE	Com Thiès	Sud Stade

CYCLE : ENSEIGNEMENT MOYEN

N°	IDEN	Collectivité locale	Etablissement
1	TIVAOUANE	Com MBoro	CEM mboro 2
2	TIVAOUANE	CR Ngandiouf	CEM Ngandiouf
3	TIVAOUANE	CR Notto	CEM Notto
4	TIVAOUANE	CR Méouane	CEM Mékhé village
5	THIES DEPARTEMENT	CR Keur Moussa	CEM Soune
6	THIES DEPARTEMENT	CR Ngoudiane	CEM Diack Bodokhane
7	THIES DEPARTEMENT	CR Notto	CEM Pakhmi
8	THIES DEPARTEMENT	CR Ndiayene Sirah	CEM Ndiayene Sirah
9	THIES VILLE	Com Thiès	CEM Darou Salam
10	THIES VILLE	Com Thiès	CEM Fahu
11	THIES VILLE	Com Thiès	CEM Parcelles Assainies

Annexe-2 :Aperçu du système de coopération financière non remboursable pour le développement communautaire

Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

Le Don japonais est un programme d'aide qui met à la disposition des pays bénéficiaires des fonds, et ce sans obligation de remboursement. Il consiste à accorder en application des lois et des ordonnances du Japon, le financement nécessaire permettant aux pays bénéficiaires de se procurer des installations, des équipements et services (technologie, transport, etc.) utiles au développement socio-économique national. Le gouvernement japonais n'offre pas de programmes d'approvisionnement direct de matériaux, d'équipements et d'installations ni de contributions en nature.

Le Don japonais comporte plusieurs schémas suivant l'objectif de l'aide. L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est un des schémas du Don qui consiste à fournir un soutien au renforcement des compétences globales des communautés qui sont confrontées à des menaces sur la vie et sur la sécurité, notamment la pauvreté, la famine, les épidémies, etc.

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire permet à exécuter plusieurs composantes (écoles, routes, eau, etc.) de manière cohérente en tant que programme en vue d'assurer une meilleure efficacité des démarches par une articulation organique entre elles. De même, lorsqu'il s'agit d'une aide dans un seul secteur, le projet est mis en œuvre par l'adoption de spécifications et de conceptions locales et l'utilisation positive d'entreprises, matériels et matériaux locaux pour améliorer la compétitivité, et ce, afin de pouvoir réduire sensiblement les coûts et assurer une meilleure efficacité par rapport aux aides générales.

(1) Procédures de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire

L'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon est exécutée selon les procédures suivantes.

A la première étape, la « requête » présentée par le gouvernement du pays bénéficiaire, y compris les organismes internationaux (cette remarque s'applique chaque fois que le terme « pays bénéficiaire » est utilisé) est examinée par le gouvernement japonais (le Ministère des Affaires étrangères) afin de déterminer si celle-ci est pertinente dans le cadre du Don japonais. Dans le cas où il serait confirmé que la requête est prioritaire en tant que projet du Don, le gouvernement japonais demande à la JICA de procéder à une étude.

A la deuxième étape, l'étude (étude du concept sommaire) est exécutée par la JICA, qui en principe aura conclu un contrat avec un consultant japonais chargé de sa réalisation.

A la troisième étape qui consiste en l'examen et l'approbation, le présent projet est examiné par le gouvernement japonais qui déterminera, sur la base du résultat de l'étude du concept sommaire menée par la JICA à la deuxième étape, si celui-ci est pertinent en tant qu'Aide Non-Remboursable au Développement

Communautaire, avant d'être soumis à l'approbation du Conseil des ministres du gouvernement japonais.

A la quatrième étape, le projet approuvé par le Conseil des ministres est officiellement déterminé par la signature de l'Echange de Notes (E/N) entre les deux gouvernements, et le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire entre en phase d'exécution après la signature de l'Accord de Don (A/D) entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

A la cinquième étape, le projet de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire est exécuté par le gouvernement du pays bénéficiaire. Le projet constitué entre autre de la construction d'installations est exécuté par l'entremise d'un agent japonais chargé de l'approvisionnement (ci-après dénommé « Agent ») qui intervient de manière neutre pour que le Don japonais puisse être exécuté de façon adéquate et dans les meilleures conditions possibles. L'Agent fournira, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en vertu du contrat pour les services d'approvisionnement conclu entre le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent, les services relatifs à l'appel d'offres, à la conclusion des contrats avec les adjudicataires et d'autres services, pour le compte du gouvernement du pays bénéficiaire.

(2) Statut de l'étude

1) Contenu de l'étude préparatoire (étude du concept sommaire)

Le but de l'étude (étude du concept sommaire) exécutée par la JICA est de fournir un document de base permettant au gouvernement japonais de déterminer si le projet est viable ou non dans le cadre du programme de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire. Le contenu de l'étude est le suivant :

- Confirmer l'arrière plan de la requête, les objectifs et les effets du projet ainsi que les capacités de gestion et de maintenance du pays bénéficiaire nécessaires à l'exécution du projet ;
- Evaluer la pertinence de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du point de vue technologique et socio-économique ;
- Confirmer le concept de base du projet convenu après discussions entre les deux parties ;
- Elaborer un concept sommaire du projet ;
- Estimer les coûts approximatifs du projet ;
- Exécuter un concept détaillé consécutif au concept sommaire et élaborer au cours de l'étude « les documents de base de la soumission » d'un niveau à répondre à la soumission sur place.

Il est bien entendu que le contenu de la requête n'est pas obligatoirement approuvé en tant que contenu pouvant faire l'objet d'une aide. Le concept de base du projet est examiné par rapport au cadre du Don japonais.

Par ailleurs, le gouvernement japonais demande au gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures qui pourraient s'avérer nécessaires pour assurer son appropriation lors de l'exécution du projet. Ces mesures doivent être garanties, même si elles n'entrent pas dans la juridiction de l'organisme en charge

de l'exécution du projet du pays bénéficiaire. Par conséquent, l'exécution du projet doit être confirmée par toutes les organisations concernées du pays bénéficiaire par la signature des procès verbaux des discussions.

2) **Sélection du consultant**

Pour la mise en œuvre de l'étude, la JICA effectue une sélection parmi les consultants de nationalité japonaise enregistrés auprès de la JICA, après avoir procédé à un examen des propositions soumises par ces derniers. Le consultant sélectionné procède à l'étude du concept sommaire et élabore le rapport sur la base de références fournies par la JICA.

(3) **Schéma de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire**

1) **Echange de Notes (E/N)**

Le Don est accordé conformément aux Notes échangées entre les deux gouvernements et dans lesquelles sont confirmés, entre autres, les objectifs, le montant, les conditions d'exécution du Don.

2) **Signature de l'Accord de Don (A/D)**

Conformément aux Note échangées entre les deux gouvernements, la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire conclut un Accord de Don (A/D) dont lequel sont conformés, entre autres, les produits et les services à approvisionner, le détail des procédures.

3) **Banque**

Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé devra ouvrir un compte à son nom dans une banque au Japon (ci-après dénommée la « Banque »). La JICA exécutera le Don en procédant au transfert du montant total approuvé par le Conseil des ministres en Yens japonais dans le compte bancaire susmentionné.

4) **Durée de validité**

Le montant octroyé doit être utilisé avant la date limite stipulée dans l'Accord de Don (A/D) à compter de la date du transfert pour la passation des marchés et les contrats. Toutefois la durée de validité peut être prolongée sur l'accord entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire.

5) **Emploi de l'Agent**

Après que l'exécution du Don aura été déterminée par la conclusion de l'Echange de Notes ainsi que l'Accord de Don, le montant total du Don sera mis à la disposition, et le projet qui consiste entre autres en la supervision de l'approvisionnement en produits et services, la gestion financière, et la construction des installations sera exécuté par l'Agent, afin de réaliser le développement de communautés de manière prompte et flexible. L'Agent est une entité chargée de l'exécution du projet en tant que mandataire du

gouvernement du pays bénéficiaire pour le compte de ce dernier, et à ce titre il assure la gestion financière, l'approvisionnement en produits et services et la supervision de l'exécution. Le gouvernement du pays bénéficiaire et l'Agent concluront un contrat de prestation de service pour l'approvisionnement, et le gouvernement du pays bénéficiaire paiera sur le Don à l'Agent les frais encourus pour les services rendus. Dans le cas du présent projet, Japan International Coopération System (ci-après désignée par « JICS »), qui est l'unique organisme spécialisé en approvisionnement au Japon, sera chargée des services d'approvisionnement, d'autant plus qu'une communication et une coordination étroites entre le gouvernement du Japon et la JICA seront nécessaires pour que le Don puisse être exécutée dans les meilleures conditions possibles.

6) « Approbation » de l'Accord d'Agent

L'Accord entre le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé et l'Agent sera conclu en « Yens japonais » et doit être « approuvé » par la JICA.

7) Rôle respectif de la JICA et de l'Agent

La JICA exécutera l'étude préparatoire (étude du concept sommaire) du présent projet, assurera la gestion d'exécution et fournira les conseils techniques à l'Agent. L'Agent exécutera le projet, en tant que mandataire du gouvernement du pays bénéficiaire, en lieu et place de celui-ci. La répartition de rôles des différents intervenants sera confirmée par l'Accord de Don (A/D) à conclure avec le gouvernement du pays bénéficiaire après la conclusion de l'Echange de Notes et de l'Arrangement concernant les Modalités d'Application.

8) Sélection du consultant pour la supervision des travaux de construction

Pour la supervision des travaux de construction des installations, l'Agent engagera contractuellement un consultant ayant des connaissances professionnelles sur le Don.

Au cas où il serait jugé indispensable d'utiliser pour le concept sommaire et la supervision des travaux de construction le même consultant que celui qui aura réalisé l'étude du concept sommaire, pour que le projet puisse être exécuté dans les meilleures conditions possibles, la JICA peut recommander au pays bénéficiaire d'utiliser le consultant qui aura été envoyé au pays bénéficiaire pour l'étude du concept sommaire comme consultant pour la supervision des travaux de construction.

Les rôles du consultant chargé de la supervision des travaux de construction sont tels qu'ils sont décrits ci-après :

【Stade de la soumission】

Le consultant chargé de la supervision des travaux de construction effectuera une évaluation technique de l'appel d'offres exécutée par l'Agent.

【Stade de la supervision des travaux de construction】



En principe le consultant chargé de la supervision des travaux de construction assumera les responsabilités concernant la qualité des travaux exécutés, la maîtrise de sécurité et la maîtrise du planning d'exécution des travaux. Toutefois, l'étendue de sa responsabilité sera définie séparément en tenant compte des lois, règlements et coutumes du pays bénéficiaire.

- a) Il effectuera la visite des chantiers de construction dont la fréquence et le contenu des activités doivent être conformes aux cahiers des charges de la commande, réalisera les inspections sur la qualité des travaux exécutés, le respect du planning d'exécution des travaux et la maîtrise de sécurité et élaborera périodiquement un rapport destiné à l'Agent ;
- b) Lorsque l'entreprise de construction effectue la demande de paiement à l'Agent, il effectuera une inspection sur l'état d'avancement des travaux et communiquera le résultat de ladite inspection à l'Agent ;
- c) Il effectuera les inspections de réception et communiquera leurs résultats à l'Agent ;
- d) Il effectuera les inspections de défauts un (1) an plus tard et communiquera leurs résultats à l'Agent.

9) Organisation de mise en œuvre du projet

La partie japonaise et la partie djiboutienne mettront en place un comité consultatif (ci-après dénommé « Comité ») pour l'exécution rapide et adéquate du Projet du projet, conformément à l'Echange de Notes et à l'Accord de Don. En outre, selon les besoins, comme structure relevant dudit comité, un groupe de travail présidé par le gouvernement du pays bénéficiaire sera aussi mis en place pour confirmer les orientations du projet en concertation entre les membres.

10) Dispositions à prendre par le gouvernement du pays bénéficiaire

Lors de l'exécution de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire, le pays bénéficiaire devra prendre les dispositions suivantes :

- (1) Effectuer un virement au compte de l'Agent du Don et de son intérêt couru pour l'approvisionnement en produits et services en se basant sur l'Accord d'Agent ;
- (2) Les démarches relatives au débarquement et au dédouanement dans le port de débarquement et le transport intérieur des produits achetés au titre du Don doivent être assurées promptement ;
- (3) Les droits de douane, taxes intérieures et/ou autres levées fiscales imposés sur les produits et services approvisionnés au titre des contrats doivent être exonérés ;
- (4) Le Don et son intérêt couru doivent être utilisés de façon pertinente et efficace pour le renforcement de la compétence globale des communautés ;
- (5) Les facilités nécessaires doivent être accordées aux personnes dont les services pourraient être requis en relation avec la fourniture des services au titre des contrats, pour leur entrée et leur séjour dans le pays bénéficiaire pour l'exécution des travaux ;
- (6) A l'expiration de la durée de validité ou au moment où le Don et son intérêt couru auront été complètement utilisés, le relevé de compte doit être remis à la JICA avec les documents

justificatifs ;

- (7) S'il s'agit de la construction d'infrastructures, les terrains nécessaires à la construction doivent être acquis ;
- (8) Les travaux tels que le terrassement des terrains, les branchements au réseau d'alimentation électrique, au réseau d'eau courante et au réseau d'évacuation des eaux usées et d'autres travaux d'infrastructures et équipements connexes qui auront été jugés nécessaires à travers l'étude menée par la partie japonaise doivent être exécutés.

11) « Usage adéquat »

Le pays bénéficiaire est tenu d'entretenir et d'utiliser les installations construites et les équipements achetés au titre du Don de manière adéquate et efficace et d'affecter le personnel nécessaire pour son exploitation et sa maintenance.

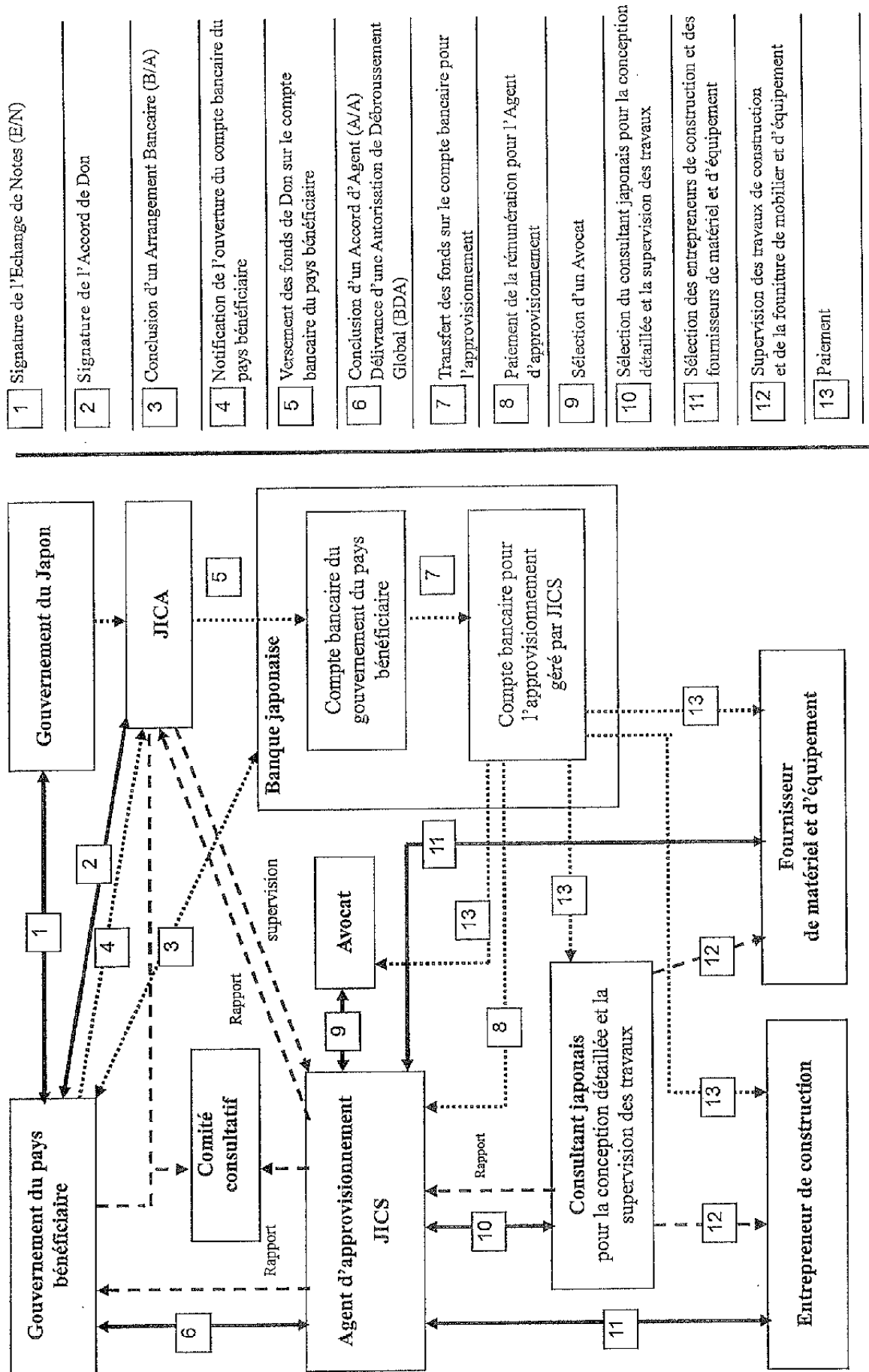
Il est également tenu de prendre en charge toutes les dépenses relatives à l'exploitation et à la maintenance nécessaires à la mise en œuvre du projet autres que celles couvertes par le Don.

12) « Réexportation »

Les produits achetés par le biais du Don ne doivent pas être réexportés du pays bénéficiaire.

ANNEXE 3

Système d'exécution et procédure de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire



Handwritten signature/initials

ANNEXE 4 Schéma d'exécution de l'Aide financière non remboursable pour le développement communautaire

1	Conclusion de l'Echange de Notes (E/N)	Le gouvernement du pays bénéficiaire et le gouvernement du Japon concluent l'Echange de Notes (E/N) après approbation de l'aide financière non remboursable pour le développement communautaire par le gouvernement du Japon
2	Conclusion de l'Arrangement bancaire (A/B)	Le gouvernement du pays bénéficiaire et une banque japonaise (Banque Tokyo-Mitsubishi-UFJ) concluent l'arrangement bancaire (A/B) pour ouvrir un compte bancaire au nom du gouvernement du pays bénéficiaire. Ce compte bancaire est appelé "le compte du bénéficiaire".
3	Déversement du fonds	Suite à l'E/N, l'A/D et l'A/B, le montant total de l'aide financière non remboursable est transféré dans le "compte du bénéficiaire".
4	Conclusion de l'Accord d'Agent (A/A)	Dès que l'E/N et l'A/D sont signés, JICS conclut un Accord d'Agent (A/A) avec le gouvernement du pays bénéficiaire. JICS va expliquer sur les procédures d'approvisionnement, la responsabilité du gouvernement du pays bénéficiaire et de JICS, et la rémunération de JICS comme un Agent.
5	Transfert du fonds de l'Aide financière non remboursable	Avant de commencer les services d'approvisionnement, le fonds de l'aide est transféré du "compte du bénéficiaire" au "compte d'approvisionnement de JICS". JICS prend alors toute la responsabilité pour gérer le fonds de l'aide financière non remboursable jusqu'à la fin du paiement pour les services d'approvisionnement. Avec la signature de l'autorisation de déboursement global (ADG), le gouvernement du pays bénéficiaire désigne JICS comme son représentant et donne mandat pour transférer tout le fonds de ce projet au nom du gouvernement du pays bénéficiaire.
6	Paiement de la commission de l'Agent	Le gouvernement du pays bénéficiaire doit payer à JICS la commission d'Agent pour ses services à rendre selon l'Accord d'Agent. La commission d'Agent doit être payé à JICS à partir du fonds transféré au compte d'approvisionnement de JICS.
7	Sélection du consultant pour la supervision	JICA recommande le même consultant pour la supervision qui a assuré l'étude du concept sommaire.
8	Sélection de l'entrepreneur	JICS sélectionne l'entrepreneur, suite au résultat de l'étude fourni par le consultant.
	(1) Préparation du dossier d'appel d'offres	JICS prépare le dossier d'appel d'offres pour sélectionner l'entrepreneur, suite au résultat de l'étude du concept sommaire et aux informations fournies par le consultant.
	(2) Notice général d'approvisionnement (NGA) et pré-qualification des soumissionnaires prévus	JICS publie l'avis d'appel d'offres par l'avis d'approvisionnement général dans les journaux largement lus et sur le site web de JICS. Ensuite JICS évalue l'éligibilité des entreprises enregistrées pour l'appel d'offres.
	(3) Soumission et évaluation de la soumission	JICS organise une séance de soumission par l'appel d'offres ouvert international ou par d'autres méthodes appropriées. La soumission est évaluée par JICS et un adjudicataire est déterminé selon l'accord entre les parties concernées.
	(4) Conclusion du contrat	Le contrat est conclu entre JICS et l'adjudicataire.
9	Approvisionnement des produits	JICS approvisionne les équipements dont la fourniture a été agréée pour le projet avec les manières suivantes.
	(1) Préparation du dossier d'appel d'offres	Même que le n°8.
	(2) Notice général d'approvisionnement (NGA) et pré-qualification des soumissionnaires prévus	
	(3) Soumission et évaluation de la soumission Evaluation	
	(4) Conclusion du contrat	
10	Construction des écoles et fourniture des équipements	JICS informe le gouvernement du pays bénéficiaire de la construction et du calendrier de livraison. S'il y a des problèmes, JICS coopère avec le gouvernement du pays bénéficiaire, la JICA et l'Ambassade du Japon afin de résoudre des problèmes conformément au contrat. Le gouvernement du pays bénéficiaire doit prendre des mesures nécessaires pour faciliter le dédouanement et l'exonération des taxes.
11	Paiement pour les produits et services	Lorsque les documents nécessaires pour le paiement sont présentés par l'entrepreneur (consultant et fournisseur), JICS examine leur contenu, et si les documents sont complets, il effectue le paiement à partir du compte d'approvisionnement de JICS au contractant.
12	Exécution du programme des composantes soft	Au cas où un programme des composantes soft serait exécuté, JICS sélectionne un (des) ONG ou d'autres agences pour exécution du programme, conclue un contrat et effectue le paiement.

	Eléments	à couvrir par le Don	à couvrir par la partie bénéficiaire
1	Obtenir une superficie de terrain suffisante		•
2	Démolition des installations, défrichage, mise à niveau et récupération du terrain si nécessaire		•
3	Construction de portails et des clôtures autour du terrain		•
4	Construction de la route		
	1) A l'intérieur du site		•
	2) A l'extérieur du site		•
5	Construction de bâtiment	•	
6	Fournir les installations pour la distribution d'électricité, l'eau courante, l'égout et les autres installations accessoires :		
	1) Electricité		
	a. La ligne de distribution jusqu'au site		•
	b. Le câblage de branchement et le câblage interne sur le site	•	
	c. Le disjoncteur du circuit principal	•	
	d. Le transformateur		•
	2) Alimentation en eau		
	a. Conduite principale d'eau courante urbaine jusqu'au site		•
	b. Système d'alimentation sur le site (réservoir de réception et château d'eau)	•	
	3) Drainage		
	a. Conduite principale urbaine d'égout (pour évacuer l'eau de pluie, les eaux d'égout etc. du site)		•
	b. Système d'égout sur le site (pour les eaux d'égout, les déchets ordinaires, l'eau de pluie etc.)	•	
	4) Téléphone		
	a. Ligne téléphonique de jonction jusqu'au répartiteur d'entrée (MDF) du bâtiment		•
	b. MDF et extension après le répartiteur	•	
	5) Mobilier et équipement		
	a. Mobilier pour l'école	•	
	b. Equipements du projet	•	
7	Prise en charge des commissions suivantes de la banque japonaise pour les services bancaires basés sur les arrangements bancaires (A/B):		
	1) Paiement des commissions bancaires pour le transfert du fonds ; du compte du gouvernement du Sénégal au compte d'approvisionnement de l'Agent		•
	2) Paiement des commissions bancaires du compte d'approvisionnement de l'Agent		•
8	Assurer le déchargement et dédouanement rapide et assister le transport intérieur des produits au Sénégal		
	1) Transport vers le pays bénéficiaire par mer (air) de produits	•	
	2) Exonération d'impôt et dédouanement des produits au port de débarquement		•
	3) Transport interne du pays entre le port de débarquement et le site	•	
9	Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux du pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des produits et des services sous le contrat vérifié, les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours dans le pays bénéficiaire, afin qu'ils puissent effectuer leur travail.		•
10	Exonération de taxes intérieures et ou autres levées fiscales imposées dans le pays bénéficiaire à l'égard de la fourniture des produits et des services pour le Projet.		•
11	Exonération de droits de douane, taxes intérieures et ou autres levées fiscales imposées dans le pays bénéficiaire auprès de l'Agent d'approvisionnement et du Consultant japonais à l'égard de la fourniture des produits et les services sous le contrat.		•
12	Dédommager des pertes et dommages dus à la non-exécution des éléments à la charge du pays bénéficiaire énumérés dans la présente liste.		•
13	Assurer que les Etablissements et les produits seront entretenus et utilisés d'une manière convenable et efficace pour la mise en œuvre du Projet		•
14	Prise en charge de toutes dépenses, autres que celles couvertes par le Don		•

(A/B : Arrangement Bancaire)

A/B

セネガル共和国
ダカール州及びティエス州小中学校建設計画
概略設計調査
協議議事録（案）

セネガル共和国（以下セ国と称する）政府より提出された要請に基づき、日本政府は「ダカール州及びティエス州小中学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する協力準備調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICA は、セ国へ人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課長丹原一広を団長とする準備調査団（以下「調査団」と称する）を派遣し、2010年6月13日より2010年7月15日まで同国に滞在する予定である。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

セネガル共和国ダカール 2010年6月18日

丹原 一広
団長
準備調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

マファカ トゥレ
次官
就学前・初等・中等教育・国語省

マサール ワゲ
経済、財務協力局長
経済、財務省

付属書

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、教育施設の増設・建替え、及び家具の供与を通して、ダカール州、ティエス州の小中学校の教育環境を改善することである。

2. 相手国実施責任機関

2-1. 本プロジェクトの責任機関は、セ国教育省企画改革局である。

2-2. 本プロジェクトの実施機関は、セ国教育省総務機材局である。なお、本プロジェクトの実施にあたっては、都市住宅省学校施設機材局とも必要に応じて協力する。

3. プロジェクト対象サイト

3-1. 本プロジェクトの対象サイトは、ダカール州とティエス州とする。

3-2. 対象校は、別紙1に示される要請校の中から、サイト調査の結果を踏まえ選定することで両者合意した。尚、サイト選定にかかるクライテリアについては、コンサルタントと教育省の間で引き続き協議することとした。

4. プロジェクトコンポーネント

4-1. 協議の結果、セ国から要請されたプロジェクトコンポーネントは教室、管理棟、便所、教育家具である。

4-2. 教室の建設と教育家具（黒板、机、椅子）の供与を最優先とすることで両者合意した。セ国側から要請のあったその他のプロジェクトコンポーネント（便所、校長室）は、対象校でのサイト調査の結果を踏まえ検討することとした。新設校を対象とする場合は、教室、家具に加えて便所、管理棟を加えたフルコンポーネントで計画する。

4-3. 水場と塀が必要と判断されたところはセ国側で負担する。

4-4. ソフトコンポーネントについては調査結果を踏まえて実施の可能性を検討する。

5. 日本の無償資金協力制度

5-1. セ国側は、別紙2、別紙3、別紙4に記載されている日本のコミュニティ開発支援無償資金協力制度について十分に理解した。

5-2. セ国側は、無償資金協力が実施される場合、プロジェクトの円滑な実施のために別紙5に記載されているとおりの必要な措置を行う。

6. プロジェクト実施のフレームワーク

調査団は、プロジェクト実施のフレームワークについて以下の通り説明した。

6-1. 無償資金協力が閣議によって承認の後、交換公文（E/N）が日本国政府とセ国側政府の間で署名され、引き続き JICA とセ国側政府との間で贈与契約（G/A）が締結される。G/A は支払条件、被援助国の責務、調達条件といった、当該プロジェクトの実施に必要なとされる条項

を定めるものである。

6-2. 交換公文 (E/N) 及び贈与契約 (G/A) が締結された後、セ国側政府は日本の調達代理機関と調達代理契約と締結を行う。

7. 協議会

7-1. プロジェクトの円滑な実施のために、セ国側関係機関と JICA の代表者で構成される協議会を設置することで両者合意した。協議会のメンバーは以下の通りである。

- (1) 教育省の代表
- (2) 経済財務省の代表
- (3) JICA セネガル事務所の代表

7-2. 協議会は、進捗確認や技術的確認事項などを協議するために定期的を開催する。

8. 調査のスケジュール

8-1. 本調査団は、引き続き 2010 年 7 月 15 日まで調査を継続する。

8-2. セネガルでの現地調査結果を踏まえ、調査団は 9 月頃まで日本で国内解析を行う。JICA は、10 月頃にセ国へ概略設計概要書説明調査団を派遣する。

8-3. 日本での第二次国内解析後、調査団は 2011 年 2 月に入札関連書類の説明のためセ国を訪問する。

9. その他協議事項

9-1. セ国側はプロジェクトで建設された学校施設を適切に運営、維持管理しなければならない。

9-2. セ国側はプロジェクト邦人関係者に対する十分な安全対策を措置することを約束した。

9-3. セ国側は本調査に必要なデータ、情報、書類を提供することを約束した。

9-4. セ国側は学校の土地帰属を証明する書類（土地台帳、譲渡議決書、自治体が発行する証明書）を提出することを約束した。

9-5. 実施に関わるセネガル側の日当、宿泊費はセネガル側が負担する。

別紙 1：要請校リスト

別紙 2：コミュニティ開発支援無償資金協力制度概要

別紙 3：コミュニティ開発支援無償資金協力における資金の流れ

別紙 4：コミュニティ開発支援無償資金協力における実施の流れ

別紙 5：被援助国の求められる主な措置

(別紙については和訳添付無し)

現地調査Ⅱ（概要説明調査時）PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS

RELATIVES A L'ETUDE POUR LE CONCEPT SOMMAIRE II
(EXPLICATION DE LA PROPOSITION DU RAPPORT DU CONCEPT SOMMAIRE DU
PROJET DE RENFORCEMENT DES CAPACITÉS D'ACCUEIL
ET D'AMÉLIORATION DE L'ENVIRONNEMENT SCOLAIRE
DANS L'ENSEIGNEMENT ÉLÉMENTAIRE ET MOYEN
DANS LES RÉGIONS DE DAKAR ET THIÈS
EN RÉPUBLIQUE DU SÉNÉGAL

En réponse à la requête déposée par le gouvernement de la République du Sénégal (ci-après désignée par « le Sénégal »), le gouvernement du Japon a décidé de mettre en œuvre une étude pour le concept sommaire du « Projet de renforcement des capacités d'accueil et d'amélioration de l'environnement scolaire dans l'enseignement élémentaire et moyen dans les régions de Dakar et Thiès en République du Sénégal » (ci-après désigné par « le Projet ») et a confié la mise en œuvre de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée par « la JICA »).

La JICA a envoyé au Sénégal une mission d'étude pour le concept sommaire relative au Projet entre le mois de juin et de juillet 2010 pour effectuer les discussions et l'étude des sites concernés et a établi le rapport de l'étude préparatoire (proposition) pour le Projet après l'évaluation technique du résultat de l'étude au Japon.

La JICA a envoyé une mission d'explication du concept sommaire dirigée par Monsieur Kazuhiro TAMBARA, Directeur de la 2^{ème} Section d'Enseignement de Base, Groupe d'Enseignement de Base, Département de Développement Humain, de la JICA (ci-après désignée par « la mission d'étude ») pour la période du 8 au 10 décembre 2010 afin d'expliquer le contenu du rapport de l'étude préparatoire (proposition) pour le Projet et de collecter les opinions relatives au contenu de ce rapport.

Au terme des discussions et de l'étude sur le terrain, les deux parties ont confirmées les principaux éléments indiqués dans les documents annexés au présent procès-verbal.

Fait à Dakar, le 10 décembre 2010



M. Kazuhiro TAMBARA
Chef de Mission
Mission d'explication du concept sommaire
Agence Japonaise de Coopération Internationale
(JICA)
Japon



M. Mafakha TOURE
Secrétaire Général
Ministère de l'Éducation chargé du
Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen, du
Secondaire et des Langues Nationales
République du Sénégal



M. Massar WAGUE
Directeur de la Coopération Economique
et Financière
Ministère de l'Économie et des Finances
République du Sénégal

APPENDICE

1. Contenu du rapport de l'étude préparatoire (proposition)

La partie sénégalaise a donné son accord de principe au contenu du rapport de l'étude préparatoire (proposition) expliqué par la mission d'étude et l'a accepté.

2. Système de la coopération financière non-remboursable du Japon

La partie sénégalaise a pris bonne connaissance du système de la coopération financière non remboursable pour le développement communautaire du Japon expliqué par la mission d'étude dont le contenu est mentionné dans les Annexes 2, 3, 4 et 5 du Procès-verbal des discussions signé le 18 juin 2010 par les deux parties.

3. Calendrier du programme futur

La JICA finalisera le rapport définitif sur la base du présent résultat de discussions et le remettra avant la fin du mois de mai 2011 au gouvernement sénégalais.

4. Confidentialité

Les deux parties ont confirmé que tous les documents et les informations relatifs au présent Projet ne devront pas être révélés à une tierce personne jusqu'à l'achèvement du Projet.

5. Installations et équipements faisant l'objet du présent Projet

La mission d'étude a expliqué le contenu des installations et des équipements faisant l'objet du présent Projet (Annexe 1) et la partie sénégalaise l'a accepté.

6. Composante soft

Les deux parties ont convenu de mettre en œuvre dans le cadre du Projet la composante soft relative à la gestion et à la maintenance des installations aménagées par le Projet.

7. Coût approximatif du Projet

La mission d'étude a expliqué le coût approximatif du présent Projet (Annexe 2). Les deux parties ont confirmé que le coût approximatif du Projet ne devra pas être révélé à une tierce personne jusqu'à la détermination de l' (les) adjudicataire(s). La mission d'étude a expliqué qu'il est possible que le coût approximatif du Projet soit modifié comme il s'agit d'un coût approximatif d'estimation, et la partie sénégalaise l'a accepté.

8. Travaux à la charge de la partie sénégalaise

La mission d'étude a expliqué le contenu des tâches à la charge de la partie sénégalaise (Annexe 3) qui seront nécessaires pour la mise en œuvre du présent Projet ainsi que l'avant-projet du calendrier d'exécution du Projet (Annexe 4). La partie sénégalaise s'engage à assurer le budget nécessaire pour l'exécution de telles tâches et à les réaliser conformément au calendrier fixé.

9. Mise en œuvre rigoureuse de la gestion et de la maintenance

La partie sénégalaise s'engage à mettre en place le personnel supplémentaire nécessaire pour la réalisation du présent Projet avant la fin des travaux de construction. Elle s'engage par ailleurs à établir une structure de la gestion et de la maintenance, à assurer et à distribuer le budget nécessaire pour la gestion et la maintenance sans retard.

10. Autres

La procédure de la soumission du (des) contrat(s) devra être réalisée conformément à la directive de l'approvisionnement dans le cadre de la coopération financière non-remboursable de la JICA en prenant en référence la procédure de la soumission des travaux de construction de la partie sénégalaise. Ainsi, en

ce qui concerne l'organisme d'exécution du Projet du pays bénéficiaire, la Direction de l'Administration générale et de l'Équipement (DAGE) du Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Élémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales (MEPEMSLN) sera le principal interlocuteur de la partie sénégalaise. Le Projet collaborera avec la Direction des Constructions Scolaires (DCS) du MEPEMSLN lors de sa mise en œuvre.

Fin du texte

Annexe 1 Liste des installations et des équipements faisant l'objet du Projet

Annexe 2 Coût approximatif du Projet

Annexe 3 Tâches à la charge de la partie sénégalaise

Annexe 4 Calendrier d'exécution du Projet

Annexe 1 Liste des installations et des équipements faisant l'objet du Projet

【Installations faisant l'objet du Projet : par école】

Ecoles élémentaires de la région de Dakar

Ordre de priorité	Code	IDEN	Nom d'école	No. de SDC du Projet	Bloc administratif	Box d'hygiène
14	DK10	Guédiawaye	Pikine 23/A	7	1	8
15	DK27	Keur Massar	Castor Sotrac	5	1	6
16	DK9	Guédiawaye	Khaly Madiakhaté Kala/C	4		
Total des écoles élémentaires de la région de Dakar				16	2	14

Collèges de la région de Dakar

Ordre de priorité	Code	IDEN	Nom d'école	No. de SDC du Projet	Bloc administratif	Box d'hygiène
1	DK7M	Grand Dakar	CEM Liberté 6/C	10		10
2	DK26M	Rufisque Département	CEM Déni Biram Ndao	8	1	8
3	DK24M	Rufisque Département	CEM Niaga	13	1	14
4	DK28M	Keur Massar	CEM Keur Massar 2	12		12
5	DK1M	Parcelles assainies	CEM Talibou Dabo	4		
6	DK20M	Rufisque commune	CEM Camp Marchand	6	1	6
7	DK30M	Thiaroye	CEM Martyr C	12		12
8	DK14M	Guédiawaye	CEM Pikine Est/A	6		6
9	DK25M	Rufisque Département	CEM Diarniadio	20	1	20
10	DK5M	Dakar Plateau	CEM Cheikh Awa Balla Mbacké	4		6
11	DK18M	Pikine	CEM Mame Yelli Badiane	6		6
12	DK15M	Guédiawaye	CEM Pikine Est/B	8		8
13	DK4M	Grand Dakar	CEM Alioune DIOP	4		
Total des collèges de la région de Dakar				113	4	108

Ecoles élémentaires de la région de Thiès

Ordre de priorité	Code	IDEN	Nom d'école	No. de SDC du Projet	Bloc administratif	Box d'hygiène
1	TH20	Tivaouane	Tivaouane 16	8	1	8
2	TH1	Thiès Département	Keur Yoro SADIO	6	1	6
3	TH2	Thiès Département	Pout 5	10	1	10
4	TH3	Thiès Département	Abdoulaye SENE	8	1	8
5	TH5	Thiès Département	EFA Thiénaba SECK	9	1	10
8	TH26	Tivaouane	Mérina GUEYE	6	1	6
13	TH15	Thiès Ville	Sud Stade	6	1	6
14	TH19	Tivaouane	Tivaouane 13	7	1	8
15	TH14	Thiès Ville	Route de Dakar 2	2	1	6
Total des écoles élémentaires de la région de Thiès				62	9	68

Collèges de la région de Thiès

Ordre de priorité	Code	IDEN	Nom d'école	No. de SDC du Projet	Bloc administratif	Box d'hygiène
6	TH9M	Thiès Département	CEM Diack Bodokhane	19	1	20
7	TH10M	Thiès Département	CEM Pakhmi	14	1	14
9	TH29M	Tivaouane	CEM Notto	9	1	10
10	TH27M	Tivaouane	CEM mboro 2	13	1	14
11	TH16M	Thiès Ville	CEM Darou Salam	10	1	12
12	TH11M	Thiès Département	CEM Ndiayene Sirah	13	1	14
Total des collèges de la région de Thiès				78	6	84

【Equipements】

Chaque salle sera équipée des mobiliers suivants.

	Bâtiment	Salle	Mobiliers Chiffres () montrent la quantité
Elémentaire	Bâtiment de salles de classe	Salle de classe	Table-bancs (pour 2 personnes) grand modèle (8), table-bancs (pour 2 personnes) petit modèle (16), bureau (table) (1), chaise (1)
	Bâtiment de bloc administratif	Bureau de directeur	Bureau (table) (1), chaise (5), armoire de rangement B(1)
		Magasin	Armoire de rangement A(1)
		Salle des enseignants	Table (12), chaise (24), armoire de rangement B(4)
Moyen	Bâtiment de salles de classe	Salle de classe	Table-bancs (pour 2 personnes) grand modèle (24), bureau (table) (1), chaise (1)
	Bâtiment de bloc administratif	Bureau du principal	Bureau (table) (1), chaise (5), armoire de rangement B(1)
		Magasin	Armoire de rangement A(1)
		Salle des professeurs	Table (12), chaise (24), armoire de rangement B(4)
		Salle des surveillants	Table (12), chaise (24), armoire de rangement A (6), armoire de rangement B(4)

Annexe 2 Coût approximatif du Projet

Le coût total du Projet nécessaire au cas où le Projet serait mis en œuvre dans le cadre de la coopération sera de 1,334 milliards de yens japonais et les détails des frais à la charge des deux parties sont estimés comme suit avec les conditions d'estimation indiquées au point (3) ci-dessous. Toutefois, ces montants ne signifient pas le montant limite de l'Echange de Notes.

(1) Coût à la charge de la partie japonaise : coût total approximatif du Projet : environ 1.296,0 millions de yens japonais

Détails du coût du Projet à la charge de la partie japonaise

Rubriques		Coût approximatif du Projet (million de yens japonais)	
Installation	Coût de construction des installations	870,4	922,3
	Coût des mobiliers	51,6	
	Coût des plaques signalétiques/autocollants	0,3	
Frais de l'Agent d'approvisionnement		152,8	
Frais de la conception et de la supervision		200,7	
Frais de la composante soft		10,6	
Frais pour l'avocat		1,2	
Frais d'organisme public de contrôle		8,4	
Total		1.296,0	

(2) Coût à la charge de la partie sénégalaise : 258.200.000 FCFA (environ 48.300.000 yens japonais)

Détails du coût du Projet en charge de la partie sénégalaise

Années	2011	2012	2013	2014	Total	Montant converti en yens japonais
Aménagement de terrains (abattage d'arbre etc.)	1.556.000	1.860.000			3.416.000	639.168
Aménagement des portails d'entrée et de clôture		52.843.000	166.658.000		219.501.000	41.070.832
Installation de salles de classe et toilettes provisoires	12.096.000	6.800.000			18.896.000	3.535.631
Travaux de connexion des installations électriques		1.500.000	800.000		2.300.000	430.353
Travaux de connexion des installations d'alimentation en eau		1.500.000	1.000.000		2.500.000	467.775
Frais pour la mise en œuvre de la composante soft ¹		660.000	440.000		1.100.000	205.821
Frais de mise en œuvre relatifs à la construction des installations ²	236.250	1.306.250	1.546.250	456.250	3.545.000	663.305
Commissions bancaires	6.916.000				6.916.000	1.294.000
Total	20.804.250	66.469.250	170.444.250	456.250	258.174.000	48.306.884

Remarque : Le coût ci-dessus est estimé par la partie japonaise. Il est calculé sur la base des données obtenues lors du voyage d'étude préparatoire du Projet.

¹ Estimés en tant que frais de déplacement pour les ateliers etc.

² Les frais de déplacement relatifs à la participation aux comités, à l'accompagnement à la visite mensuelle des sites et à l'accompagnement à l'inspection d'achèvement (frais de voyage s'il s'agit de déplacement en dehors de la région).

AR

(3) Conditions d'estimation

- ① Date de calcul : juin 2010
- ② Taux de change : 1US\$ =92,35 yens japonais
: 1 FCFA=0,18711 yens japonais
: leuro =122,74 yens japonais
- ③ Période d'exécution et d'approvisionnement : La période des travaux est celle mentionnée au calendrier d'exécution du service.
- ④ Autres : L'estimation du coût devra être réalisé conformément au système de l'aide financière non remboursable du gouvernement du Japon.

Annexe 3 Tâches à la charge de la partie sénégalaise

Les points que le gouvernement sénégalais devra prendre en charge pour la mise en œuvre du présent Projet dans le cadre de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon sont les suivants.

- 1) Préparer les terrains nécessaires pour la mise en œuvre du présent Projet et assurer au Ministère de l'Enseignement Préscolaire, de l'Elémentaire, du Moyen - Secondaire et des Langues Nationales le droit de construire les bâtiments.
- 2) Réaliser les travaux de remblayage et de nivellement tout en réalisant les travaux de démolition et d'enlèvement des infrastructures existantes ou des obstacles préalablement à la mise en œuvre du présent Projet (toutefois, les travaux de démolition et d'enlèvement des obstacles se trouvant aux endroits prévus pour les infrastructures à construire dans le cadre du présent Projet seront à réaliser par la partie japonaise afin d'exécuter les travaux sans retard.).
- 3) Réaliser les travaux d'extérieur tels que la construction ou la réfection de la clôture, l'installation des portails d'entrée, l'architecture paysagère et les travaux connexes etc. après l'achèvement des travaux du présent Projet.
- 4) Réaliser les travaux d'extension jusqu'aux sites et de branchement aux réseaux d'électriques, de l'eau potable et d'assainissement et de téléphone avant l'achèvement des travaux du présent Projet.
- 5) Prendre en charge la commission de notification pour l'Autorisation de Paiement (A/P) et la commission de paiement pour les services bancaires à la banque japonaise conformément à l'Arrangement Bancaire.
- 6) Prendre des mesures nécessaires pour que l'importation et le dédouanement des matériels et matériaux utilisés dans le cadre du présent Projet soient réalisés rapidement.
- 7) Prendre des mesures nécessaires pour l'entrée et le séjour au Sénégal des personnes morales ou individuelles travaillant dans le cadre du présent Projet sur la base du Contrat de prestation de service pour l'approvisionnement avec l'Agent et des contrats que l'Agent conclura avec les entreprises.
- 8) Exonérer les personnes morales et individuelles qui travaillent pour le Projet, des droits de douane, de taxes intérieures et d'autres levées fiscales imposées au Sénégal.

- 9) Concernant la fourniture des objets (marchandises) et des prestations sur la base du Contrat de prestation de service pour l'approvisionnement avec l'Agent et des contrats que l'Agent conclura avec les entreprises, exonérer des droits de douane, de taxes intérieures et d'autres levées fiscales imposées au Sénégal.
- 10) Prendre en charge des indemnités des dommages générées à cause de la non-exécution des travaux à la charge de la partie sénégalaise.
- 11) Assurer l'exploitation, la gestion et la maintenance appropriées et efficaces des installations construites et des équipements fournis dans le cadre du présent Projet.
- 12) Prendre en charge tous les frais nécessaires pour la mise en œuvre du présent Projet qui ne sont pas couverts par l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire dans le cadre du présent Projet.



Les travaux nécessaires devant être pris en charge par la partie sénégalaise au niveau de chaque site du Projet sont les suivants.

1^{er} groupe

Code	IDEN	Collectivité locale	ECOLE/ET/ABLISSEMENT	Enlèvement des installations existantes	Abattage, défrichage et nivellement	Aménagement /construction n/le de la clôture	Trav. de connexion électrique, d'eau et d'assainissement	Autres	Remarques
DK9	Guediawaye	CA. WAKHIANE NIMZATT	Kharb/Madiakhaté Kalac	Enlèvement de la maison de gardien et de point de lavabo	Enlèvement de 1 arbre		Electricité et alim. d'eau		L'enlèvement de la maison de gardien et du point de lavabo sera réalisé par la partie japonaise.
DK10	Guediawaye	CA. WAKHIANE NIMZATT	Pikine 23A		Enlèvement de 2 arbres		Electricité et alim. d'eau		
DK1M	Parcelles assainies	CA Grand Yof	CEM Talloou Dabo	Enlèvement de 2 SDC et de la clôture (6m)		24,5m	Electricité et alim. d'eau	Installation de SDC provisoires	L'enlèvement de 2 SDC et de la clôture sera réalisé par la partie japonaise.
DK4M	Grand Dakar	CA Grand Dakar	CEM Alboune DIOP	Enlèvement de banc en béton	Enlèvement de 2 arbres		Electricité et alim. d'eau	Déplacement du portail d'entrée	L'enlèvement du banc en béton sera réalisé par la partie japonaise.
DK5M	Dakar Plateau	CA Pann-Point E- Amitté	CEM Cheikh Awa Balla Mbacké				Electricité, alim. d'eau et assainissement		
DK7M	Grand Dakar	CA S.I.C.A.P. Liberté	CEM Liberté 6/C		Enlèvement de 5 arbres		Electricité, alim. d'eau et assainissement		
DK14M	Guediawaye	CA Wakhiane Nimzatt	CEM Pikine Est/A				Electricité et alim. d'eau	Déplacement de cage d'oiseaux	Le déplacement de la cage sera réalisé par la partie japonaise.
DK15M	Guediawaye	CA Wakhiane Nimzatt	CEM Pikine Est/B	Enlèvement des toilettes	Enlèvement de 1 arbre		Electricité et alim. d'eau	Installation de toilettes prov.	L'enlèvement des toilettes sera réalisé par la partie japonaise.
DK16M	Pikine	CA Pikine Nord	CEM Mame Yelli Badiane				Electricité et alim. d'eau		
DK30M	Thiaroye	CA Thiaroye Gare	CEM Martyr C			97,8m	Electricité et alim. d'eau	Cons'n n/le du portail d'entr	
DK20M	Rufisque commune	CA Rufisque Est	CEM Camp Marchand			67m	Electricité et alim. d'eau	Cons'n n/le du portail d'entr	
DK24M	Rufisque Département	Com rurale de Sangalbam	CEM Niaga			479m	Electricité et alim. d'eau	Cons'n n/le du portail d'entr	
DK25M	Rufisque Département	Commune Diarnadio	CEM Diarnadio			804m	Electricité et alim. d'eau	Cons'n n/le du portail d'entr	
DK26M	Rufisque Département	Com rurale de Sangalbam	CEM Dent Biram Ndao	Bâtiment (sans toit)		204m	Electricité et alim. d'eau	Cons'n n/le du portail d'entr	
DK27	Keur Massar	CA KEUR MASSAR	Caster Sotrac				Electricité et alim. d'eau		
DK28M	Kaur Massar	CA Kaur Massar	CEM Keur Massar 2				Electricité et alim. d'eau		

2^{ème} groupe

Code	IDEN	Collectivité locale	ECOLE/ETABLISSEMENT	Enlèvement des installations existantes	Abattage, fichage et enlèvement de 1 arbre	de	Aménagement de clôture	Trav. de connexion électrique, d'eau et d'assainissement	Autres	Remarques
TH1	Thiès Département	CR Thiébaba	Kour Yoro SADIO		Enlèvement de 1 arbre		384m	Construction n°1 du portail d'entrée		
TH3	Thiès Département	CR Ngoudiane	Aboulaye SENE				412m	Alimentation d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH5	Thiès Département	CR Thiébaba	EFA Thiébaba SECK				381m	Electricité et alim. d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH6M	Thiès Département	CR Ngoudiane	CEM Diack Bombichane				806m	Alimentation d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH10M	Thiès Département	CR Notto	CEM Pakhimi		Enlèvement de 3 arbres		704m	Electricité et alim. d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH11M	Thiès Département	CR Ndayane Sirah	CEM Ndayane Sirah		Enlèvement de 2 arbres					
TH14	Thiès Ville	Com Thiès	Route de Dakar 2							
TH15	Thiès Ville	Com Thiès	Stad Stade		Enlèvement de 1 arbre					
TH16M	Thiès Ville	Com Thiès	CEM Daou Salam	Enlèvement du bloc d'hygiène et du bloc administratif	Enlèvement de 4 arbres			Electricité et alim. d'eau	Déplacement du portail d'entrée et installation de toilettes prov.	L'enlèvement du bloc administratif et d'hygiène sera réalisé par la partie japonaise.
TH2	Thiès Département	Com Pout	Pout 5				600m		Déplacement de SDC prov.	
TH19	Tivaouane	Com Tivaouane	Tivaouane 13	Enlèvement de la clôture (75m)			148m	Electricité et alim. d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	L'enlèvement de la clôture sera réalisé par la partie japonaise.
TH20	Tivaouane	Com Tivaouane	Tivaouane 16				486m	Electricité et alim. d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH26	Tivaouane	Com Mboro	Merina GUEYE				486m		Construction n°1 du portail d'entrée	
TH27M	Tivaouane	Com Mboro	CEM mboro 2				380m	Electricité et alim. d'eau	Construction n°1 du portail d'entrée	
TH29M	Tivaouane	CR Notto	CEM Notto		Enlèvement de 1 arbre		600m		Construction n°1 du portail d'entrée	

セネガル共和国
ダカール州及びティエス州小中学校教室建設計画
概略設計調査Ⅱ(概略設計概要説明)

協議議事録

セネガル共和国（以下、「セ国」と称する）政府より提出された要請に基づき、日本政府は「ダカール州及びティエス州小中学校教室建設計画」（以下、「プロジェクト」と称する）に関する概略設計調査を行うことを決定し、本調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」と称する）に委託した。

JICA はプロジェクトに関する概略設計調査団を 2010 年 6 月から 7 月にかけてセ国へ派遣し、協議やサイト調査を実施し、日本での調査結果の技術的審査を経て、協力準備調査報告書(案)を作成した。

JICA は協力準備調査報告書(案)の内容をセ国側に説明し、またその内容に関する意見を聴取するため、2010 年 12 月 8 日から 12 月 10 日まで、人間開発部基礎教育第二課長 丹原一広を団長とする概略設計概要説明調査団(以下、「調査団」と称する)を派遣した。

協議の結果、双方は付属書に記述された主要事項を確認した。

セネガル共和国ダカール市 2010 年 12 月 10 日

丹原 一広
団長
概略設計概要説明調査団
独立行政法人国際協力機構
日本

マファタカ トウレ
次官
就学前、初等、中等前期、中等後期、国語担
当教育省
セネガル共和国

マサール ワゲ
経済、財務協力局長
経済、財務省
セネガル共和国

付属書

1. 協力準備調査報告書（案）の内容

セ国側は、調査団によって説明された協力準備調査報告書（案）の内容に関して原則合意し、これを受け入れた。

2. 日本の無償資金協力制度

調査団は、2010年6月18日に両者が署名した協議議事録の別紙2、別紙3、別紙4、別紙5に記述された日本のコミュニティ開発無償資金協力制度の仕組み及びセ国政府が行う負担事項について説明し、セ国側はこれを理解した。

3. 今後の予定

JICAは本協議結果に基づいて最終報告書を完成させ、セ国政府に2011年5月中に提出する予定である。

4. 秘密保持

双方は、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。

5. 本プロジェクトの対象施設・機材

調査団は、本プロジェクトの協力対象となる施設・機材内容（別紙1）について説明し、セ国側はこれを了解した。

6. ソフトコンポーネント

本プロジェクトの対象として、整備された施設の維持管理にかかるソフトコンポーネントを実施することで合意した。

7. プロジェクトの概算事業費

調査団は本プロジェクトの概算事業費（別紙2）について説明した。双方は概算事業費について受注者決定まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。調査団は、概算事業費は概算であり変更する可能性があることを説明し、セ国側はこれを了解した。

8. セ国側負担工事

調査団は、本プロジェクトの実施にあたって必要となるセ国側負担事項の内容（別紙3）及び事業実施工程案（別紙4）について説明した。セ国側はかかる事項の実施に必要な予算を確保し、スケジュールに則って確実に実施することを確約した。

9. 運営・維持管理の遵守

セ国側は、建設が終了するまでに、本計画の実施に伴い追加で必要となる人員を配置することを確約した。また、運営・維持管理体制の確立や運営・維持管理に必要な予算の確保・配分を遅滞なく実施することを確約した。

10. その他

相手国側実施機関につき、入札・契約手続はセ国側の工事入札手続きを参照しつつ、JICA無償資金協力調達ガイドラインに基づき実施するものとし、セ国教育省総務機材局（DAGE）を主な窓口とする。なお、本プロジェクトの実施に当たっては教育省学校施設建設局（DCS）とも必要に応じて協力する。

以 上

別紙 1:対象施設・機材リスト

別紙 2:概算事業費

別紙 3:セ国側負担事項

別紙 4:事業実施工程表

別紙1 対象施設・機材リスト

【学校別対象施設】

ダカール州小学校

優先 順位	CODE	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
14	DK10	Guédiawaye	Pikine 23/A	7	1	8
15	DK27	Keur Massar	Castor Sotrac	5	1	6
16	DK9	Guédiawaye	Khaly Madiakhaté Kâla/C	4		
ダカール州小学校小計				16	2	14

ダカール州中学校

優先 順位	CODE	IDEN	IDEN	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
1	DK7M	Grand Dakar	CEM Liberté 6/C	10		10
2	DK26M	Rufisque Département	CEM Déni Biram Ndao	8	1	8
3	DK24M	Rufisque Département	CEM Niaga	13	1	14
4	DK28M	Keur Massar	CEM Keur Massar 2	12		12
5	DK1M	Parcelles assainies	CEM Talibou Dabo	4		
6	DK20M	Rufisque commune	CEM Camp Marchand	6	1	6
7	DK30M	Thiaroye	CEM Martyr C	12		12
8	DK14M	Guédiawaye	CEM Pikine Est/A	6		6
9	DK25M	Rufisque Département	CEM Diarniadio	20	1	20
10	DK5M	Dakar Plateau	CEM Cheikh Awa Balla Mbacké	4		6
11	DK18M	Pikine	CEM Mame Yelli Badiane	6		6
12	DK15M	Guédiawaye	CEM Pikine Est/B	8		8
13	DK4M	Grand Dakar	CEM Alioune DIOP	4		
ダカール州中学校小計				113	4	108

ティエス州小学校

優先 順位	CODE	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
1	TH20	Tivaouane	Tivaouane 16	8	1	8
2	TH1	Thiès Département	Keur Yoro SADIO	6	1	6
3	TH2	Thiès Département	Pout 5	10	1	10
4	TH3	Thiès Département	Abdoulaye SENE	8	1	8
5	TH5	Thiès Département	EFA Thiénaba SECK	9	1	10
8	TH26	Tivaouane	Mérina GUEYE	6	1	6
13	TH15	Thiès Ville	Sud Stade	6	1	6
14	TH19	Tivaouane	Tivaouane 13	7	1	8
15	TH14	Thiès Ville	Route de Dakar 2	2	1	6
ティエス州小学校小計				62	9	68

ティエス州中学校

優先順位	CODE	IDEN	学校名	計画 教室数	管理棟	トイレ ブース
6	TH9M	Thiès Département	CEM Diack Bodokhane	19	1	20
7	TH10M	Thiès Département	CEM Pakhmi	14	1	14
9	TH29M	Tivaouane	CEM Notto	9	1	10
10	TH27M	Tivaouane	CEM mboro 2	13	1	14
11	TH16M	Thiès Ville	CEM Darou Salam	10	1	12
12	TH11M	Thiès Département	CEM Ndiayene Sirah	13	1	14
ティエス州中学校小計				78	6	84

【機材】

各諸室には、以下の家具を配置する。

	棟名	室名	家具 () 内の数値は数量
小学校	教室棟	教室	生徒用机・椅子 (2人用) 大(8)、生徒用机・椅子 (2人用) 小(16)、机(1)、椅子(1)
		校長室	机(1)、椅子(5)、収納棚 B(1)
	管理棟	倉庫	収納棚 A(1)
		教員室	机(12)、椅子(24)、収納棚 B(4)
中学校	教室棟	教室	生徒用机・椅子 (2人用) 大(24)、机(1)、椅子(1)
		校長室	机(1)、椅子(5)、収納棚 B(1)
	管理棟	倉庫	収納棚 A(1)
		教員室	机(12)、椅子(24)、収納棚 B(4)
		サーベイヤント室	机(12)、椅子(24)、収納棚 A(6)、収納棚 B(4)

別紙2 概算事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は13.44億円となり、先に述べた日本とセネガル国との負担区分に基づく双方の経費内訳は下記(3)に示す積算条件によれば、次のとおりと見積られる。ただし、この額は交換公文上の供与限度額を示すものではない。

(1) 日本側負担経費 概算総事業費 約1,296.0百万円

日本側負担経費内訳

費目		概算事業費(百万円)	
施設	施設建設費	870.4	922.3
	家具費	51.6	
	銘板・ステッカー費	0.3	
調達代理機関費		152.8	
設計監理費		200.7	
ソフトコンポーネント費		10.6	
弁護士費用		1.2	
公的検査機関費		8.4	
合計		1,296.0	

(2) セネガル国側負担経費 258.2百万FCFA(約48.3百万円)

セネガル国側負担経費内訳

年度	2011	2012	2013	2014	合計	日本円換算
敷地整備(樹木除却等)	1,556,000	1,860,000			3,416,000	639,168
正門、囲い塀整備		52,843,000	166,658,000		219,501,000	41,070,832
仮設教室・仮設トイレ設置	12,096,000	6,800,000			18,896,000	3,535,631
電気設備接続工事		1,500,000	800,000		2,300,000	430,353
給水設備接続工事		1,500,000	1,000,000		2,500,000	467,775
ソフコン実施費用 ¹		660,000	440,000		1,100,000	205,821
施設建設にかかる実施費用 ²	236,250	1,306,250	1,546,250	456,250	3,545,000	663,305
銀行手数料	6,916,000				6,916,000	1,294,000
合計	20,804,250	66,469,250	170,444,250	456,250	258,174,000	48,306,884

なお、この額は2010年6月の現地調査時に得た情報を元に日本側が試算した概算額である。

¹ ワークショップ等にかかる交通費として積算

² コミッティ、毎月のサイト訪問への同行、竣工検査への同行にかかる交通費(州をまたぐ移動の場合は旅費)を積算

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 22 年 6 月
- ② 為替交換レート : 1US\$ =92.35 円
: 1 現地通貨 (FCFA : フラン・セーファー) =0.18711 円
: 1 ユーロ=122.74 円
- ③ 施工・調達期間 : 工事の期間は、業務実施工程に示したとおり。
- ④ その他 : 積算は、日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて
行うこととする。

別紙3 セネガル国側負担事項

本計画を日本国のコミュニティ開発支援無償資金協力で実施する上で、セネガル国政府が負担すべき項目は下記の通りである。

- 1) 本プロジェクトに必要な土地を用意し、教育省が建物を建設する権利を確保すること
- 2) 本プロジェクトの実施に先立ち、既存施設および障害物の解体撤去工事を実施するとともに、盛り土、整地を行うこと（ただし、本プロジェクトの施設の建設位置にある障害物の解体撤去工事については、工事を遅滞なく実施するために日本側負担で実施する。）
- 3) 工事完成後に囲い塀の新設または補修、門扉の設置、造園、その他付属的な外構工事を実施すること
- 4) 工事完了までに電力、上水道、下水道、電話の敷地内への引き込みと接続工事を行うこと
- 5) 日本にある銀行との銀行取り決めに基づき包括的支払い授權書にかかる通知手数料、および支払手数料を負担すること
- 6) プロジェクトに使用される資機材の輸入、通関が速やかに実施されるよう、必要な措置を講じること
- 7) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいて、本プロジェクトに携わる個人または法人に対し、セネガル国への入国ならびに滞在に必要な便宜を供与すること
- 8) 本プロジェクトに携わる法人または個人に対し、セネガル国内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- 9) 調達代理契約および調達代理機関と交わす各契約に基づいた物品および役務の提供に関し、セネガル国内で課される関税、国内税、およびその他課税を免除すること
- 10) セネガル国側負担事業の未実施によって生じる損害賠償を負担すること
- 11) 本プロジェクトで供与される施設機材を適切かつ効果的に使用し維持すること
- 12) 本プロジェクトの範囲内で日本のコミュニティ開発支援無償資金協力によって負担される費用以外の全ての費用を負担すること

セネガル国側負担による各計画サイトにおける必要工事は以下のとおり。

第1グループ

	コード	IDEN	学校名	既存施設撤去	樹木伐採、抜根、整地	囲い野の整備/新設	電気・給水・下水接続工事	その他	備考
エ ン ノ	DK9	ガダウェイ	カリ マディアカテ カラ/C	守衛住居、手洗い場撤去	樹木1本除去		電気・給水		守衛住居、手洗い場の撤去は日本側工事で実施
	DK10	ガダウェイ	ビキン 23/A		樹木2本除去		電気・給水		
	DK1M	バルセル アセニ	タリボウ ダボ	2教室撤去、騎乗台(6m)		24.6m	電気・給水	仮設教室設置	2教室、騎の撤去は日本側工事で実施
	DK4N	グラン ダカール	アリオン ディオップ	コンタリートベンチ撤去	樹木2本除去		電気・給水	学校正門新設	コンタリートベンチ撤去については日本側工事で実施
	DK5M	ダカール プラトー	デュイダ アウ バランバケ				電気・給水・下水		
	DK7M	グラン ダカール	リベルテ 6/C		樹木5本除去		電気・給水・下水		
	DK14M	ガダウェイ	ビキン エスト/A				電気・給水	鳥小屋移設	鳥小屋の移設は日本側工事で実施
	DK15M	ガダウェイ	ビキン エスト/B	トイレ撤去	樹木1本除去		電気・給水	仮設トイレ設置	トイレ撤去は日本側工事で実施
	DK18M	ビキン	マム イェリ パディアン				電気・給水		
	DKR0M	チャロイエ	マルティル C			37.6m	電気・給水	学校正門新設	
エ ン ノ	DKR20M	ルフィスタブ	キャン マルシヤン			67m	電気・給水	学校正門新設	
	DK24M	ルフィスタブ	ニアガ			479m	電気・給水	学校正門新設	
	DK25M	ルフィスタブ	ダイヤモンド			804m	電気・給水	学校正門新設	
	DK26M	ルフィスタブ	ディビラム ングオ	雑物(屋根なし)		204m	電気・給水	学校正門新設	
	DK27	タール マッサール	カストル ソトラック				電気・給水		
	DK28M	タール マッサール	タール マッサール 2				電気・給水		

第2グループ

	コード	IDEN	学校名	既存施設撤去	樹木伐採、抜根、整地	囲い野の整備/新設	電気・給水接続工事	その他	備考
エ ン ノ	TH1	ティエヌ県	タール ヨロ サディオ					学校正門新設	
	TH3	ティエヌ県	アブドゥラエ セネ			384m	給水	学校正門新設	
	TH6	ティエヌ県	EFA ティエナバ セッタ			381m	電気・給水	学校正門新設	
	TH9M	ティエヌ県	ディアック ボドカン			803m	給水	学校正門新設	
	TH10M	ティエヌ県	バクミ		樹木3本除去	704m		学校正門新設	
	TH11M	ティエヌ県	ンディアイエン シラ		樹木2本除去		電気・給水		
	TH14	ティエヌ市	ルント ドゥ グカール 2				電気・給水		
	TH15	ティエヌ市	スッド スタッド		樹木1本除去		電気・給水		
	TH16M	ティエヌ市	ダロー サラム	トイレ棟、管理棟撤去	樹木4本除去		電気・給水	学校正門移設 仮設トイレ設置	トイレ棟、管理棟の撤去は日本側工事で実施
	TH2	ティエヌ県	ブート 5			600m		学校正門新設	
エ ン ノ	TH19	ティバウアン	ティバウアン 13	塀撤去(75m)		146m	電気・給水	学校正門新設	塀撤去は日本側工事で実施
	TH20	ティバウアン	ティバウアン 16			496m	電気・給水	学校正門新設	
	TH26	ティバウアン	メリナ ディエ			498m		学校正門新設	
	TH27M	ティバウアン	ンボロ 2			360m	電気・給水	学校正門新設	
	TH28M	ティバウアン	ノット		樹木1本除去	600m		学校正門新設	

別紙4 事業実施工程表

月	2010												2011												2012												2013												2014																
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6									
調達代理契約後の月数																																																																	
建設工事の月数																																																																	
行事																																																																	
開議																																																																	
E/N・G/A																																																																	
調達代理契約																																																																	
コンサルタント契約																																																																	
実施段階	入札図書作成・承認																																																																
	入札公示～契約																																																																
	建設工事																																																																
	入札・契約																																																																
	機材(家具)調達																																																																

弱強 雨季

ソフトコンポーネント計画書

1. ソフトコンポーネントを計画する背景

本プロジェクトは、セネガル国ダカール州及びティエス州において小学校または中学校の施設整備を通じ、計画対象校の初等教育及び前期中等教育の教育環境改善を目指すものである。

準備調査では、既存校の運営・維持管理体制および状況について調査を実施した。その結果、新設間もない学校以外は全校に学校運営委員会（CGE¹）が設置されており、CGE メンバーは選挙で民主的に選ばれ、年間計画の作成、実施、報告を行っていることが確認された。新設間もない学校では、CGE の設立に向けて取り組んでおり、校長の指導の下、資金管理や日常の清掃が実施されている。

セネガル国では学校の運営・維持管理は、地方分権政策に基づき地方自治体が責任を持っている（中学校では州、小学校では市町村）。運営・維持管理にかかる費用は①教育省からの予算、②地方自治体の援助、③生徒からの徴収金によって賄われている。そのうち主な資金は生徒からの徴収金であり、この資金は校長と会計担当が管理し、CGE が監査を行い、透明性が確保され適正に使用されている。

清掃についてはおおむね実施されており問題はなく、清掃用具等は少ない資金から捻出して購入されている。維持管理については、家具修理等少額のものを実施するが、多額の費用を要する建具や壁の塗り替え等については資金が足りないので放置されている状況が見られた。したがって、整備された施設が適切に運営・維持管理されるためには、（1）維持管理の重要性への理解、（2）必要な資金を確保するための具体的方法に対する知識が不足していると考えられる。

これら2点を補うため、ソフトコンポーネントを実施することが必要である。

（1）維持管理の重要性を理解する。

日常的な清掃と壊れる前の予防（予防的維持管理）の重要性を理解することにより、施設を適切に維持管理するとともに維持管理にかかる費用を抑える。

（2）必要な資金を確保する

中長期の維持管理計画に基づいて資金を積み立てる必要性を理解する。

また、運営・維持管理に責任をもつ地方自治体やコミュニティに、学校の施設を知ることによって学校を身近に感じて関心を持ってもらい、積極的な資金協力を促す。

セネガル国では、JICA の技術協力プロジェクト「教育環境改善プロジェクトフェーズ2 (Projet d' Amélioration de l' Environnement Scolaire (PAES) Phase 2, PAES Phase 2)」(以下、「PAES2」とする。)を2010年9月より4年間の予定で実施中であり、ルーガ州を対象に実施されたフェーズ1を受けてセネガル国内における全国展開が計画されている。PAES2では、校長、教員代表、保護者会(APE²)代表など、関係者の代表で構成されるCGEを主な対象とし、CGEを機能させることにより維持管理を含めた学校運営全般を改善するモデルとモニタリング体制を確立し、全州へ普及することを目的としているのに対し、本ソフトコンポーネント計画では、CGEのみならず、地域住民や、学校の運営・維持管理に責任を有する地方自治体関係者を対象とし、整備された施設が適切に運営・維持管理されることを目的としている。本プロジェクトの対象地域であるダカール州及びティエス州もPAES2の対象に入ることから、本格的な技術支援はPAES2が実施

¹ 小学校ではComité de Gestion d' Ecole、中学校ではComité de Gestion d' établissement と呼ばれる。

² Association des Parents d' Elèves

することとなるが、本ソフトコンポーネント計画では、施設整備の機会に実施することによって、より効果が現れると考えられる活動を実施する。なお、実施にあたっては過去の無償資金協力案件のソフトコンポーネント（平成 13 年度「第 4 次小学校建設計画」及び平成 18 年度「小中学校教室建設計画」）において作成されたマニュアルに必要な改善を加えて活用する。

2. ソフトコンポーネントの目標

本ソフトコンポーネント計画では、以下のとおり目標を設定する。

上位目標	整備された施設が良好な状態に保たれる。
目標	整備された施設の維持管理に対する意識が向上する。

3. ソフトコンポーネントの成果

上記の目標に対し、成果を以下のとおり設定する。

- 成果 1 維持管理・衛生の重要性が理解される。
- 成果 2 維持管理にかかる資金調達方法が理解される。
- 成果 3 整備された施設に関する知識が得られる。

4. 成果達成度の確認方法

各成果に対する活動および達成度の確認方法は以下表のとおり。

成果と活動	達成度確認方法
成果 1：維持管理・衛生の重要性が理解される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存マニュアルを改善する ・ 予防的維持管理、基本的な衛生にかかる講習を実施する 	出席者リスト マニュアル アンケート
成果 2：維持管理にかかる資金調達方法が理解される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期維持管理計画を策定する ・ 資金の調達方法にかかる講習を実施する 	出席者リスト 資金調達計画 資金帳簿 アンケート
成果 3：整備された施設に関する知識が得られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎やトイレの構造にかかる講習を実施する（建設現場見学会） ・ 関係者が建設進捗情報を共有する 	出席者リスト 建設進捗情報 アンケート

5. ソフトコンポーネントの活動

(1) 対象者

本プロジェクトの計画対象校全校（31 校）の学校関係者を対象とする。すなわち、ダカール州の小学校 3 校、中学校 13 校、ティエス州の小学校 9 校、S 中学校 6 校の校長、教員、CGE、保護者会（APE）、地域住民、管轄する地方自治体の関係者である。

(2) 実施時期

ダカール州における建設が開始後 2012 年 2 月中旬頃～ティエス州における建設が終了する 2013 年 12 月下旬頃に実施する。

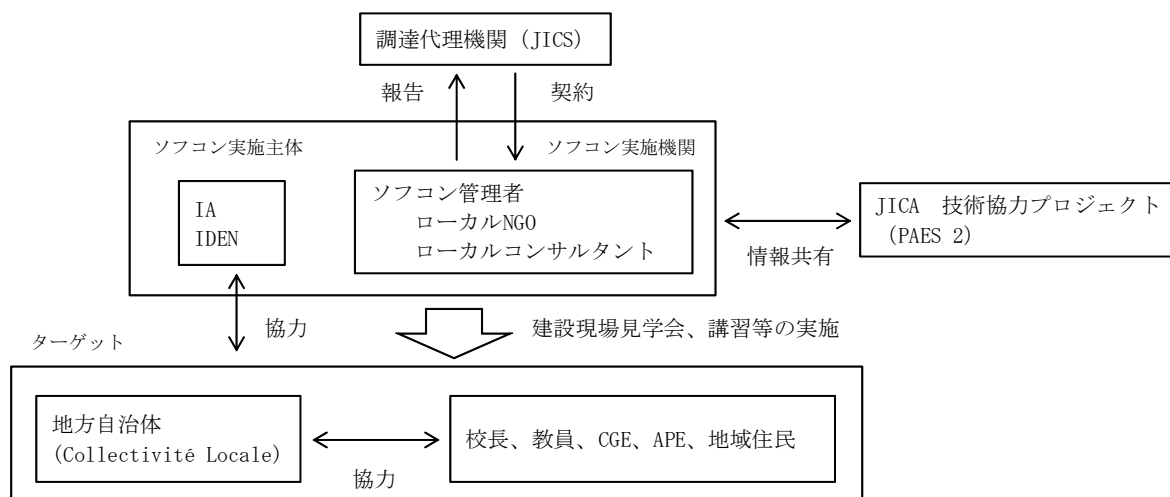
(3) 実施体制

実施主体はダカール州及びティエス州の州視学官事務所（Inspections d'Académie, IA）および計画対象校を管轄する 12 の県視学官事務所（Inspections Départementales de l'Éducation Nationale, IDEN）。（教育行政区分では IA は中学校を管轄、IDEN は小学校を

管轄している。したがって、ソフコンも基本的にこの教育行政区分に従い、対象中学校については IA が実施主体、対象小学校については IDEN が実施主体として計画するが、実施段階においては IA、IDEN と協議の上で対応する。) 本邦コンサルタントが「ソフコン管理者」として活動全体の監督を行い、ローカル NGO 及びローカルコンサルタントが本邦コンサルタントからの委託を受けて活動を実施する。

なお、前述のとおり本プロジェクトは PAES 2 と対象地域及び活動期間が重なることから、PAES2 と適宜情報共有を行う。

次の図に実施体制を示す。



(4) 活動内容

活動は次の 4 段階で行う。

【立ち上げ段階】

IA、IDEN、ローカル NGO、ローカルコンサルタントとソフコン管理者がソフトコンポーネントの活動目的・内容、役割分担を確認し、既存マニュアルに必要な改善を加える。マニュアルの改善についてはソフコン管理者、ローカル NGO、ローカルコンサルタントが中心となって実施し、IA、IDEN と内容について協議する。

建設現場見学・講習会を数箇所で開催（トライアル）し、今後の見学・講習内容を確認する。建設現場見学会・講習会の実施はローカル NGO 及びローカルコンサルタントが担当し、IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る。

【建設現場見学・講習会の実施段階】

立ち上げ段階で確認された建設現場見学・講習会の内容をローカル NGO 及びローカルコンサルタントが中心となって実施する。IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る。

【各学校による活動段階】

各学校が、建設中の施設の情報を、管轄する自治体、地域住民等と共有する。また、中長期維持管理計画に基づき資金調達計画を立案し、実行する。

建設中の情報については、ローカル NGO が施工監理を実施するローカルコンサルタントより工事進捗写真を入手し、取りまとめて IA、IDEN に配布し、IA、IDEN が各学校に配布する。なお、新設校の情報については、IA または IDEN が取りまとめて自治体、地域住民

等と共有する。

【フォローアップ段階】

講習会で実施した内容の再確認、資金調達計画の実施状況確認を行う。ローカル NGO が中心となって実施し、IA、IDEN は学校や管轄する自治体への連絡等に便宜を図る。

各段階の活動の概要は以下の表のとおり。

1) 立ち上げ段階

時期	第 1 グループの建設開始後
期間	2012 年 2 月～3 月頃に 3 週間程度
実施場所	ダカール州
参加者	IA、IDEN、ソフコン管理者、ローカル NGO、ローカルコンサルタント
目的	活動全般に対する確認
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフコンの活動内容、責任分担等の確認 ・ 既存マニュアルの改善 (→成果 1) ・ 建設現場見学・講習会の実施 (トライアルとして第 1 グループの 2 箇所程度) (→成果 1、2、3) ・ 今後の講習内容の確認

2) 建設現場見学・講習会の実施段階

時期	上記 1) 終了後
期間	第 1 グループ：2012 年 3 月頃～5 月頃 第 2 グループ：2013 年 3 月頃～5 月頃
実施場所	第 1 グループ：ダカール州 6 箇所 (2 箇所は実施済み) 第 2 グループ：ティエス州 6 箇所
目的	維持管理・衛生の重要性の理解、維持管理・衛生にかかる基本的知識の習得
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設現場見学・講習会において以下の講習の実施 (→成果 1、2、3) 校舎、トイレの構造 資金の調達方法 維持管理、基本的な衛生

3) 各学校による活動段階

時期	上記 2) 終了後
期間	第 1 グループ：2012 年 3 月頃～12 月頃 第 2 グループ：2013 年 3 月頃～12 月頃
実施場所	第 1 グループ：ダカール州の各学校 (16 校) 第 2 グループ：ティエス州の各学校 (15 校)
目的	各学校で講習の内容を実行
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設中の施設の情報を、管轄する自治体、地域住民等と共有 (情報はローカル NGO が提供) (→成果 3) ・ 中長期維持管理計画に基づく資金調達計画の立案と実行 (→成果 2)

4) フォローアップ段階

時期	建設終了間近
期間	第1グループ：2012年10月頃～12月頃 第2グループ：2013年10月頃～12月頃
実施場所	第1グループ：ダカール州 8箇所 第2グループ：ティエス州 6箇所
目的	活動のフォローアップ
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会で実施した内容の再確認（→成果1、2、3） ・ 資金調達計画の実施状況確認（→成果2）

建設現場見学・講習会及びフォローアップ会は、学校をブロック分けし、ブロック内の1校で行う。ブロックは原則として自治体単位で分ける。現在想定しているブロック分けは以下のとおりであるが、最終的には立ち上げ段階においてIA、IDENと協議の上で決定する。ブロック内の建設現場見学・講習会及びフォローアップ会を行う学校は、建設の進捗等によって適宜決定する。

第1グループ：ダカール州16校を8ブロックに分けて実施

	自治体名	IDEN名	コード	学校名
1	CA Grand Dakar	Grand Dakar	DK4M	CEM Alioune DIOP
	CA Fann-Point E- Amitié	Dakar Plateau	DK5M	CEM Cheikh Awa Balla Mbacké
2	CA Grand Yoff	Parcelles assainies	DK1M	CEM Talibou Dabo
	CA S. I. C. A. P Liberté	Grand Dakar	DK7M	CEM Liberté 6/C
3	CA Pikine Nord	Pikine	DK18M	CEM Mame Yelli Badiane
	CA Thiaroye Gare	Thiaroye	DK30M	CEM Martyr C
4	CA Wakhinane Nimzatt	Guédiawaye	DK9	Khaly Madiakhaté Kala/C
	CA Wakhinane Nimzatt	Guédiawaye	DK10	Pikine 23/A
	CA Wakhinane Nimzatt	Guédiawaye	DK14M	CEM Pikine Est/A
	CA Wakhinane Nimzatt	Guédiawaye	DK15M	CEM Pikine Est/B
5	CA Keur Massar	Keur Massar	DK27	Castor Sotrac
	CA Keur Massar	Keur Massar	DK28M	CEM Keur Massar 2
6	CA Rufisque Est	Rufisque commune	DK20M	CEM Camp Marchand
7	Commune Diamniadio	Rufisque Département	DK25M	CEM Diameniadio
8	Com rurale de Sangalcam	Rufisque Département	DK24M	CEM Niaga
	Com rurale de Sangalcam	Rufisque Département	DK26M	CEM Déni Biram Ndao

第2グループ：ティエス州 15 校を 6 ブロックに分けて実施

	自治体名	IDEN名	コード	学校名
1	Com Pout	THIES DEPARTEMENT	TH2	Pout 5
	CR Notto	THIES DEPARTEMENT	TH10M	CEM Pakhmi
	Com Thiès	THIES VILLE	TH14	Route de Dakar 2
	Com Thiès	THIES VILLE	TH15	Sud Stade
	Com Thiès	THIES VILLE	TH16M	CEM Darou Salam
2	CR Thienaba	THIES DEPARTEMENT	TH1	Keur Yoro SADIO
	CR Thienaba	THIES DEPARTEMENT	TH5	EFA Thiénaba SECK
3	CR Ngoudiane	THIES DEPARTEMENT	TH3	Abdoulaye SENE
	CR Ngoudiane	THIES DEPARTEMENT	TH9M	CEM Diack Bodokhane
	CR Ndiayene Sirah	THIES DEPARTEMENT	TH11M	CEM Ndiayene Sirah
4	Com Tivaouane	TIVAOUANE	TH19	Tivaouane 13
	Com Tivaouane	TIVAOUANE	TH20	Tivaouane 16
5	CR Notto	TIVAOUANE	TH29M	CEM Notto
6	Com MBoro	TIVAOUANE	TH26	Mérina GUEYE
	Com MBoro	TIVAOUANE	TH27M	CEM mboro 2

(5) 各ステークホルダーの役割

上記の実施体制を構成する各ステークホルダーの役割は次のとおり。

ステークホルダー名		役割
調達代理機関		<ol style="list-style-type: none"> 1. 本邦コンサルタントとの契約 2. 施主への報告
本邦 コン サル タン ト	ソフコン管理者 (邦人)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前準備 <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ローカル NGO、ローカルコンサルタントの調達 1-2 既存マニュアルの精査 2. 活動開始支援 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 ソフコン活動内容の共有、責任分担等の確認 2-2 既存マニュアルの改善支援 2-3 建設現場見学・講習会（トライアル）の実施支援（数箇所） 2-4 報告、今後の活動への助言 3. 進捗管理 <ol style="list-style-type: none"> 3-1 建設現場見学・講習会の実施段階における進捗管理 3-2 各学校による活動段階における進捗管理 3-3 フォローアップ段階における進捗管理 3-4 中間報告書の作成 4. 成果確認 <ol style="list-style-type: none"> 4-1 進捗確認 4-2 フォローアップ会への参加（数箇所） 4-3 最終報告
	ローカル NGO	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動の立ち上げ <ol style="list-style-type: none"> 1-1 ソフコンの活動内容の共有、責任分担等の確認 1-2 ソフコン管理者、ローカルコンサルタントとともに既存マニュアルの改善 2. 建設現場見学・講習会の実施 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 IA、IDEN の支援を受け自治体、学校への連絡実施 2-2 予防的維持管理、基本的な衛生にかかる講習の実施 2-3 中長期維持管理計画作成と資金の調達にかかる講習の実施 2-4 各学校による活動段階にやるべきことの説明

		<p>3. 各学校による活動の進捗状況確認</p> <p>3-1 施工監理コンサルタントから得られた建設中の施設の情報をとりまとめて IA、IDEN に提供（月に 1 度程度）</p> <p>3-2 上記情報の活用状況の確認</p> <p>4. フォローアップ会の実施</p> <p>4-1 講習会で実施した内容の再確認</p> <p>4-2 資金調達計画の進捗状況確認</p> <p>5. 報告</p> <p>5-1 上記 2. ～ 4. についてソフコン管理者へ適宜報告</p>
	ローカルコンサルタント	<p>1. 活動の立ち上げ</p> <p>1-1 ソフコンの活動内容の共有、責任分担等の確認</p> <p>1-2 ソフコン管理者、ローカル NGO とともに既存マニュアルの改善（主に建物の構造に関する図面、挿絵等を担当）</p> <p>2. 建設現場見学・講習会の実施</p> <p>2-1 校舎、トイレの構造にかかる講習</p> <p>2-2 建築的観点から清掃・維持管理に関する注意点にかかる講習</p>

ステークホルダー名		役割
実施主体	IA/IDEN	<p>1. 活動全般の把握</p> <p>1-1 ソフコンの活動内容、責任分担等の確認</p> <p>1-2 改善が加えられたマニュアルの内容確認</p> <p>1-3 建設現場見学・講習会への参加</p> <p>1-4 フォローアップ会への参加</p> <p>2. 活動全般における便宜供与</p> <p>2-1 対象校、地方自治体への連絡支援</p> <p>3. 建設中の施設の情報配布・管理</p> <p>3-1 ローカル NGO から提供される建設中の施設（既存校）の情報を学校に配布</p> <p>3-2 ローカル NGO から提供される建設中の施設（新設校）の情報を自治体に配布</p> <p>3-3 配布された情報が対象者に共有されているか確認</p>

ステークホルダー名		役割
対象者	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設現場見学・講習会への参加 ・ 建設中の施設（新設校）の情報を地域住民と共有 ・ 中長期維持管理計画作成と実施への関与 ・ フォローアップ会への参加
	学校（校長、教員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設現場見学・講習会への参加 ・ 建設中の施設（既存校）の情報を自治体、CGE、APE、地域住民と共有 ・ 中長期維持管理計画の作成と実施 ・ フォローアップ会への参加
	CGE、APE、地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設現場見学・講習会への参加 ・ 中長期維持管理計画作成と実施への関与 ・ フォローアップ会への参加

(6) 投入計画

各期における投入（人・日）は以下のとおり。（詳細は下記 7. 工程表参照）

要員	人・日 (M/M)
ソフコン管理者（邦人）	国内 15 (0.75M/M) 現地 41 (1.37M/M)
ローカル NGO（啓発活動担当）	74 (2.47M/M)
ローカルコンサルタント（技術部門担当）	26 (0.87M/M)
合計	156 (5.21M/M)

1) ソフコン管理者（邦人）の配置期間と活動内容詳細

	活動内容	国内作業	現地作業
1	事前準備		
	1-1 ローカル NGO、ローカルコンサルタントの調達	—	
	1-2 既存マニュアルの精査	5	
2	活動開始支援		
	往復（東京→ダカール→東京）		5
	2-1 ソフコンの活動内容、責任分担等の確認		
	教育省との打合せ		1
	調達代理機関、技プロとの打合せ		1
	ローカル NGO、ローカルコンサルタントとの打合せ		1
	ダカールの IA、IDEN との打合せ		1
	ティエスの IA、IDEN との打合せ		1
	2-2 マニュアル改善支援		
	修正作業		3
	印刷、製本等		1
	2-3 建設現場見学・講習会の実施支援（トライアル数箇所）		
	スケジュール作成、ロジ面手配		2
	準備		2
	見学・講習会参加		2
	2-4 報告、今後の活動への助言		
	資料整理等		2
	教育省、調達代理機関への報告		1
	技プロとの意見交換、ローカル NGO、ローカルコンサルタントへの引継ぎ		1
3	進捗管理		
	3-1 建設現場見学・講習会の実施段階における進捗管理	3	
	3-2 各学校による活動段階における進捗管理	3	
	3-3 フォローアップ段階における進捗管理	3	
	3-4 中間報告書の作成	1	
4	成果確認		
	往復（東京→ダカール→東京）		5
	4-1 進捗確認		
	ローカル NGO、ローカルコンサルタントとの打合せ		1
	調達代理機関、技プロとの意見交換		1
	ダカールの IA、IDEN との打合せ		1
	ティエスの IA、IDEN との打合せ		1
	4-2 フォローアップ会への参加		
	準備		1
	フォローアップ会同行		2
	4-3 最終報告		

	資料整理等		1
	最終報告書まとめ		2
	調達代理機関、技プロへの報告		1
	教育省への報告		1
	合計	15	41

(表中の活動内容番号は上記(5)の表中の番号に対応している。)

2) ローカル NGO (啓発活動担当) の配置日数内訳

活動段階	内容	日数	日数内訳
	活動の立ち上げとトライアル実施	16	ソフトコン管理者とともに活動
ダカール	建設現場見学・講習会(6回)の実施	10	関係者との連絡等業務3、見学会準備1、見学会実施6
	各学校による活動の進捗状況確認(約8ヶ月間)	8	関係者との連絡等業務8
	フォローアップ会(8回)の実施	9	準備1、フォローアップ会開催8
	報告書作成等	3	
ティエス	建設現場見学・講習会(6回)の実施	10	関係者との連絡等業務3、見学会準備1、見学会実施6
	各学校による活動の進捗状況確認(約8ヶ月間)	8	関係者との連絡等業務8
	フォローアップ会(6回)の実施	7	準備1、フォローアップ会開催6
	報告書作成等	3	
	合計	74	

3) ローカルコンサルタント(技術部門担当)の配置日数内訳

活動段階	内容	日数	日数内訳
	活動の立ち上げとトライアル実施	12	ソフトコン管理者とともに活動
ダカール	建設現場見学・講習会(6回)の実施	7	準備1、見学会6
ティエス	建設現場見学・講習会(6回)の実施	7	準備1、見学会6
	合計	26	

6. ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

セネガル国には、コミュニティ開発、啓発活動、学校活動への住民参加等の支援を行う NGO が多数存在し、経験も豊富であることから、ソフトコンポーネント計画の実施にはローカルリソースへの再委託が適切と考えられる。ローカルリソースとしては、コミュニティの啓発活動を得意とする NGO と、建築的観点から建設現場見学会の実施やマニュアルにおける施設の構造を表す図等を作成するために建築コンサルタントを調達する。NGO は、過去のソフトコンポーネントを実施したローカル NGO や PAES2 を含む技術協力プロジェクトに協力したローカル NGO が候補に挙げられる。これによって過去のソフトコンポーネントとの一貫性、PAES2 を含む技術協力プロジェクトとの整合性を確保することが可能となる。建築コンサルタントは、建設する施設に関する情報を共有していることが求められることから、本プロジェクトの入札補助及び施工監理業務を実施する本邦コンサルタントとの連携が重要であるため、設計監理コンサルタントに委託することが望ましい。

コミュニティ開発支援無償資金協力制度では、通常、相手国政府と契約を行う調達代理

機関が活動全体を管理しローカルリソースを調達する。しかし、前述のとおり本格的な技術支援は PAES2 が実施することから、本ソフトコンポーネント計画では施設整備の機会に実施することによって、より効果が現れると考えられる活動のみを実施する。そのためローカルリソースへの委託額は大きくなく、調達代理機関が通常の公示・審査による調達を行うと、委託額と調達にかかる費用とのバランスが悪くなることが想定される。したがって本邦コンサルタントが施工監理の一貫としてソフトコンポーネントを実施・管理することとし、本邦コンサルタントがローカルリソースを調達する。本邦コンサルタントは準備調査を実施し本ソフトコンポーネント計画を立案したコンサルタントであるため、計画から実施までを一貫して円滑に実施することが可能である。

7. ソフトコンポーネントの実施工程

別添 1 参照

8. ソフトコンポーネントの成果品

(1) 資料

- ・ 改善後のマニュアル
- ・ 中長期維持管理計画
- ・ 資金調達計画
- ・ IA、IDEN に提供した建設進捗情報
- ・ アンケート（フォローアップ会時に参加者より聴取）

(2) 報告書

提出を求める報告書とその目次（案）は以下のとおり。

報告書	目次（案）
中間報告書(ダカール州における活動報告)	1. マニュアルの改善 1-1 既存マニュアルの改善すべき点 1-2 改善後のマニュアル 1-3 印刷・配布状況 2. 建設現場見学・講習会 2-1 活動日程と見学時点の施設の状況 2-2 参加者リスト 2-3 講習内容 2-4 参加者からの感想、意見 3. 各学校における活動 3-1 IA、IDEN に提供した情報 3-2 各学校（または自治体）における情報共有状況 4. フォローアップ会 4-1 活動日程 4-2 参加者リスト 4-3 講習内容 4-4 中長期維持管理計画策定実施状況 4-5 参加者へのアンケート結果（感想、意見） 5. ティエス州の活動にむけての提言
最終報告書(2州での活動のまとめ)	1. 上記 1～4 に同じ 2. その他 技プロとの情報交換 など

9. ソフトコンポーネントの概算事業費

ソフトコンポーネント概算事業費のうち、日本側負担分は以下のとおり。

項目		概算事業費 (千円)
ソフコン管理者 (邦人) 直接人件費		1,327
直接経費		7,524
	本邦コンサルタントにかかる経費	4,215
	現地再委託にかかる経費	3,309
間接費		1,699
合計		10,550

10. 相手国実施機関の責務

(1) ソフトコンポーネント活動実施中の責務

1) 各活動の実施と参加

本ソフトコンポーネント実施にあたっては、IA 及び IDEN が実施主体となり各学校に指示を行い、各学校がステークホルダーの参加を働きかける必要がある（新設校については、IA、IDEN が直接働きかける）。各段階におけるステークホルダーの役割は以下の表のとおり。

	立ち上げ段階	建設現場見学・講習会の実施段階 (ブロック内の1校で実施)	各学校による活動段階 (各学校で実施)	フォローアップ段階 (ブロック内の1校で実施)
IA、IDEN	ソフコン内容の確認、責任分担の確認、参加	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 建設進捗情報を学校または自治体へ送付 情報共有状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の確認 自治体と学校への連絡 参加
自治体	—	<ul style="list-style-type: none"> 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 中長期維持管理計画作成と実施への関与 	<ul style="list-style-type: none"> 参加
学校	—	<ul style="list-style-type: none"> 参加 自治体、CGE、APE、地域住民との連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 中長期維持管理計画の作成・実施 CGE、APE、地域住民との連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 参加 自治体、CGE、APE、地域住民との連絡調整
CGE、APE、地域住民	—	参加	<ul style="list-style-type: none"> 建設進捗情報の共有 中長期維持管理計画の作成・実施への関与 	参加

2) 活動にかかる費用の確保

各ステークホルダーは各活動に参加するために必要な費用を確保する必要がある。想定される費用は以下のとおり。

	立ち上げ 段階	建設現場見学・講習 会の実施段階 (ブロックのうち 1 校で実施)	各学校による活動段階 (各学校で実施)	フォローアップ段階 (ブロックのうち 1 校で実施)
IA、IDEN	交通費	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費
自治体	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費
学校	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費
CGE、APE、 地域住民	—	開催校までの交通費	不要	開催校までの交通費

(2) ソフトコンポーネント活動実施後の責務

1) モニタリング

本ソフトコンポーネント活動で啓発を受けた関係者が、プロジェクト目標および上位目標発現の方向に向かうように、IA 及び IDEN は適宜アドバイスやモニタリングを行う。

2) 学校運営・維持管理費用の確保

学校の運営・維持管理に関する費用は、教育省、地方自治体、生徒からの徴収金によって賄われている。地方分権政策に従い、学校の運営・維持管理は地方自治体が責任を持つことになっているが、自治体によって援助額に差がある。自治体及び地域住民は、学校運営に関心を持ち、維持管理の必要性を理解し、費用の確保に積極的に協力する必要がある。

以上

別添1 実施工程

	2011												2012												2013												2014		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
成果1: 維持管理・衛生の重要性が理解される。 ・既存マニュアルを改善する ・予防的維持管理、基本的な衛生にかかる講習を実施する	<p>▲ 既入調印 ▲ 調達代理契約 ▲ サルタン契約</p> <p>第1フェーズ(ザカール州) 施工期間(14ヶ月)</p> <p>準備</p>												<p>第2フェーズ(ザカール州) 施工期間(14ヶ月)</p> <p>準備</p>												<p>第3フェーズ(アエス州) 施工期間(14ヶ月)</p> <p>準備</p>												<p>竣工</p>		
成果2: 整備された施設に関する知識が得られる。 ・税金やトイレの構造にかかる講習を実施する(建設現場/学生会) ・関係者が建設進捗情報を共有する	<p>建設現場見学・講義会の実施(4回実施)</p> <p>ザカール州 (8回実施)</p> <p>各学校における活動段階</p> <p>フェローシップ段階</p>												<p>建設現場見学・講義会の実施(4回実施)</p> <p>アエス州 (8回実施)</p> <p>各学校における活動段階</p> <p>フェローシップ段階</p>												<p>建設現場見学・講義会の実施(4回実施)</p> <p>アエス州 (8回実施)</p> <p>各学校における活動段階</p> <p>フェローシップ段階</p>												<p>最終報告(2州)</p>		
活動進捗報告	<p>● 中間報告(ザカール州)</p>												<p>● 中間報告(アエス州)</p>												<p>● 最終報告(2州)</p>														

	2011												2012												2013												2014		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
邦人コンサルタント/ノンコン管理 (4等設)	<p>■ 現地作業</p> <p>□ 国内作業</p>												<p>■ 現地作業</p> <p>□ 国内作業</p>												<p>■ 現地作業</p> <p>□ 国内作業</p>												<p>■ 現地作業</p> <p>□ 国内作業</p>		
邦人コンサルタント/ノンコン管理 (4等設)	41	15	56																																				
ローカルNGO(啓発活動担当)	74																																						
ローカルコンサルタント(技術部門担当)	26																																						

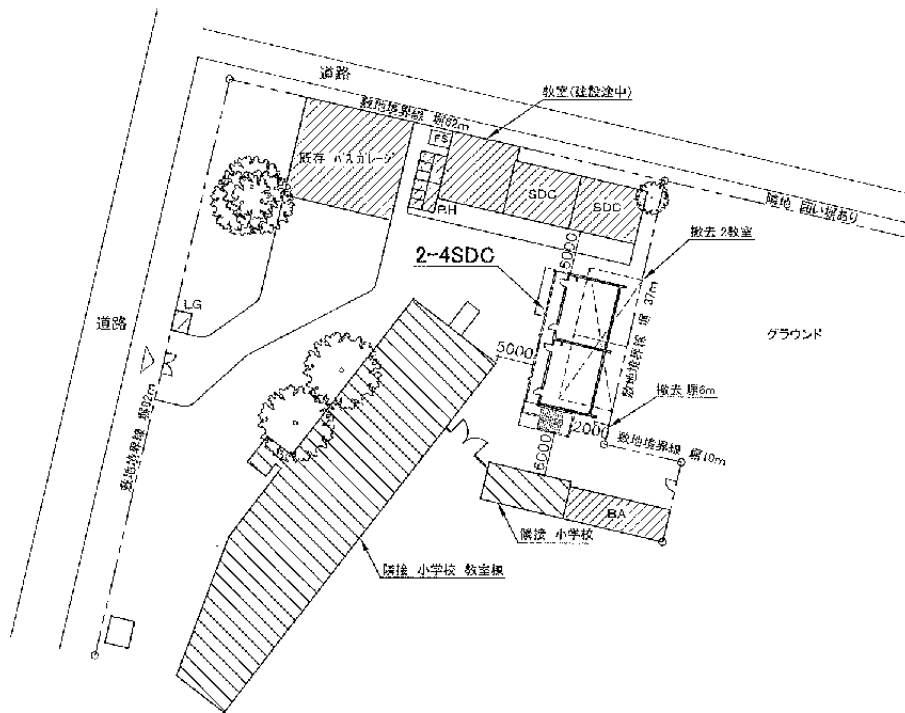
資料6 参考資料

No.	名称	形態	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
1	ダカール州教育統計 (2005/06, 2006/07)	図書	コピー	IA ダカール	
2	ダカール州教育統計 (2008/09)	データ	コピー	IA ダカール	
3	ティエス州教育統計 (2004/05, 2005/06, 2006/07, 2007/08, 2008/09)	データ	コピー	IA ティエス	
4	教育統計記入票	図書	オリジナル	教育省	2009
5	ダカール州教育開発計画 (PRDE)	データ	コピー	IA ダカール	2009
6	ティエス州教育開発計画 (PRDE)	データ	コピー	IA ティエス	
7	県教育開発計画 (PDDE)、ダカール州 (Dakar-Banlieue - Dakar-Médina - Dakar-Ville - Grand-Dakar 1及び Grand-Dakar 2)	データ	コピー		
8	県教育開発計画 (PDDE)、ダカール州 (Guediawaye県)	データ	コピー	協力・モニタリング委員会及び地方教育・訓練委員会	2009
9	県教育開発計画 (PDDE)、ダカール州 (Pikine県)	データ	コピー	協力・モニタリング委員会及び地方教育・訓練委員会	2009
10	県教育開発計画 (PDDE)、ダカール州 (Rufisque県)	データ	コピー		
11	県教育開発計画 (PDDE)、ティエス州 (ティエス市及びティエス県)	図書及びデータ	コピー		2010
12	県教育開発計画 (PDDE)、ティエス州 (ティバウアン)	データ	コピー		
13	教育省2008/09統計速報 (パンフレット)	図書	オリジナル	DPRE	2009
14	ダカール州第14回初等教育週間 (パンフレット)	図書	オリジナル	IAダカール	
15	Association Conseil Pour l'Action (ACA) パンフレット	図書	オリジナル	ACA	
16	Aide et Action パンフレット	図書	オリジナル	Aide et Action	
17	学齢人口推計	データ	コピー	国家人口統計機関	2008
18	就学前・初等・中等教育・国語省における実施中プロジェクトの状況	データ	コピー	DPRE	2009
19	教育訓練開発計画フェーズ3	データ	コピー	DPRE	2009
20	教育状況における国家レポート2009	図書	オリジナル	DPRE	2009
21	教育及び訓練セクター 中期セクター支出枠組み (2010/2012)	図書	オリジナル	DAGE	2010
22	ダカール州地図	図書	オリジナル	地理地図局	2008
23	ティエス州地図	図書	オリジナル	地理地図局	2008
24	ルーガ州地図	図書	オリジナル	地理地図局	2008
25	ダカール市地図	図書	オリジナル	Laure Kane	2010
26	入札図書 (BCI 2010)	データ	コピー	DCS	2010
27	第3次教育・訓練10カ年計画に対する国家教育・訓練開発計画 (PNDEF)	データ	コピー	教育省	2009
28	教育状況における国家レポート2010	図書	オリジナル	DPRE	2010
29	全国教育統計2009/10	図書	オリジナル	教育省	2010
30	教育省2009/10統計速報 (パンフレット)	図書	オリジナル	DPRE	2010

7 その他の資料・情報

(1) サイト調査結果概要

(2) 計画対象校配置図

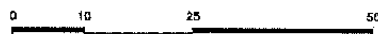


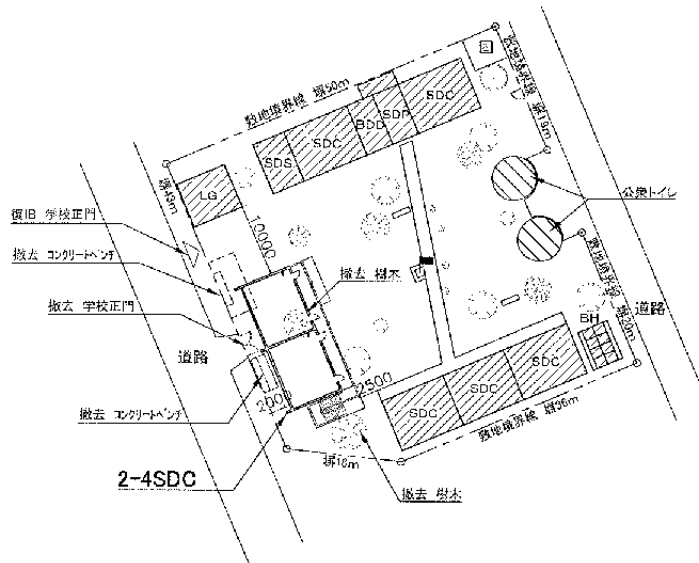
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤン室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



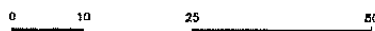


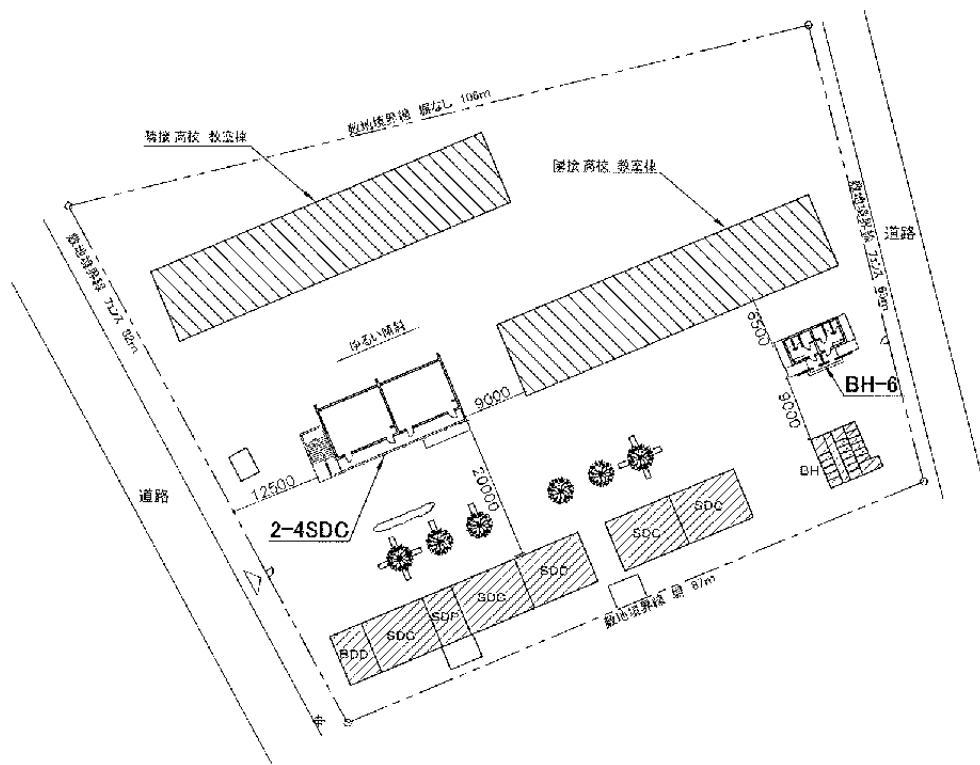
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊘: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



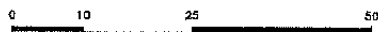


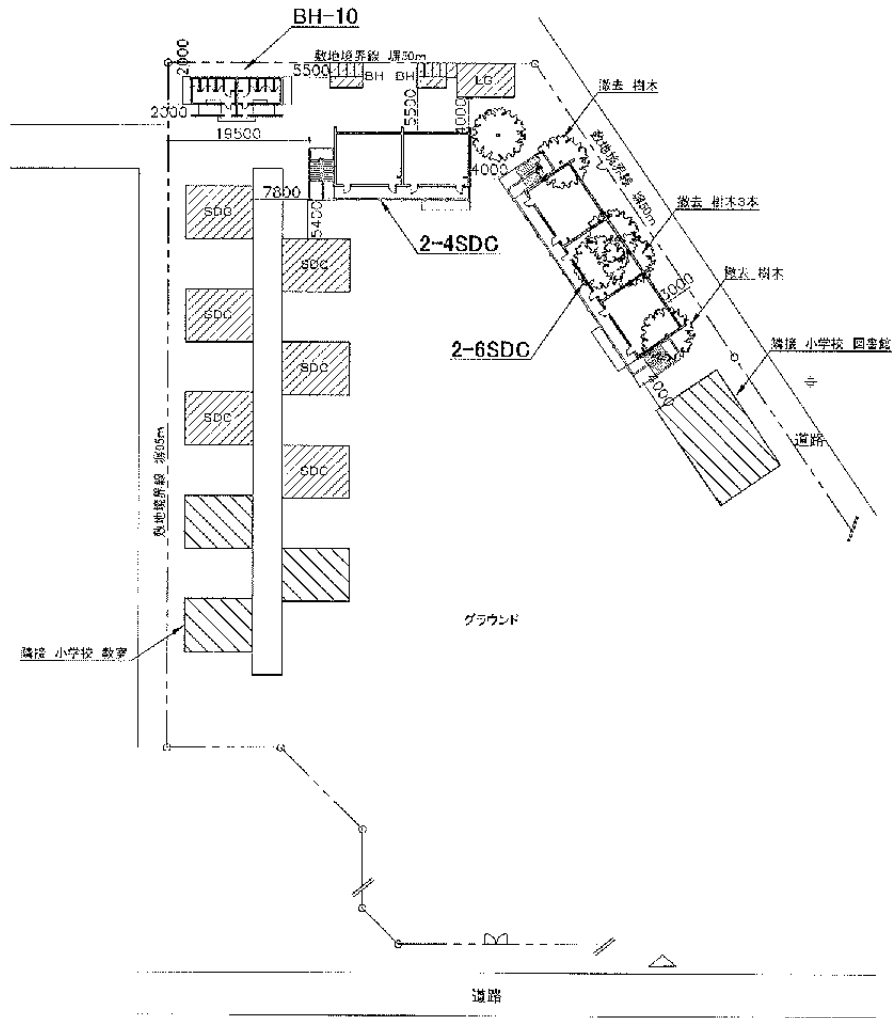
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊗: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



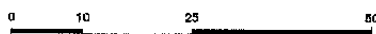


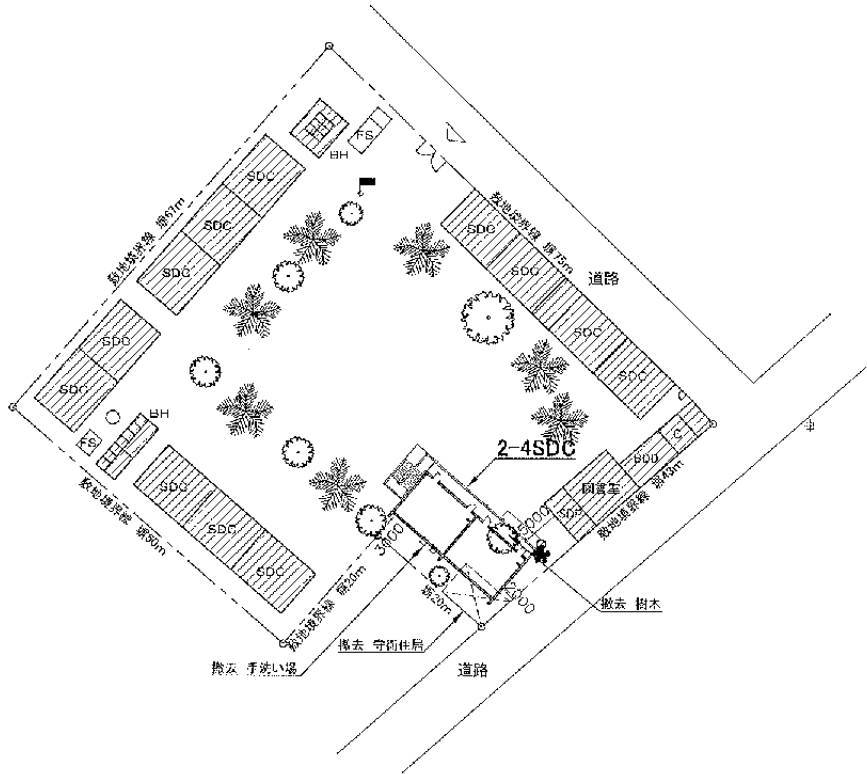
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤン室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



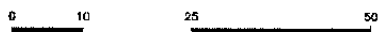


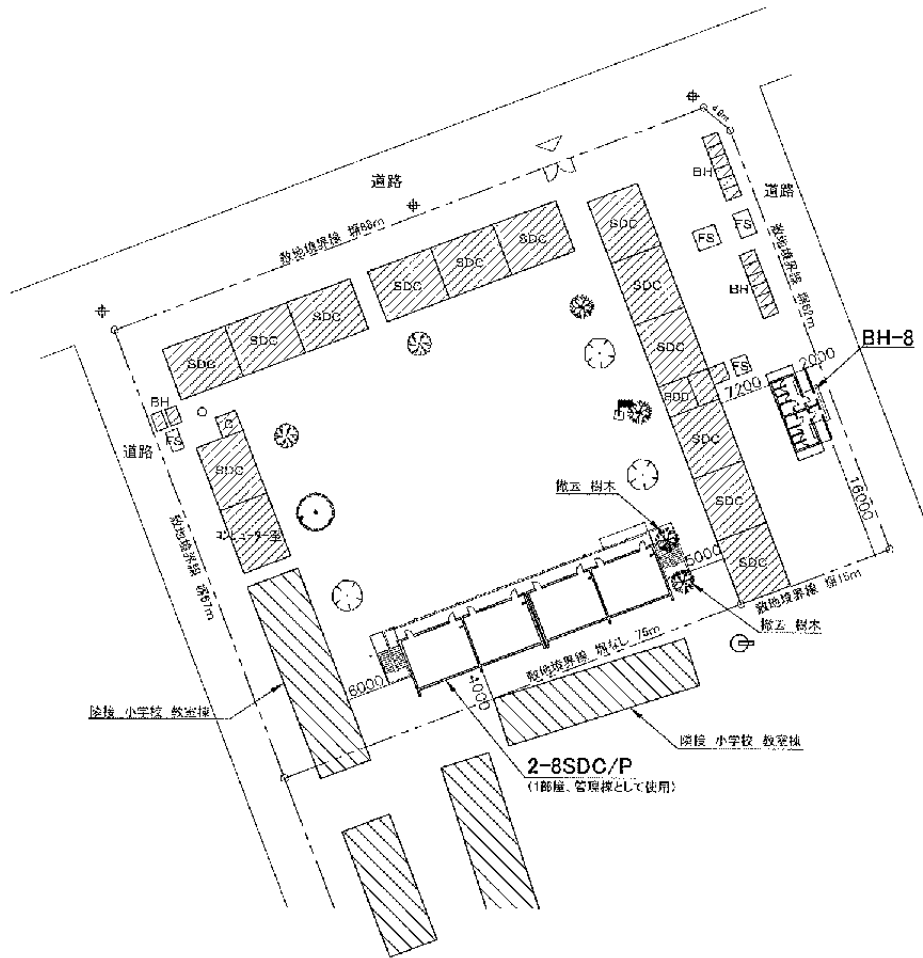
既存施設 凡例:

- | | | |
|------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | 旗: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サービス室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



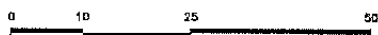


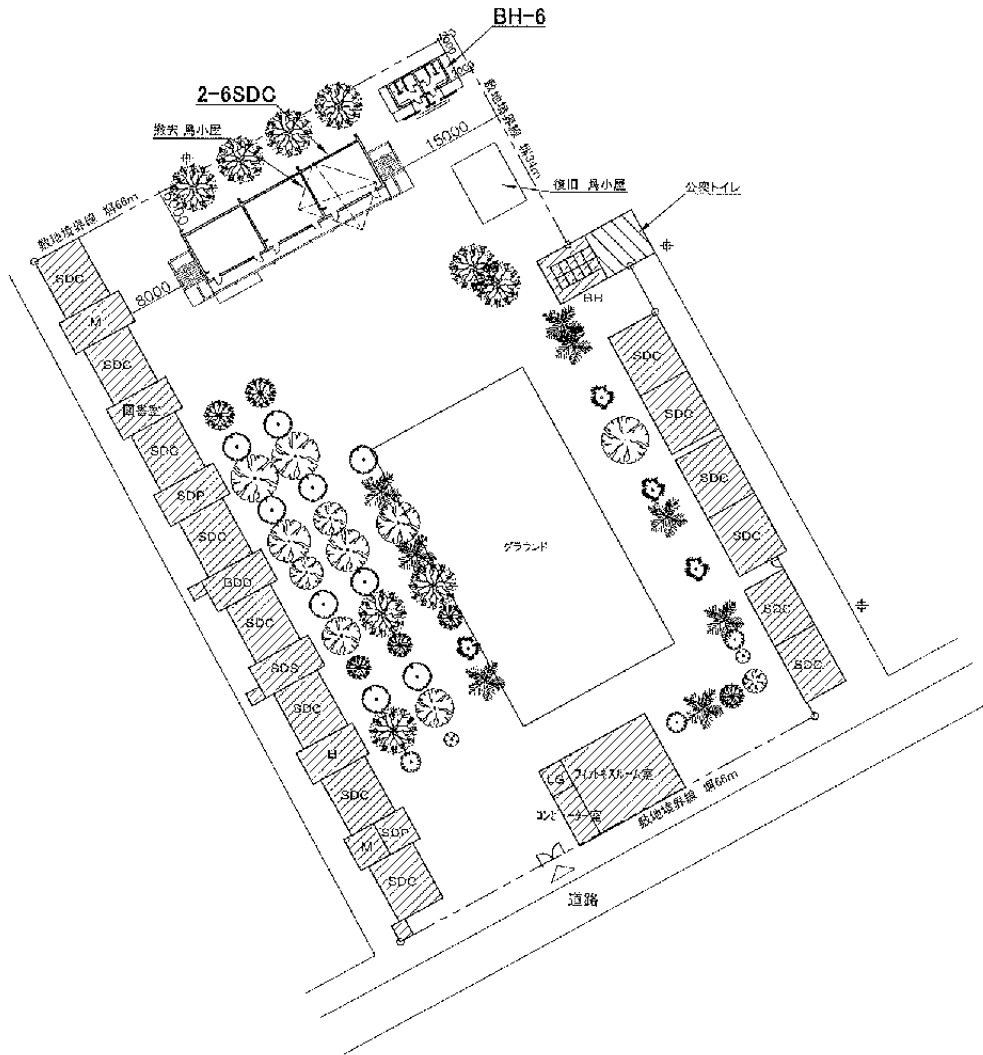
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊙: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤム室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



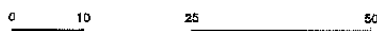


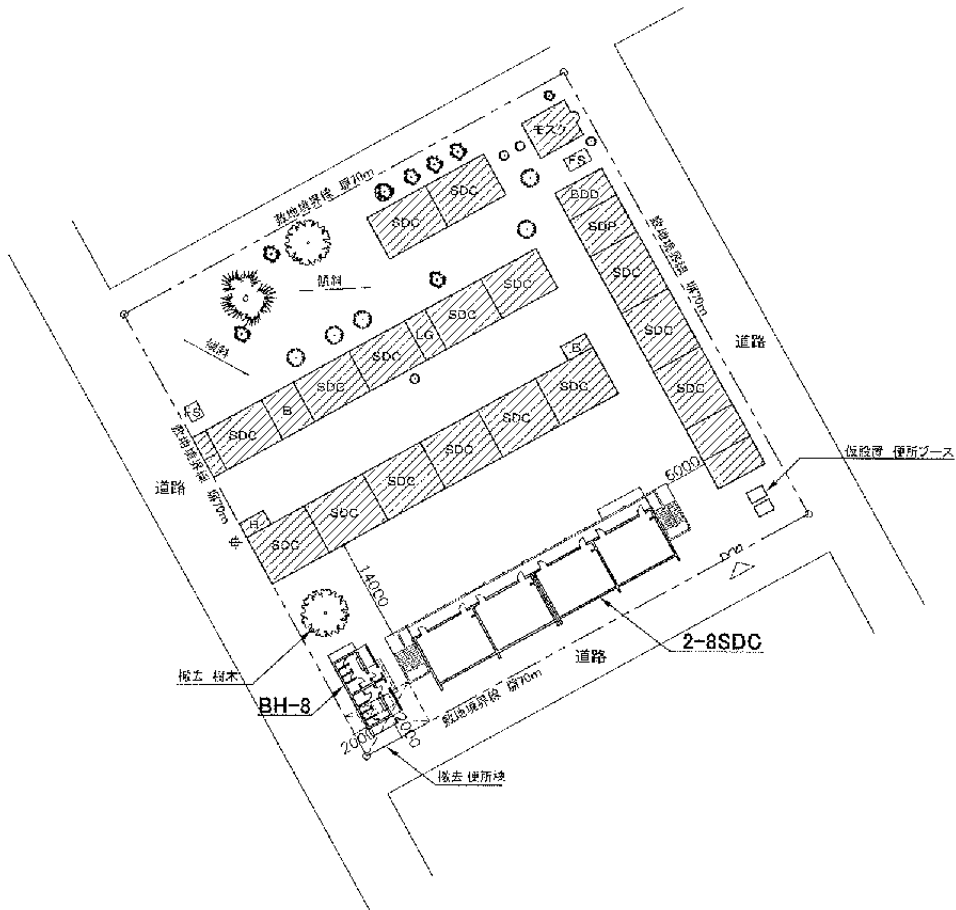
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーバヤン室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





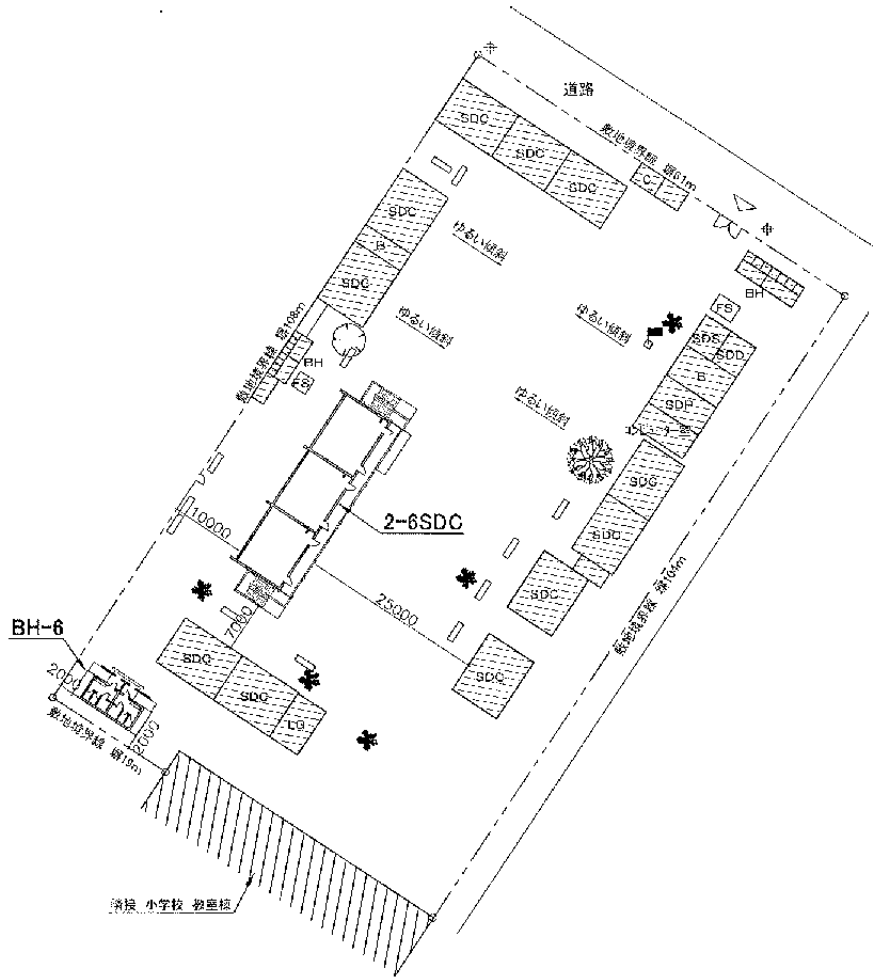
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊙: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



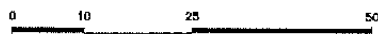


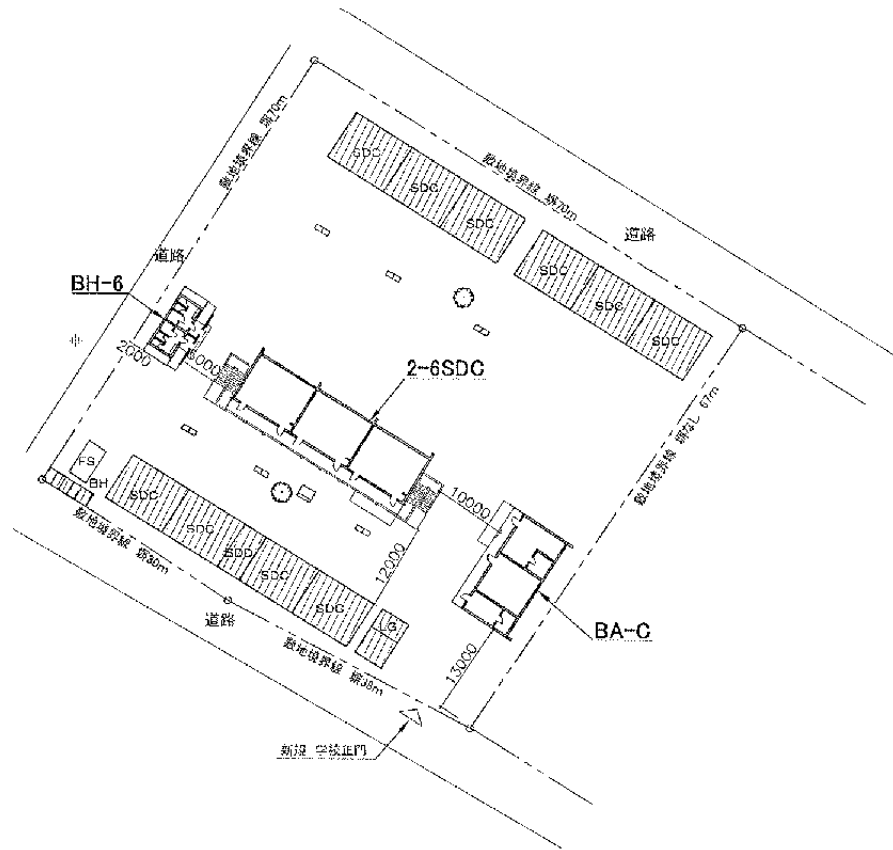
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊗: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



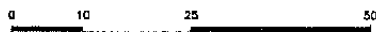


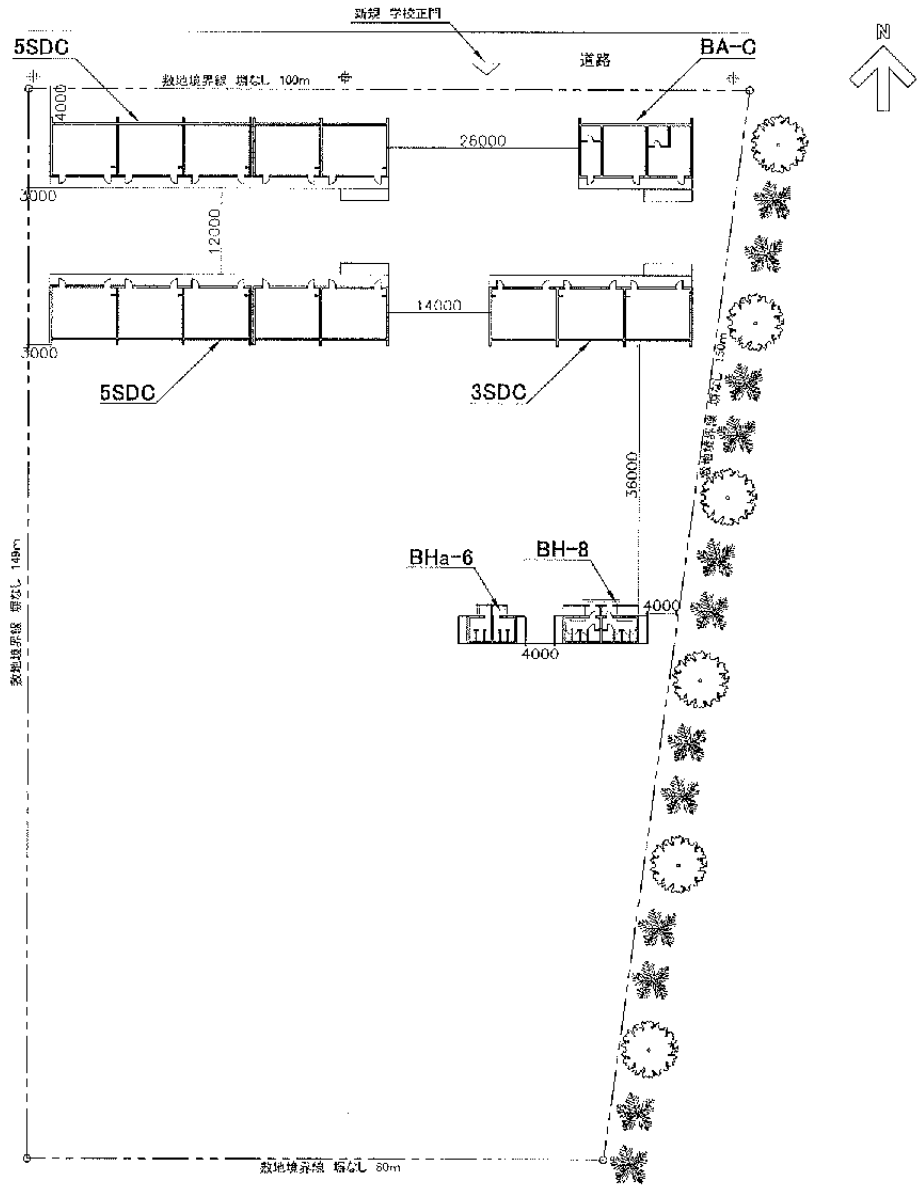
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



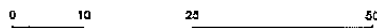


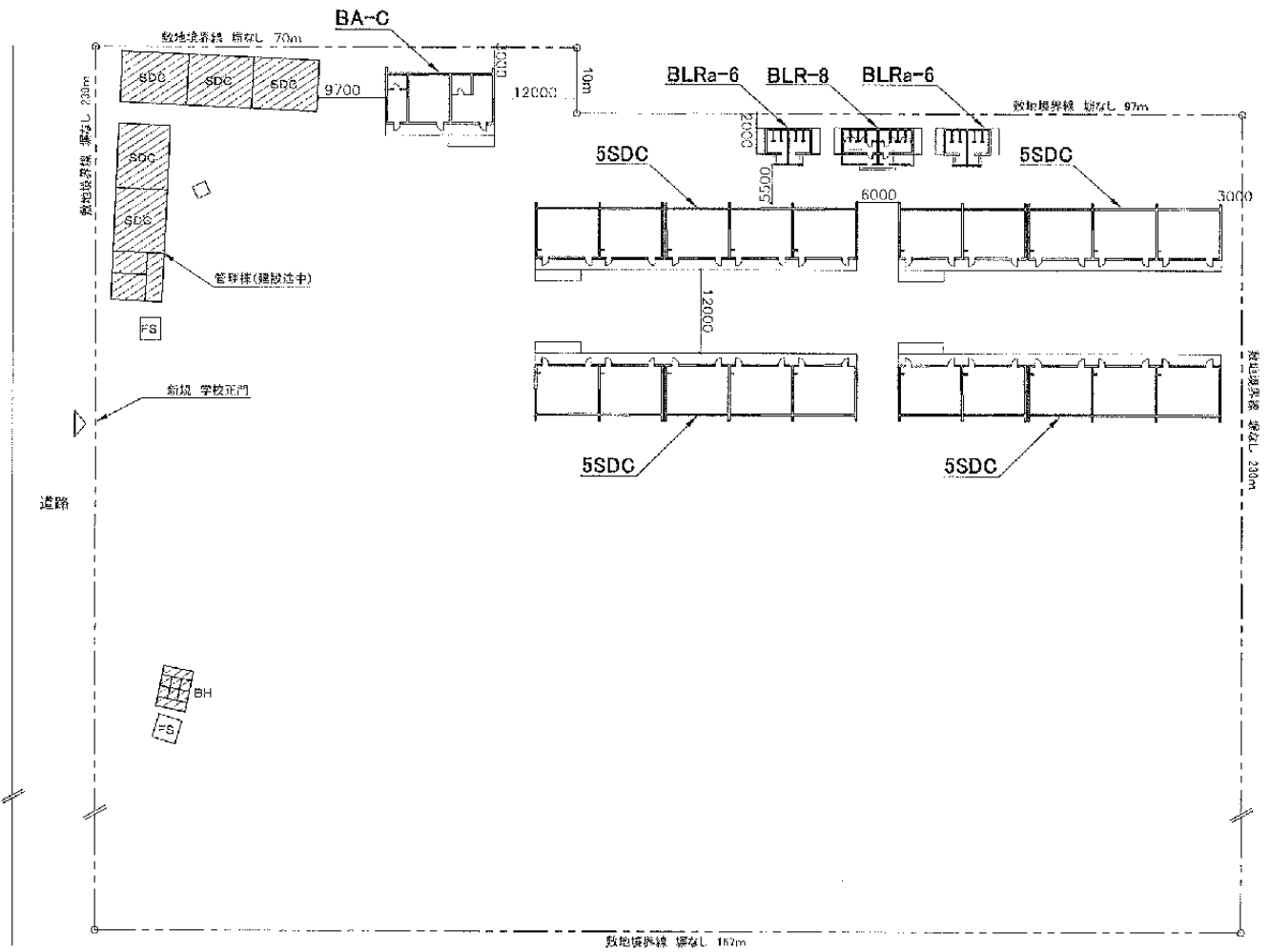
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤン室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



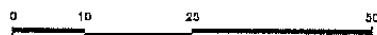


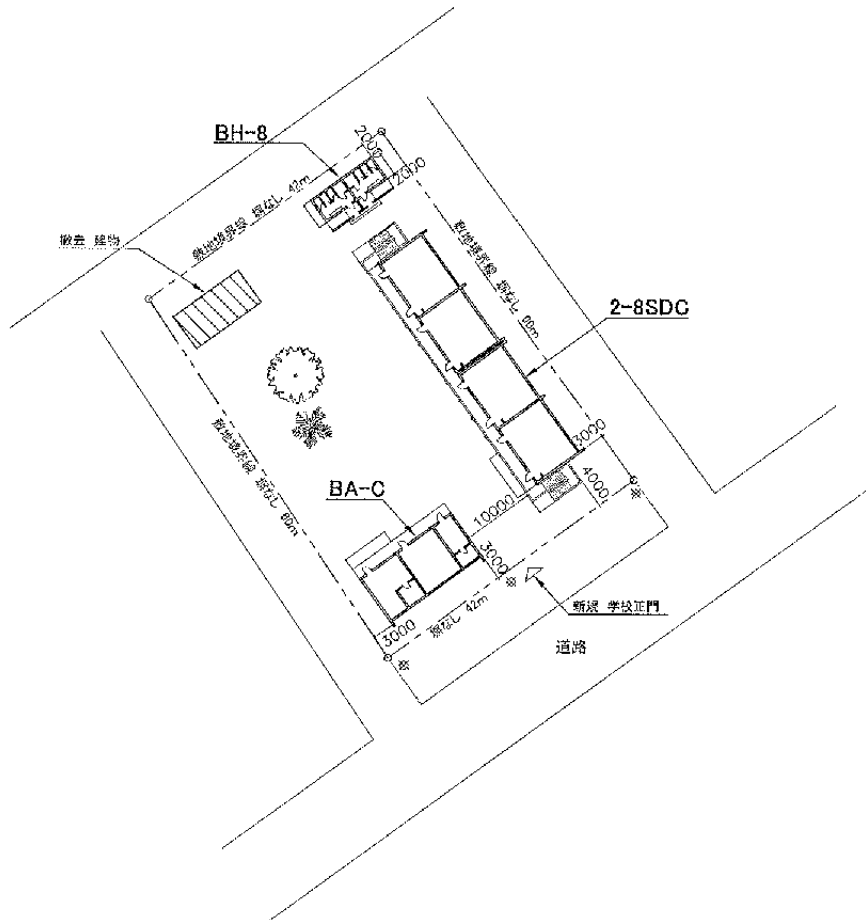
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ⚑: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





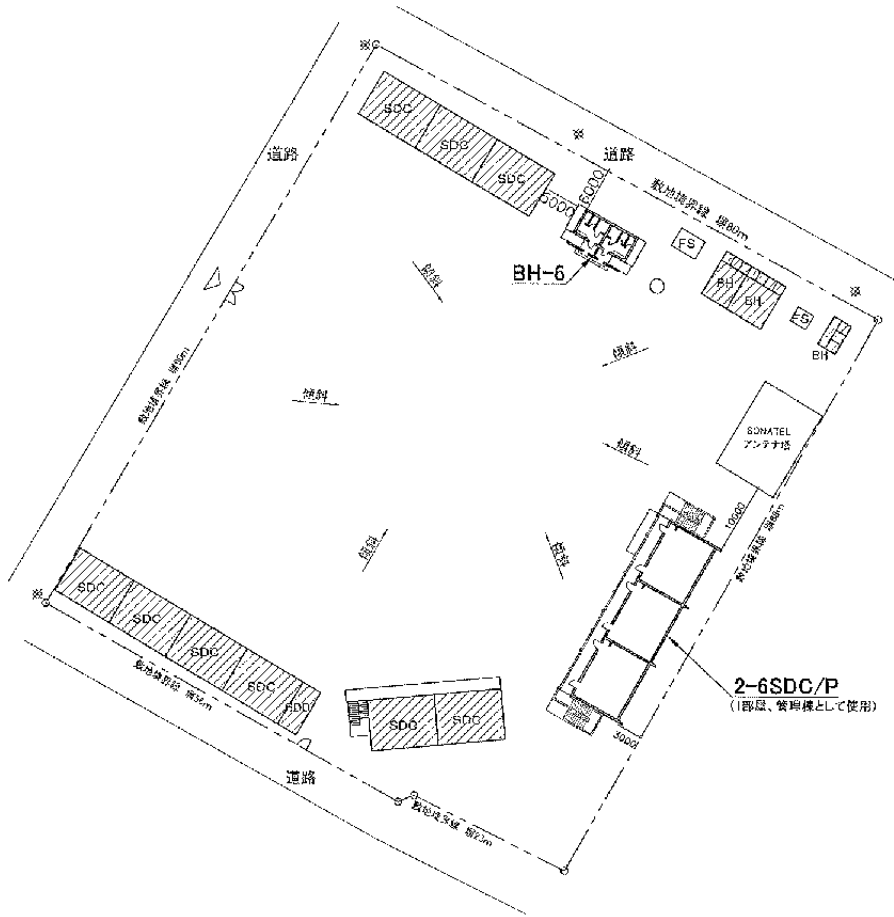
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーバヤナ室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



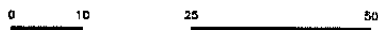


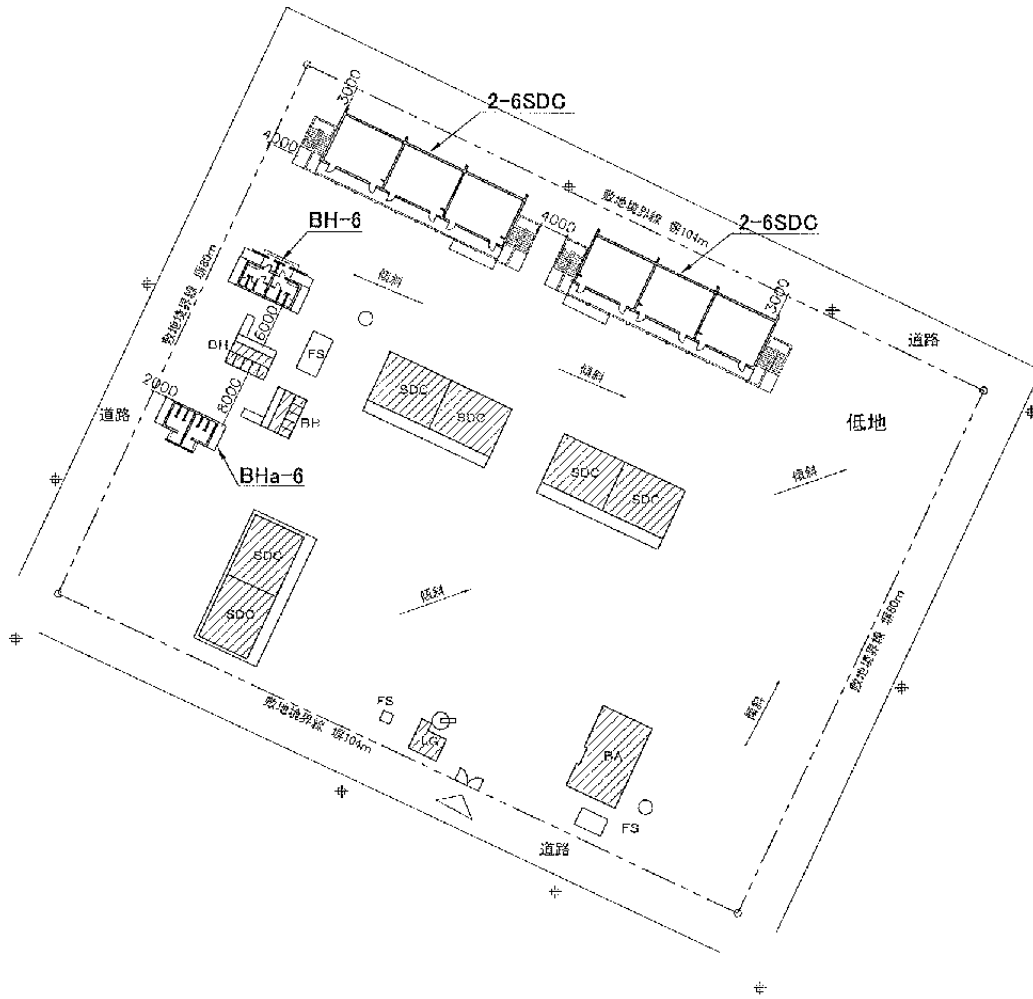
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊗: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベヤノ室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 専務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



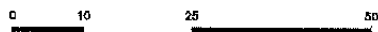


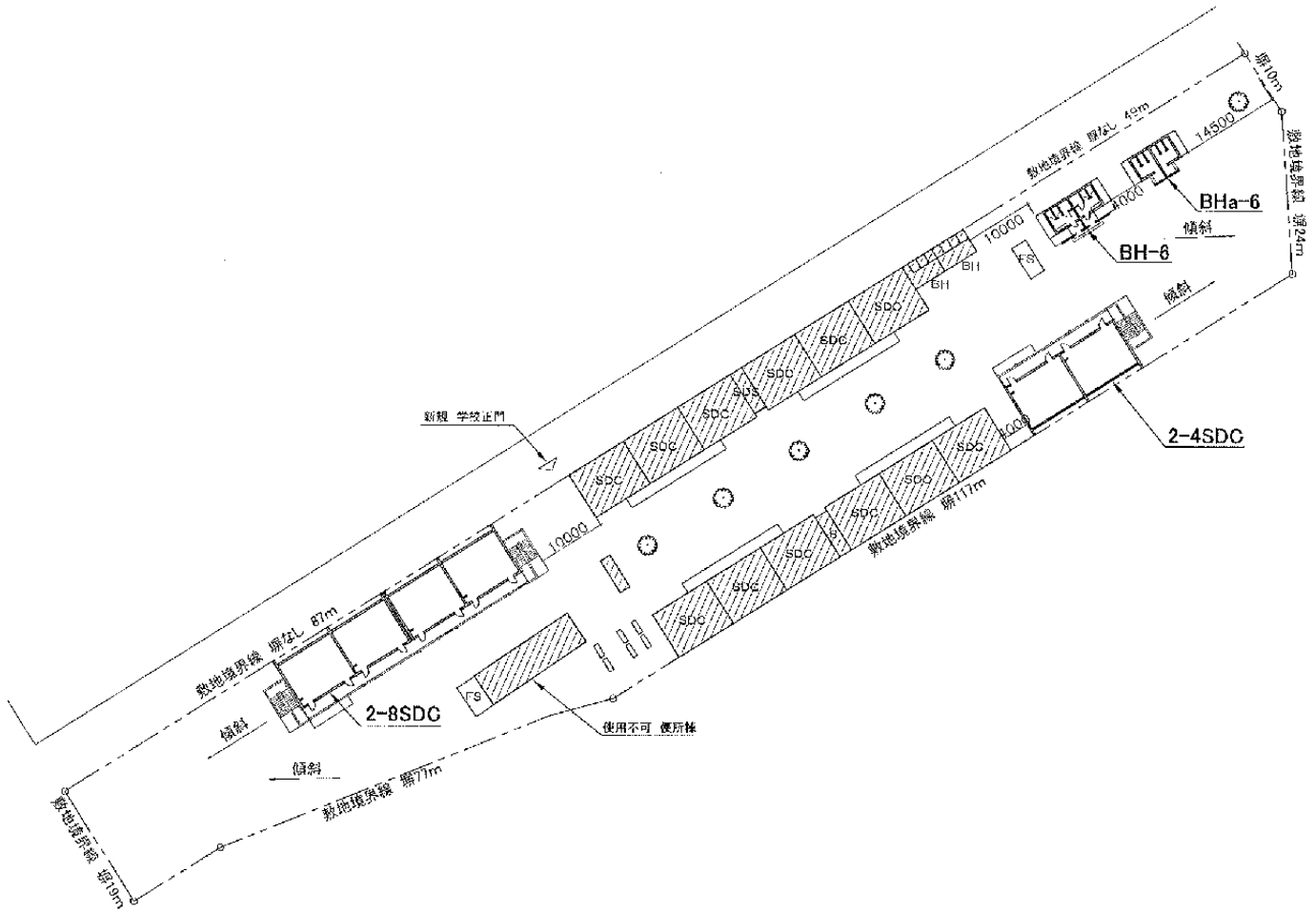
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤツ室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



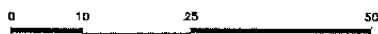


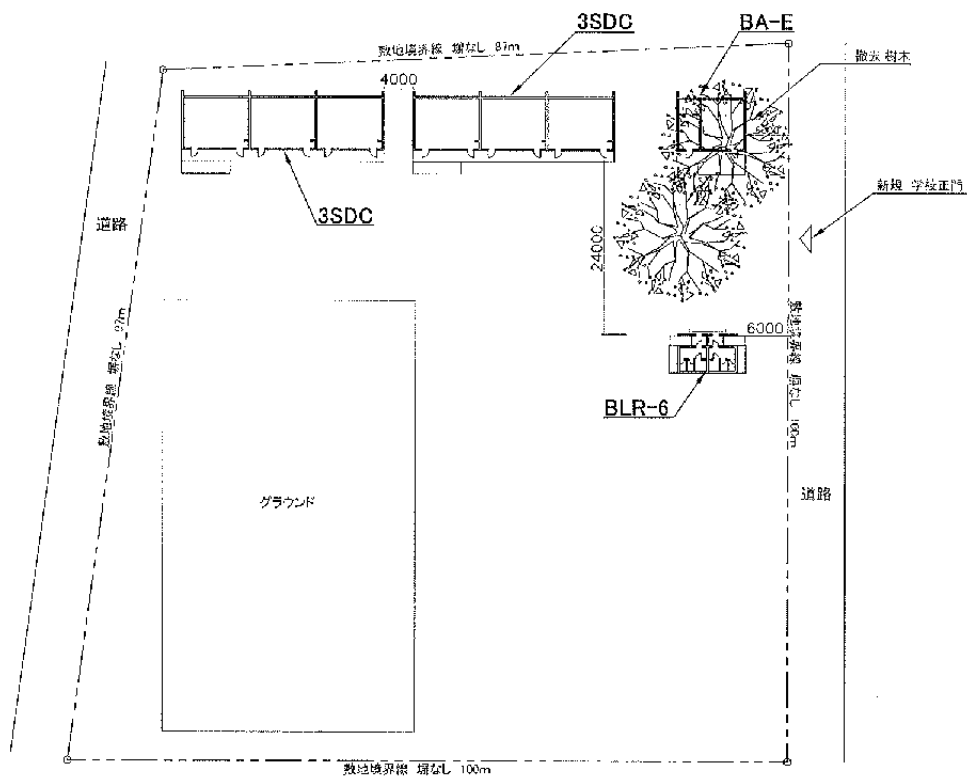
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





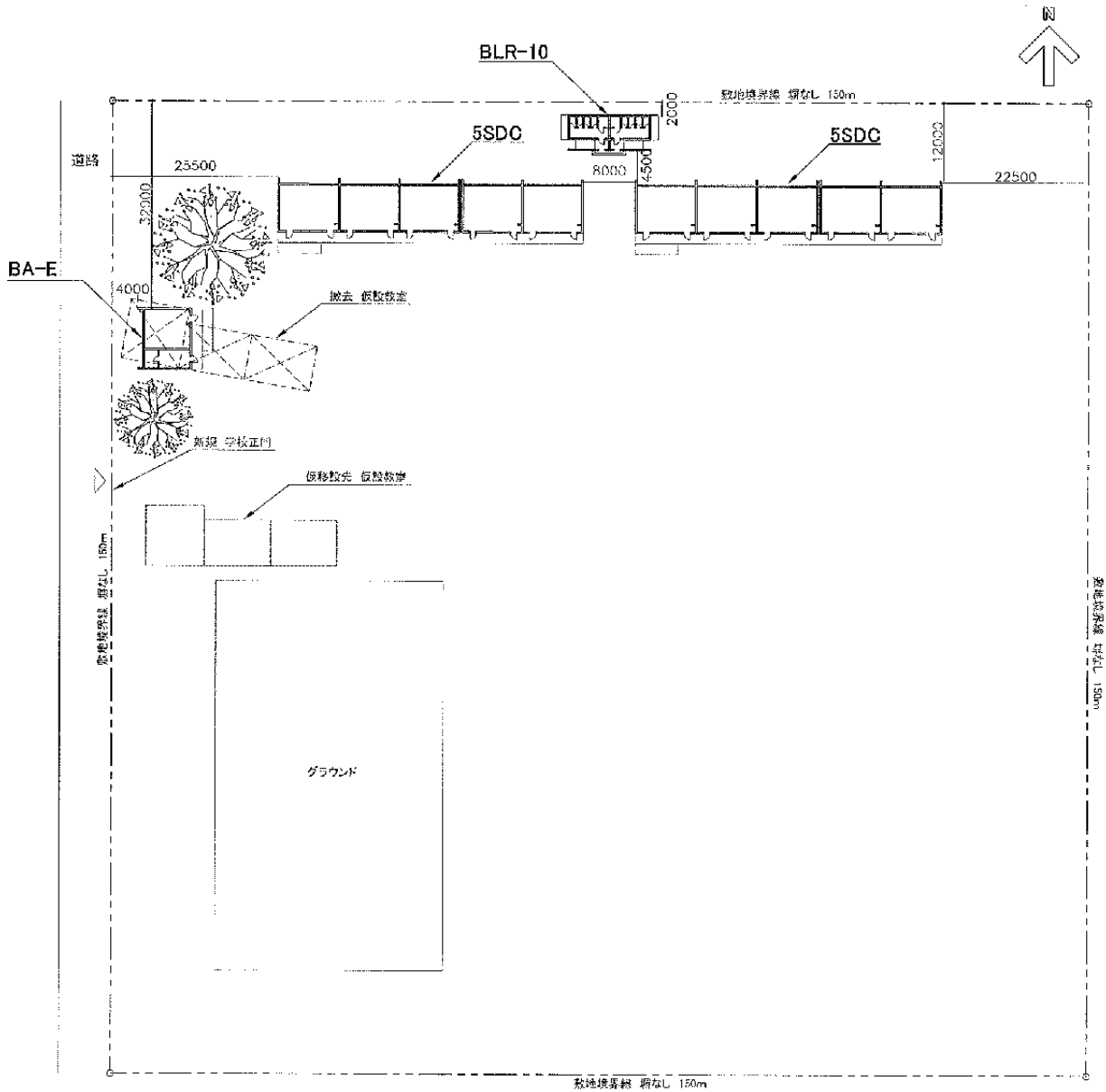
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



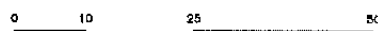


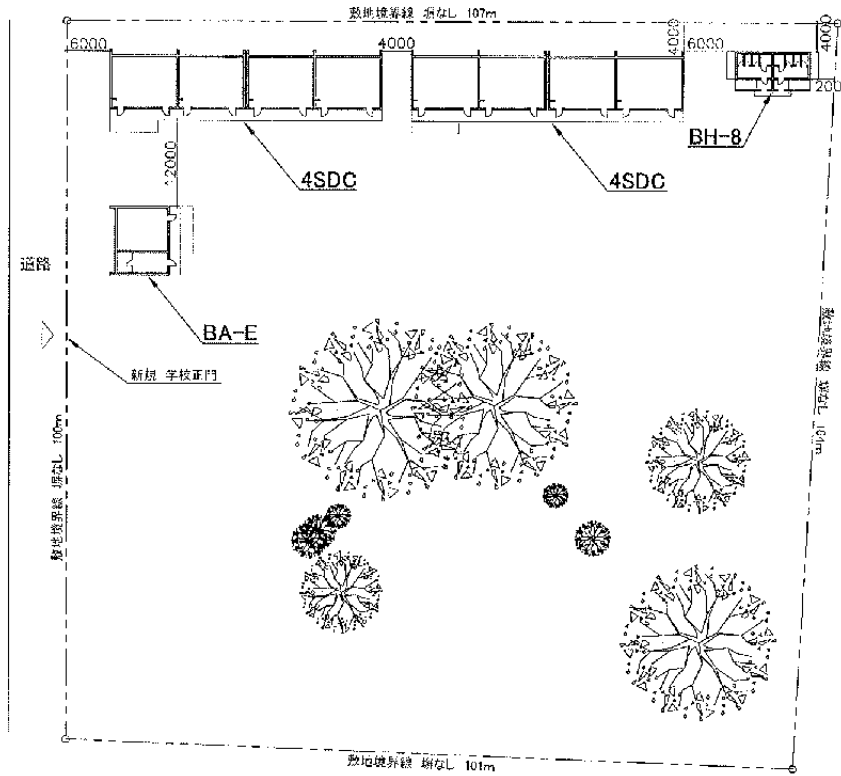
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





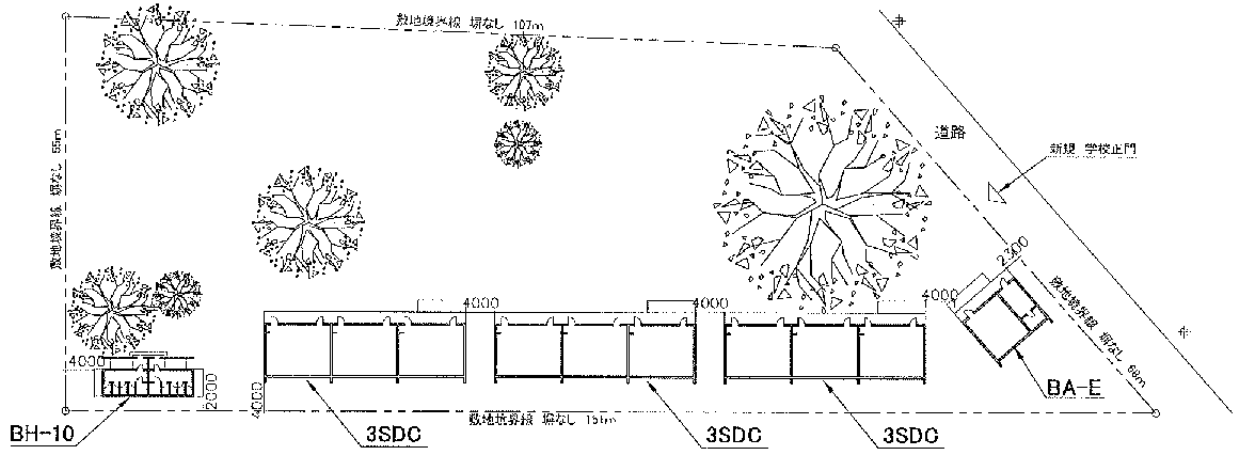
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⌘: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ▣: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サークルヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





既存施設

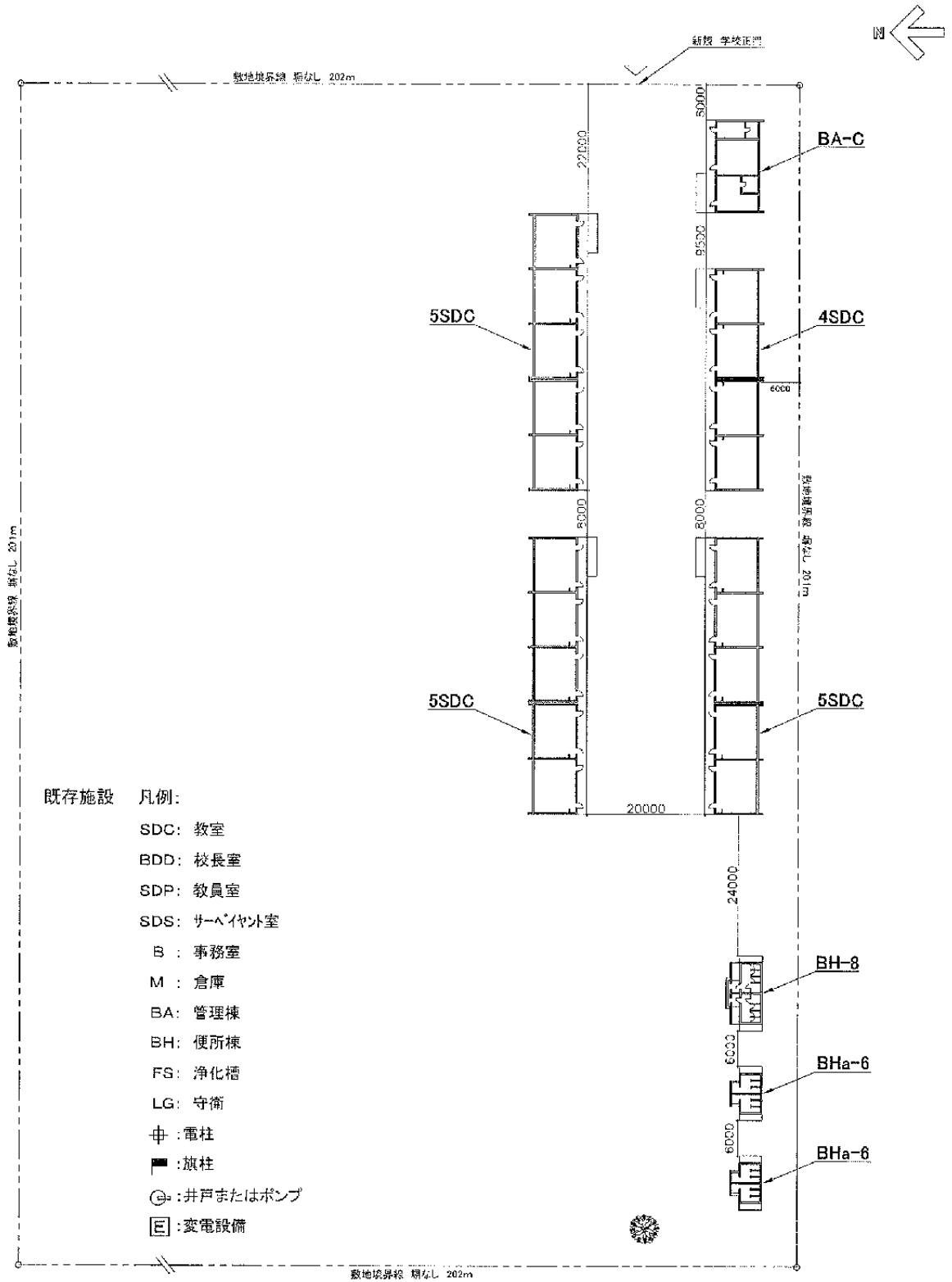
凡例:

- | | | |
|------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⌂: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サベヤ外室 | FS: 浄化槽 | Ⓜ: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

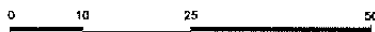
Scale 1:1000

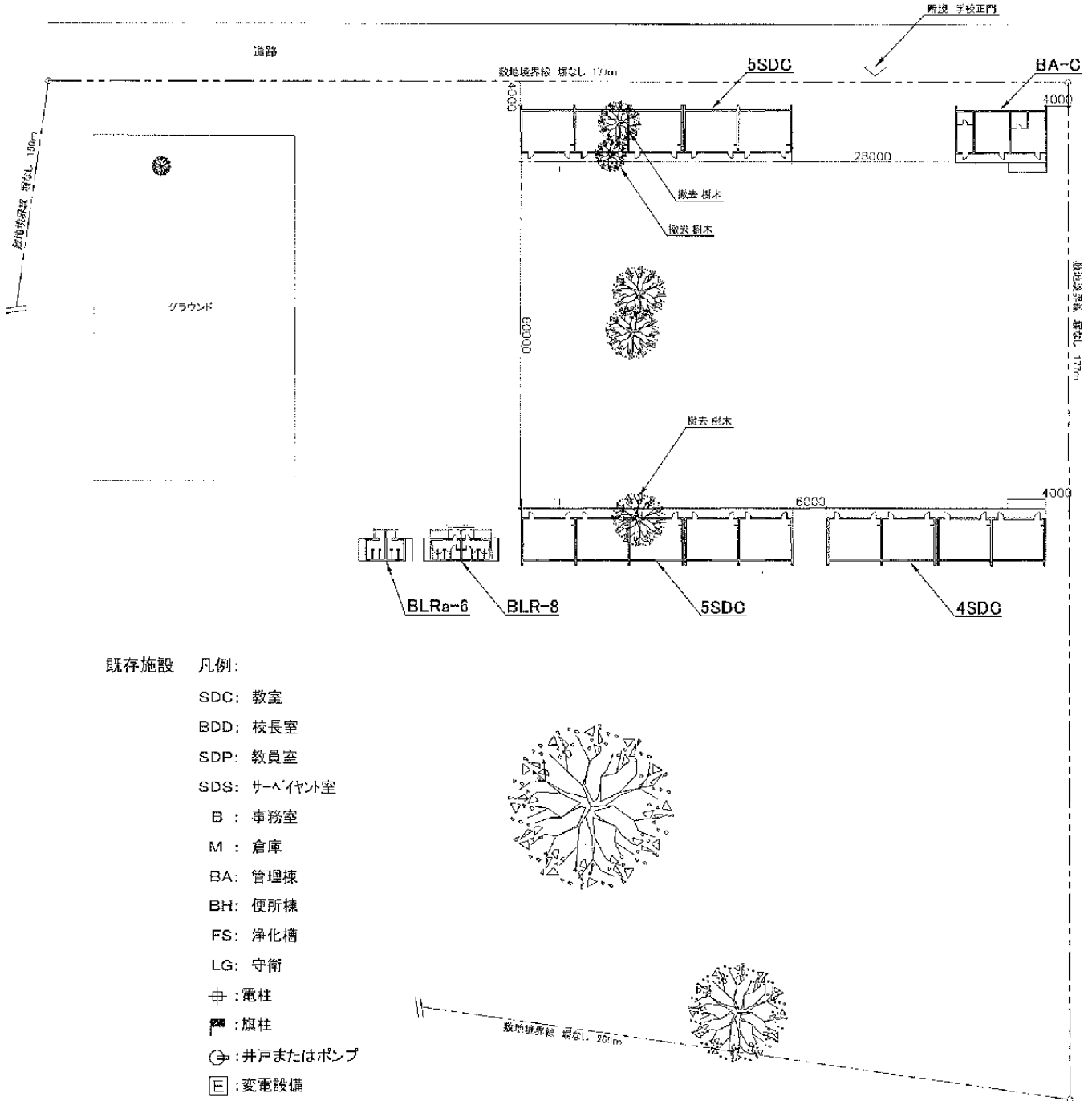




計画配置図

Scale 1:1000





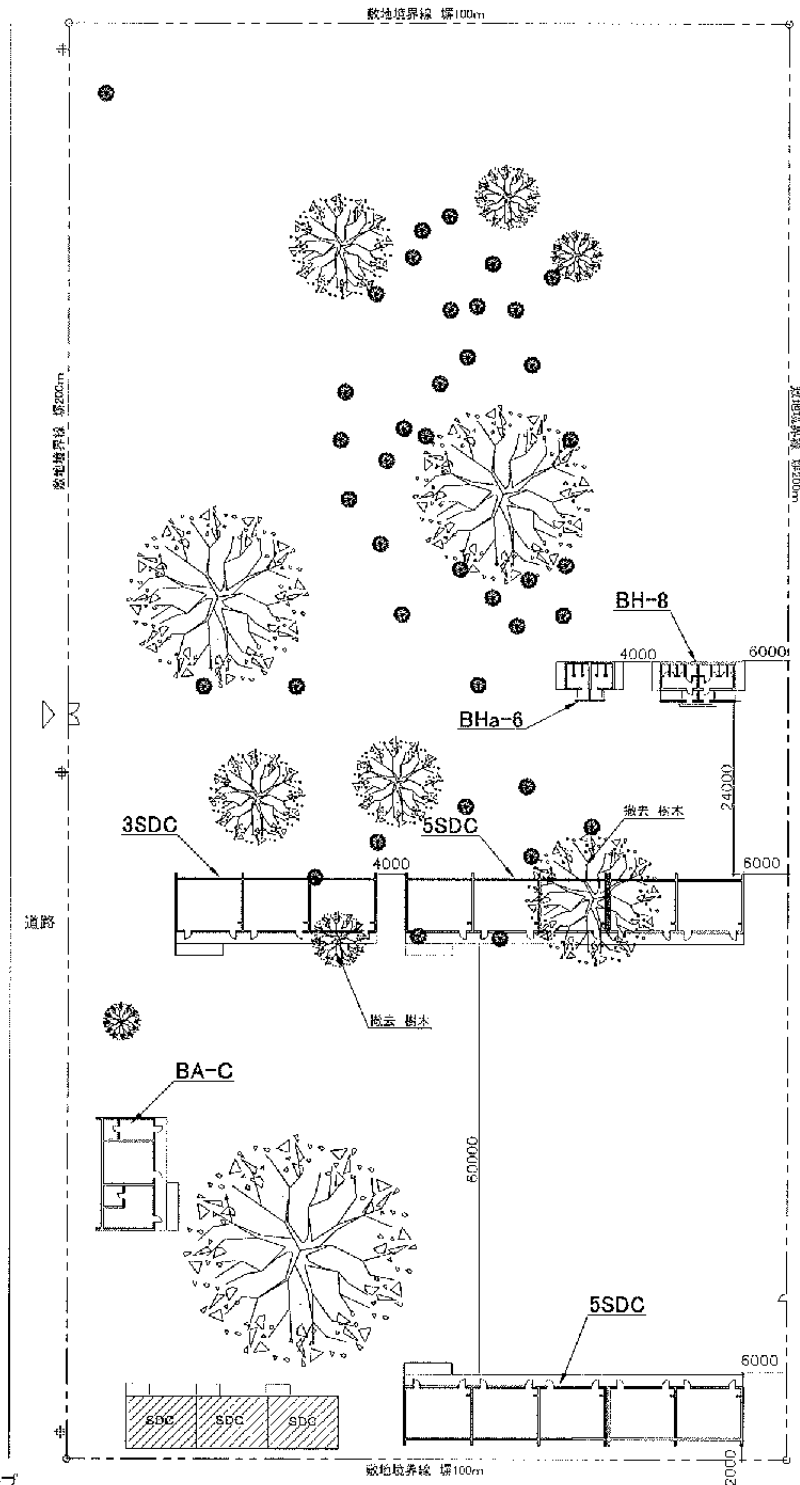
- 既存施設 凡例:
- SDC: 教室
 - BDD: 校長室
 - SDP: 教員室
 - SDS: サークル室
 - B: 事務室
 - M: 倉庫
 - BA: 管理棟
 - BH: 便所棟
 - FS: 浄化槽
 - LG: 守衛
 - ⊕: 電柱
 - 旗: 旗柱
 - ⊕: 井戸またはポンプ
 - ⊞: 変電設備

計画配置図

Scale 1:1000



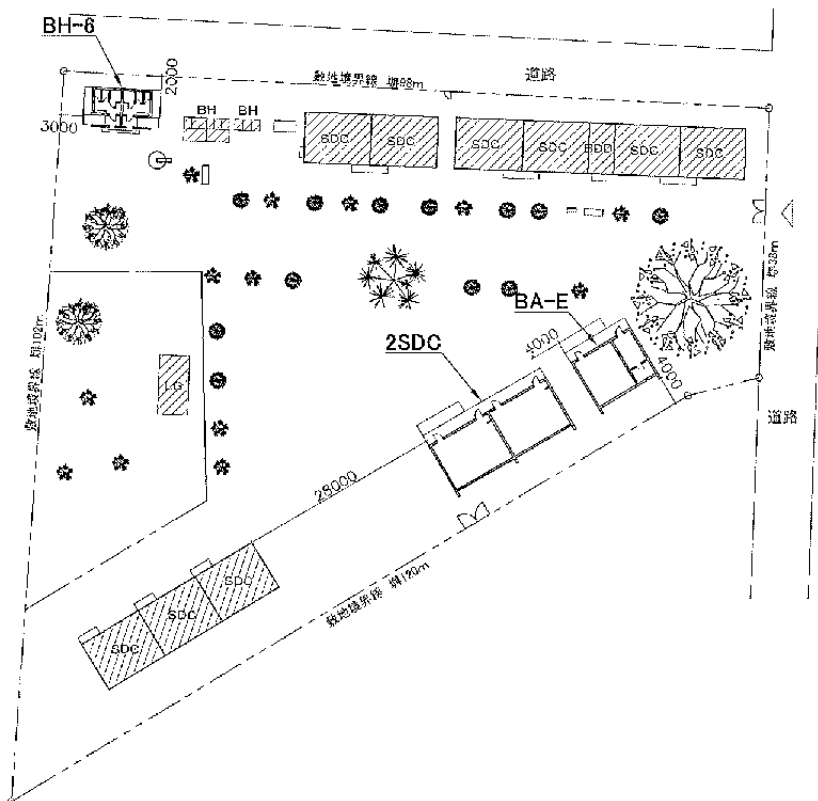
- 既存施設 凡例:
- SDC: 教室
 - BDD: 校長室
 - SDP: 教員室
 - SDS: サークル/外室
 - B: 事務室
 - M: 倉庫
 - BA: 管理棟
 - BH: 便所棟
 - FS: 浄化槽
 - LG: 守衛
 - ⊕: 電柱
 - ⚑: 旗柱
 - ⊙: 井戸またはポンプ
 - ⊞: 変電設備



計画配置図

Scale 1:1000



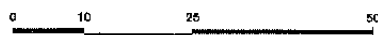


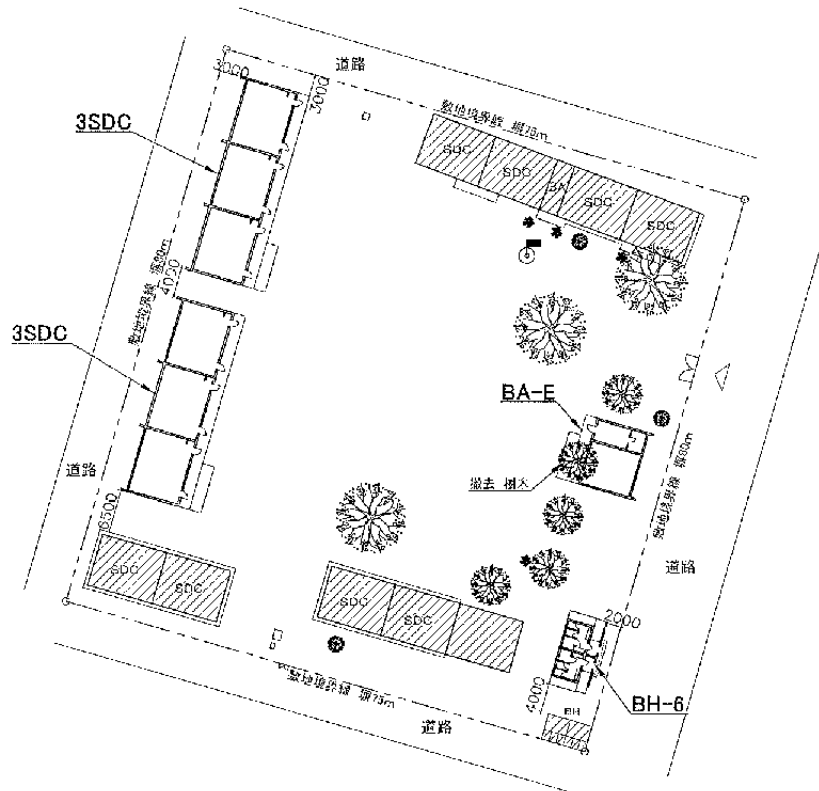
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | 旗: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤン室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





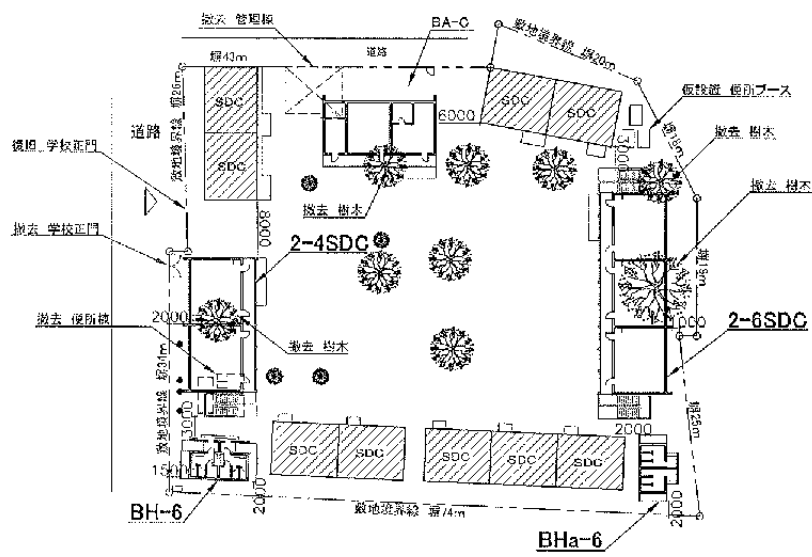
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





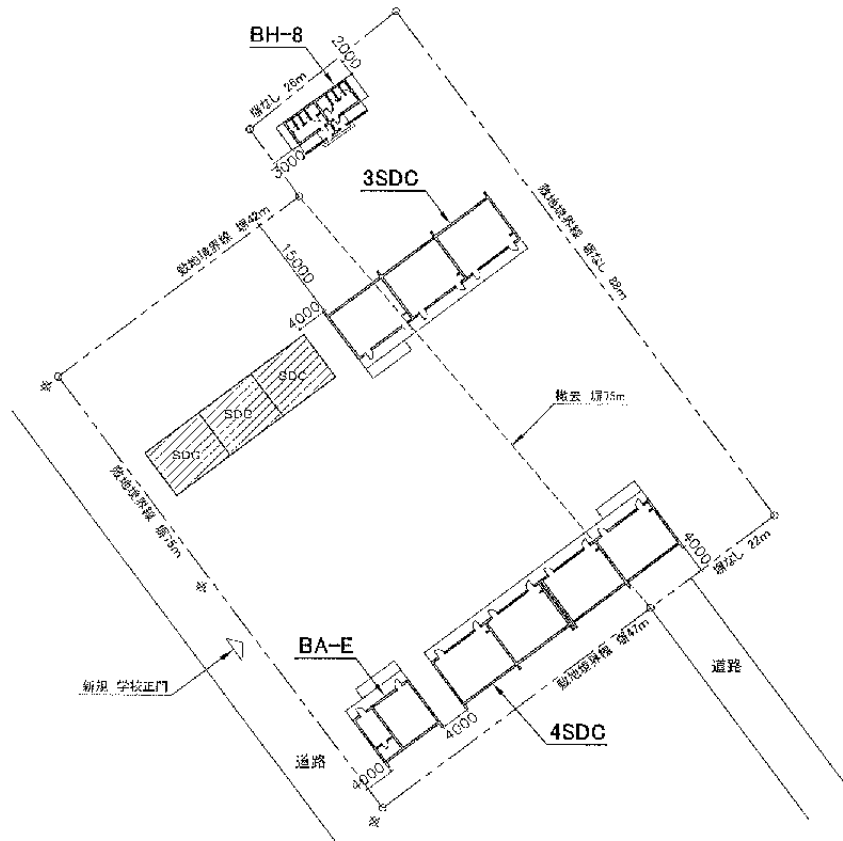
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊗: 井戸またはポンプ |
| SDS: サ-ハイヤ外室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



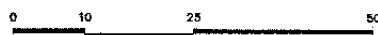


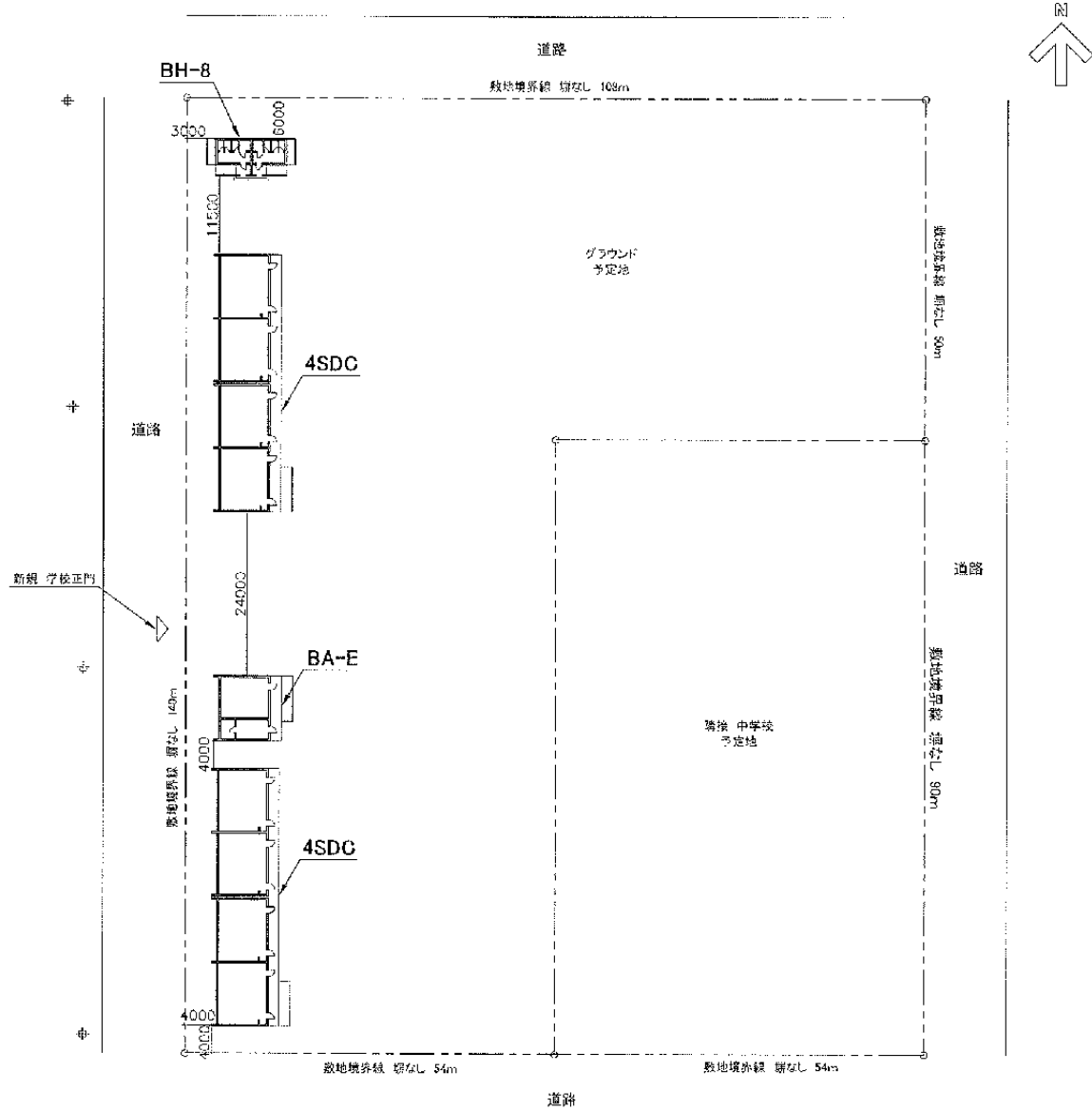
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M : 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤル室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B : 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



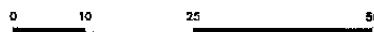


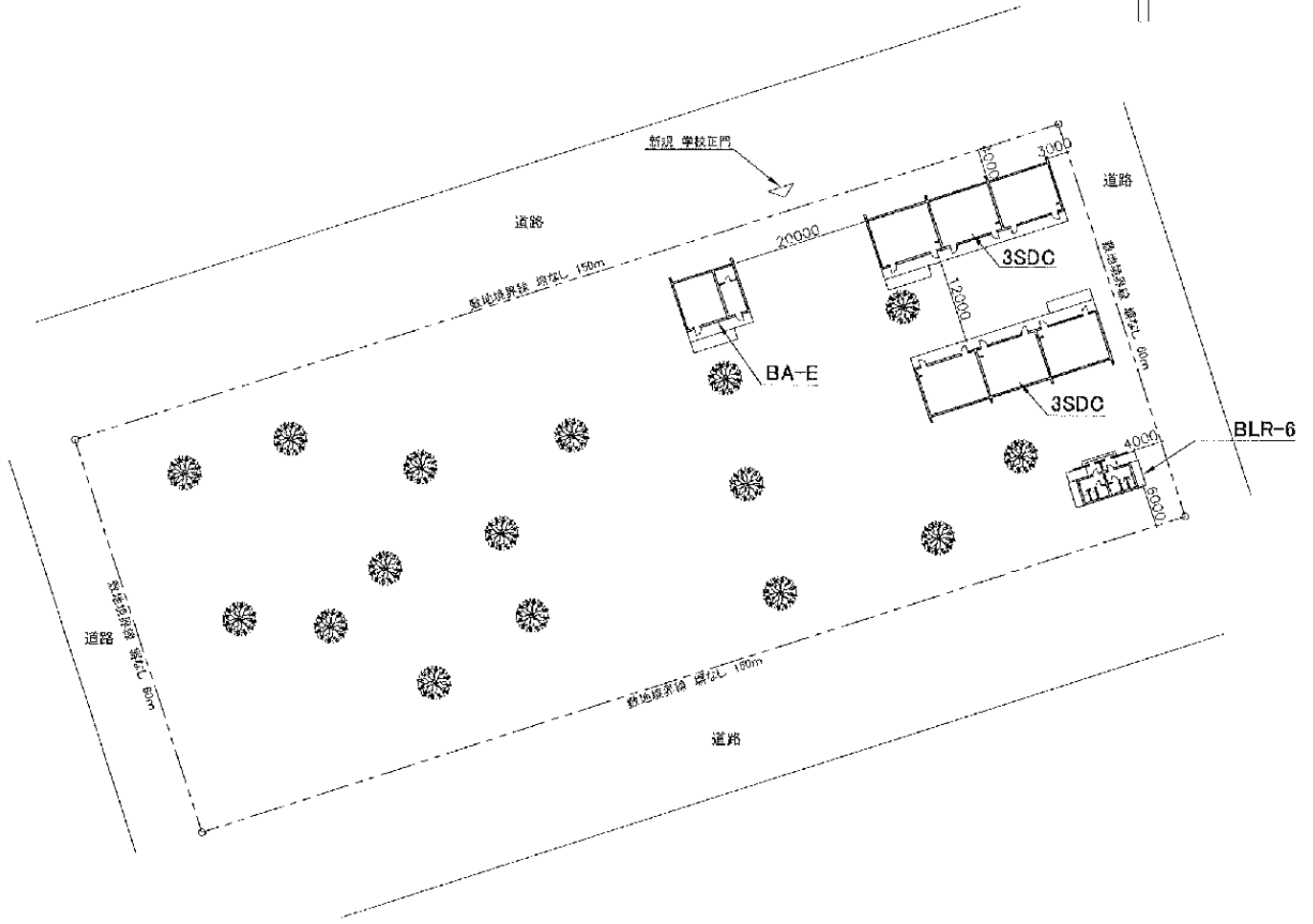
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊙: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーハイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000



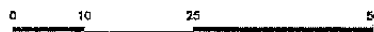


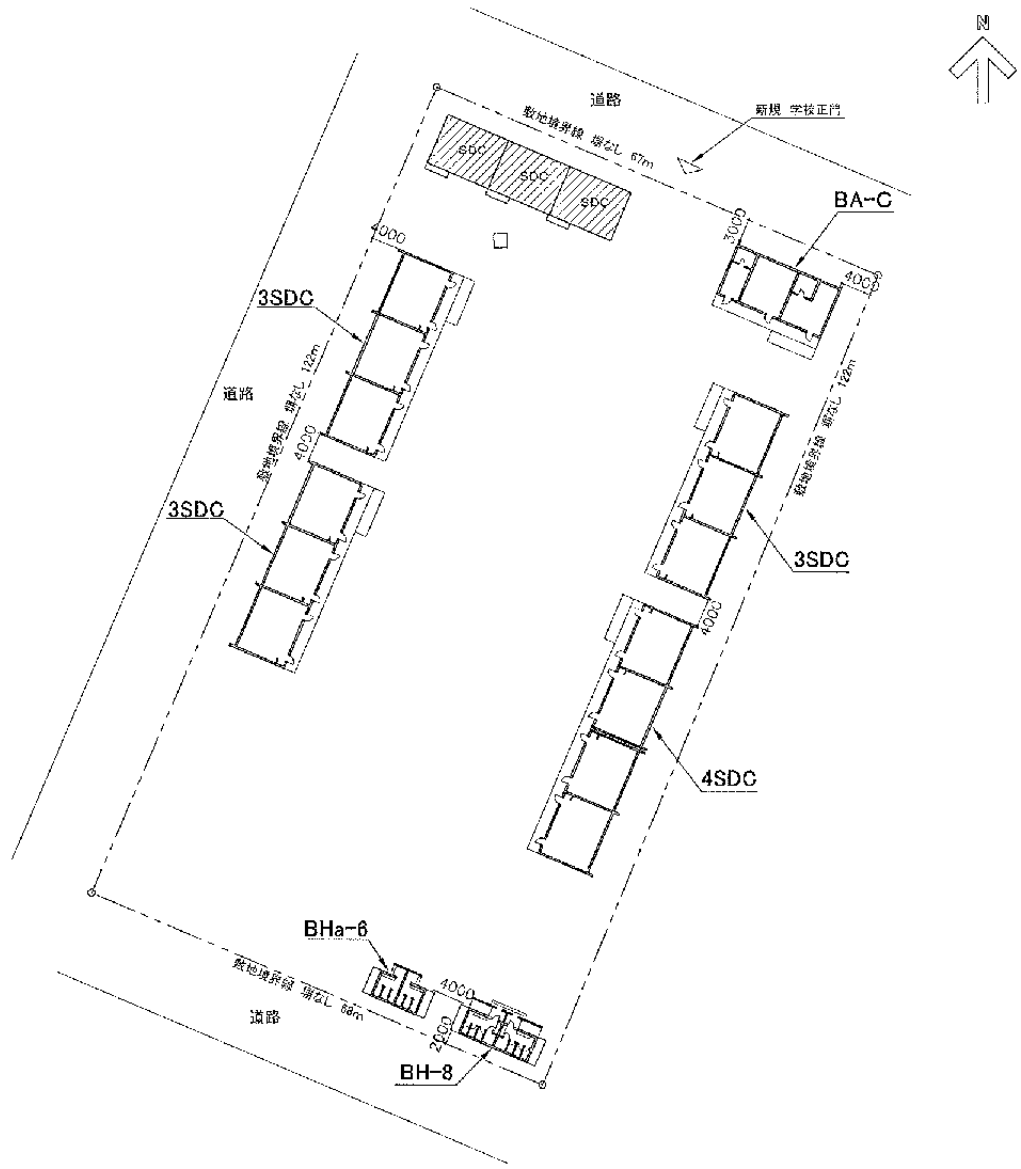
既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊙: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





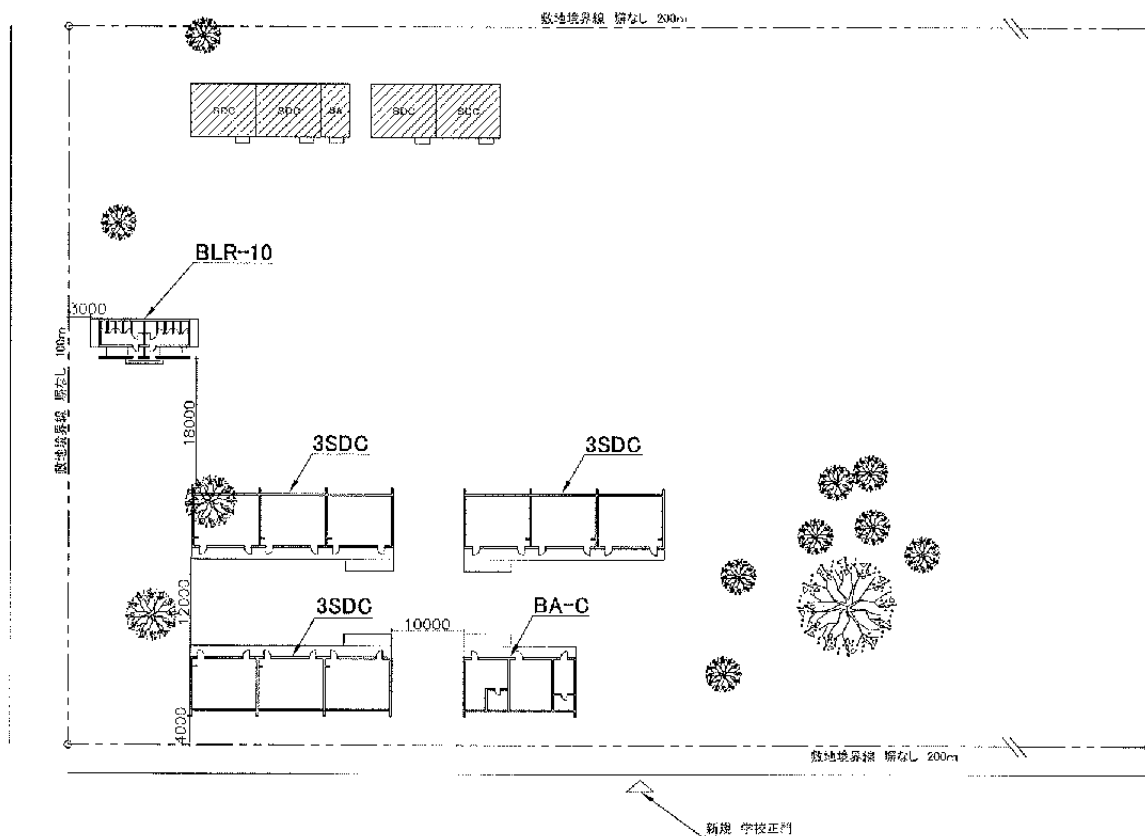
既存施設 凡例:

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊙: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サークル外室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000





既存施設 凡例:

- | | | |
|--------------|---------|-------------|
| SDC: 教室 | M: 倉庫 | ⊕: 電柱 |
| BDD: 校長室 | BA: 管理棟 | ■: 旗柱 |
| SDP: 教員室 | BH: 便所棟 | ⊕: 井戸またはポンプ |
| SDS: サーベイヤト室 | FS: 浄化槽 | ⊞: 変電設備 |
| B: 事務室 | LG: 守衛 | |

計画配置図

Scale 1:1000

